

**AVerDiGi  
EB1704 HB DVD  
EB1704 Hybrid**

**取扱説明書**



<http://www.avermedia.com>  
<http://www.averdigi.com>

## FCC 注意事項 (B 級)



この装置は FCC 規定の第十五部分に応じます。下記二つの条件が備わっている場合、操作可能です：  
(1) 本装置は悪影響を引き起こしません (2) 本装置はあらゆる有害な干渉現象(望ましくない動作を招く干渉も含まれます) を引受けなければなりません。

## 連邦コミュニケーション・コミッショナの声明

ノート：この設備はテストを受けて、デジタルデバイス B 級の制限に応じ、FCC ルールの第十五部分に準ずると検定されました。商業環境の中で操作される時、悪影響に対する合理的なプロテクションを提供するように、これらの制限は設定されました。この設備はラジオ周波エネルギーを起こし、利用し、そして放射可能です。説明書に応じないままインストール或いは利用すると、ラジオ通信に有害な干渉現象を招くかもしれません。住宅地区でこの設備を利用することは悪影響を引き起こす可能性があります。其の場合、干渉の排除による費用はユーザー御自分で受け持ちます

## 改造についての警告

デジタルデバイス B 級の制限に応じ、FCC 規定の第十五部分に準ずるには、本機は B 級制限に応じると認定されたコンピューター設備にインストールしなければなりません。コンピュータと周辺装置を接続するすべてのケーブルは遮蔽され、地面に置かれないと不可以ません。認定されていないコンピューターを利用することと、保護なしのケーブルはラジオやテレビの受信に悪影響をもたらす原因となります。

製造者に認可されていない分解と改造はユーザーの操作権限を無効にさせます。.

## 欧州共同体の要求説明 (B 級)



本製品は、電磁適合性に関する会員国法律 92/31/EEC で修正された EU 審議会の 89/336/EEC 指示と一致しています。

**警告** - この製品は B 級です。家庭環境で、本製品はラジオ干渉現象を招きます。其の場合、ユーザーは適当な手段を取って、干渉を解消すべきです。

## 否認証明書について

特別な目的のため、このファイルの内容、品質と表現、販路或いは適合性に関する、明示又は暗示された保証書と説明書は一切ありません。この文書に書いてある情報の確実性は慎重深くチェックされました。しかし、誤りに対して、引受ける責任や義務もありません。本文書に含めているインフォメーションは予告なしに変更することがあります。

ダメージ可能と忠告した以上、本機又は本文書を間違って利用することによる直接、間接、特別、偶然の、或いは必然的なダメージに対して、AverMedia には法的責任がありません。

## 商標について

AverMedia は AverMedia TECHNOLOGIES, Inc.の登録商標です。 IBM パソコンはインターナショナルビジュネスマシーンズ株式会社の登録商標です。 Macintosh は Apple Computer, Inc.の登録商標です。 Microsoft は Microsoft Corporation の登録商標で、Windows が Microsoft Corporation の商標です。本文書に言及する他の製品又は会社名は説明と識別の目的のみです。商標と登録商標は各自の会社に属します。

## 著作権について

© 2007 AverMedia TECHNOLOGIES, Inc.にすべての著作権保有。AverMedia TECHNOLOGIES, Inc.の許可書を取っていない限り、無断で複製、再生、検索システムに保存することやいかなる外国語に翻訳することは禁止されています。



このバツ印のついたキャスター付きゴミ箱マークは、この製品は他のごみと一緒に処分することができないという意味です。代わりに、電気や電子設備の回収のため、指定の廃棄設備の回収センターに渡すべきです。廃棄設備を捨てる場所について、より多くの情報を求めるなら、近くのごみ処分施設又は販売店に連絡してください。

## バッテリ安全について

- バッテリを涼しくて乾燥な場所に保管してください。.
- 使い切ったバッテリを日常ゴミと一緒に捨てないでください。所定の回収センターでバッテリを処分すること。或いは、できれば販売店に返してください。
- 長い間使っていない場合、バッテリを取り出してください。使い切ったバッテリをリモコンからすぐ取り出して、安全に処分すること。漏電や腐食はリモコンに損害を与えます。.
- 古いバッテリと新たなバッテリを混合しないでください。
- 異なるタイプのバッテリを混合しないでください。アルカリ、標準（亜鉛カーボン）或いは再充電式（ニッケルカドミウム）。
- 火の中に投入しないでください。爆発又は漏電になります。
- ショートさせないでください。



### 警告

本機を雨や湿気の場所に置かない。火災や感電の原因となります。



### 注意

ケースにはダメージ、部品不足、不適当な品物があれば、地元の販売店とご連絡ください。あらゆる認可されていない改造は保証書を無効にさせます。



### 注意

この文書に書いてある情報は予告なしに変更することがあります。  
この情報は参考データに過ぎません。

# 目 次

---

---

<b>第一章　はじめに</b>	1
1.1 パッケージの内容	1
1.2 特徴と仕様	1
1.3.1 EB1704HB DVD	2
1.3.2 EB1704 Hybrid	3
1.4 バックパネル	4
1.4.1 EB1704HB DVD	4
1.4.2 EB1704 Hybrid	5
1.5 DVR ユニットの組み立て	6
1.5.1 EB1704HB DVDのハードディスク取り付け	6
1.5.2 EB1704 Hybridのハードディスク取り付け	7
1.5.3 機器の接続	9
1.5.4 音声とセンサーとリレーとPTZカメラ装置の接続	11
1.5.4.1 EB1704HB DVDへの接続	11
1.5.4.2 EB1704 Hybridへの接続	11
1.5.4.3 センサーとリレーピンホールの配置	12
<b>第二章　DVRの操作</b>	13
2.1 リモコンボタンの機能紹介	13
2.1.1 AB区間リピート再生機能を使う	15
2.1.2 USBバックアップボタンを使う	15
2.1.3 PTZカメラ制御	16
2.1.3.1 PTZモードに切り替え	16
2.1.3.2 プリセット位置設定	16
2.2 DVRを始めて使う時	17
2.4 ビデオ再生	18
<b>第三章　OSD 設定画面</b>	20
3.1 メニューの機能紹介	21
<b>第四章　USB 再生コンソールを使う</b>	35
4.1 推奨システム	35
4.2 USB再生コンソールのインストール	35
4.3.2 HDD上の録画ファイルの再生と保存	38
4.3.3 バックアップファイル (*.dvr) の再生	38
<b>第五章　録画ファイルのバックアップ</b>	40
5.1 推奨システム	40
5.2 HDD バックアップアプリケーション	40
5.3 録画ファイルのバックアップ	41
<b>第六章　画像検証</b>	42

6.1 画像検証ソフトを使う .....	42
<b>第七章 iEnhance .....</b>	<b>43</b>
7.1 録画セグメントの編集と保存 .....	44
7.2 iStable機能を使う .....	45
<b>第八章 遠隔プログラムを使う .....</b>	<b>46</b>
8.1 ウェブビューアー機能の紹介 .....	48
8.1.1 遠隔監視システムの設定 .....	49
8.1.1.1 システム設定 .....	49
8.1.1.2 カメラ設定 .....	51
8.1.1.3 録画設定 .....	52
8.1.1.4 アラーム/センサー設定 .....	54
8.1.1.5 ネットワーク設定 .....	56
8.1.1.6 パスワード変更 .....	57
8.2 遠隔コンソール (Remote Console) を使う .....	58
8.2.1 遠隔コンソールシステムの設定 .....	59
8.3 ウェブビューアーPTZ機能 .....	60
8.4 遠隔再生機能を使う .....	60
8.4.1 ローカル再生機能を使う .....	62
8.4.1.1 保存録画セグメントの編集と保存 .....	63
8.4.1.2 ダウンロード再生機能を使う .....	64
<b>第九章 ハンディービューアー .....</b>	<b>65</b>
9.1 PDAビューアー .....	65
9.1.1 ActiveSync経由でPDAビューアーのインストール .....	65
9.1.2 インターネット経由でPDAビューアーのインストール .....	66
9.1.3 PDAビューアーを使う .....	67
9.1.4 PDAビューアーの再生機能を使う .....	68
9.2 ジャバビューアー (EB1704HB DVDのみ対応) .....	69
9.2.1 ジャバビューアーを使う .....	70
<b>第十章 中央管理システムを使う .....</b>	<b>71</b>
10.1 ソフトのインストール .....	71
10.1.1 推奨システム .....	71
10.2 CM3000 のインストール (Windows XP/2000) .....	72
10.3 CM3000 を使う .....	72
10.3.1 CM3000 ソフトの起動 .....	72
10.3.2 CMSアプリケーションを使う .....	73
10.4 CM3000 システムの設定 .....	76
10.4.1 システム設定 .....	76
10.4.1.1 アラーム保存先の変更 .....	76
10.4.1.3 日付形式の変更 .....	77
10.4.2 DVR設定 .....	77

10.4.2.1	DVRサーバーの追加と削除 .....	78
10.4.3	カメラ設定 .....	78
10.4.4	電子地図設定 .....	79
10.4.4.1	Eマップの設定 .....	79
10.4.4.2	Eマップを使う .....	82
10.4.5	アラーム設定 .....	83
10.4.5.1	アラーム条件の設定 .....	83
10.4.6	ユーザー設定 .....	85
10.4.6.1	ユーザーの設定 .....	85
10.5	再生機能を使う .....	86
10.5.1	映像再生 .....	86
10.5.2	ローカル再生機能を使う .....	87
10.5.3	遠隔再生アプリケーションを使う .....	88
10.5.3.2	ビジュアル検索機能を使う .....	89
10.5.3.3	イベント検索機能を使う .....	90
10.5.3.4	インテリジェント検索機能を使う .....	90
10.5.4	イベントビューアーを使う .....	91
付録 A	ドメイン名の登録 .....	92
付録 B	デュアルモニター設定 .....	93
	ATIチップセットのグラフィックカード .....	93
	NVIDIAチップセットのグラフィックカード .....	95

# 第一章 はじめに

## 1.1 パッケージの内容

(1)



(a) EB1704HB DVD本体



(b) EB1704 Hybrid 本体



(2)



(3)



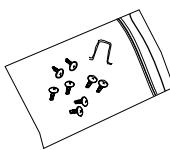
(4)



(5)



(6)



(7)

- (1) 上記の品物に基づいてセット内容を点検してください。
  - (a) AVerDiGi EB1704HB DVD 本体
  - (b) AVerDiGi EB1704 Hybrid 本体
- (2) リモコン (バッテリ付き)
- (3) クイックインストール・ガイド
- (4) パワー・コード
  - \* パワー・コードは国の標準パワー出力によって異なっています。
- (5) 電源アダプター
- (6) ソフトウェア CD (取扱説明書付き)
- (7) DVR 付属品(8 つのもくねじと 1 Ω のフック付き)

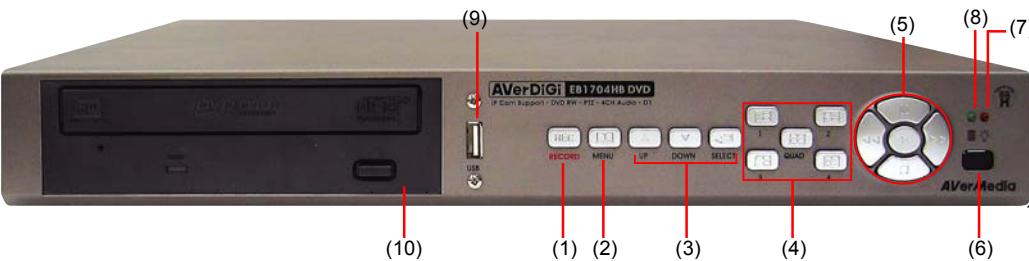
## 1.2 特徴と仕様

- ハイブリッドネットワークビデオ記録器 (PC ではない)
- 四つのコンポジットビデオ入力と一つのコンポジット出力
- LCD 又は CRT モニター表示のための VGA 出力
- オン・スクリーン・ディスプレー (OSD) の制御メニュー
- MPEG4 ビデオ圧縮
- NTSC/PAL 自動切替
- アナログ / IP カメラ / PTZ カメラに対応する (お客様の要求に応じて拡張可能)
- アナログ/IP カメラは 4 チャンネルまで対応可能
- 音声記録は 4 チャンネルまで対応可能
- ネットワーク時刻同調機能(時刻遅延 & サマータイムの自動調整)
- インターネットエクスプローラでのウェブビューアーに対応する

- CMS（中央管理システム）に対応する
- 遠隔コンソールをサポートする
- マルチクライアントと動的 IP に支持される
- インタネット経由で音声記録対応
- USB メモリへ USB バックアップ に対応する
- DVD-RW バックアップ(最大 4.2G)
- 同時にネットワーク、再生、録画可能
- 一つのハードディスクをサポート (HDD を含まない)
- 全画面  
表示: 720 x 480 (NTSC) / 720 x 576 (PAL)  
録画: 720 x 480 (NTSC) / 720 x 576 (PAL)
- 録画フレームレート:  
D1 モード (720 x 480): 60fps (NTSC) / 50fps (PAL)  
CIF モード (360 x 240): 120 fps (NTSC) / 100fps (PAL)
- スケジュール録画(00:00~23:00 1 時間単位設定可能 )
- 日付・時刻・イベントで記録されたビデオファイルを検索可能
- 3G 携帯（ジャバースクリプト付き）での遠隔プレビューに対応する
- 入力/出力: 四つのセンサー入力と一つのリレー出力制御
- 多国語操作画面

## 1.3 フロントパネル

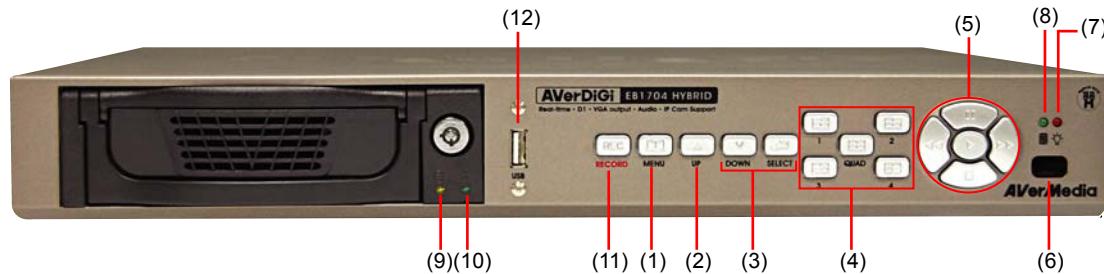
### 1.3.1 EB1704HB DVD



名称	機能
(1) 録画	: 録画を開始します。停止ボタン  を押して、録画を停止します
(2) メニュー	: OSD メインとサブメニューの呼び出しと退出
(3) 上/下/選択	: OSD 上下左右カーソル移動用ボタン 決定は SELECT を押してください
(4) 1/2/3/4/Quad	: 再生モードでこれらのボタンを使って、全画面でチャンネルごともしくはすべてのチャンネルを同時に見ることができます。 下記のボタンで OSD のパスワードを設定します。 : は”1” : は”2” : は”3” : は”4” : は”0”
<b>i</b> QUAD 録画時、各カメラ単独の画面に切り替えることはできません	

名称	機能
(5) 再生/OSD メニュー コントロールボタン	<p>OSD 映像再生画面制御</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ : 再生リスト表示・再生開始</li> <li>◀ : 巻き戻し表示 2x、4x、8x または 16x 倍速切替</li> <li>▶ : 早送り表示 2x、4x、8x または 16x 倍速切替</li> <li>II : 一時停止</li> <li>■ : 停止</li> </ul> <p>OSD メニュー画面制御</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◀▶ : カーソル左右移動</li> <li>II ■ : 設定変更</li> <li>▶ : 選択</li> </ul>
(6) IR センサー	リモコンから受信して DVR を制御します
(7) HDD LED	HDD の運転状態を表し、点灯時は HDD の読み取り中であることを示します
(8) DVR 電源 LED	DVR 本体の電源表示灯
(9) USB 2.0 ポート	記録映像データを USB メモリもしくは外付 HDD へバックアップ用
(10) DVD-RW ドライブ	録画ファイルを DVD-R/DVD+R/DVD+RW にバックアップします

### 1.3.2 EB1704 Hybrid

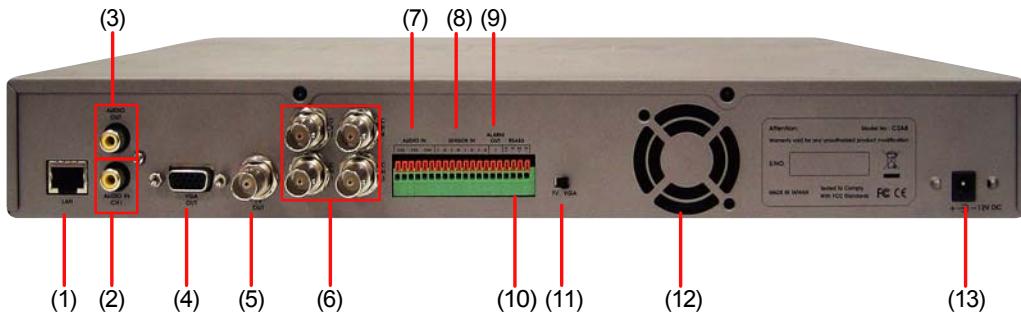


名称	機能
(1) メニュー	OSD メインとサブメニュー の呼び出しと退出
(2) (3) 上/下/選択	OSD 上下左右カーソル移動用ボタン 決定は <b>SELECT</b> を押してください
(4) 1/2/3/4/Quad	再生モードでこれらのボタンを使って、全画面でチャンネルごともしくはすべてのチャンネルを同時に見ることができます。 下記のボタンで OSD のパスワードを設定します。
	: は “1” : は “2” : は “3” : は “4” : は “0”
	<p><b>i</b> QUAD 録画時、各カメラ単独の画面に切り替えることはできません</p>
(5) 再生/OSD メニュー コントロールボタン	OSD 映像再生画面制御
	▶ : 再生リスト表示・再生開始

名称	機能
(1) リモコン受信部	リモコン受信部
(2) フロント LED	フロント LED
(3) リモコン受信部	リモコン受信部
(4) LAN ポート	LAN ポート
(5) 音声入力	音声入力
(6) 音声出力	音声出力
(7) HDD LED	HDD LED
(8) DVR 電源 LED	DVR 電源 LED
(9) リムーバブル HDD LED	リムーバブル HDD LED
(10) リムーバブル HDD 電源 LED	リムーバブル HDD 電源 LED
(11) 録画	録画
(12) USB 2.0 ポート	USB 2.0 ポート
(13) リムーバブル HDD キーロック	リムーバブル HDD キーロック
	OSD メニュー画面制御
	◀▶ : カーソル左右移動
	■ ■ : 設定変更
	▶ : 選択
(6) IR センサー	リモコンから受信して DVR を制御します
(7) HDD LED	HDD の運転状態を表し、点灯時は HDD の読み取り中であることを示します
(8) DVR 電源 LED	DVR 本体の電源表示灯
(9) リムーバブル HDD LED	リムーバブル HDD の運転状態を表し、点灯時は HDD の読み取り中であることを示します
(10) リムーバブル HDD 電源 LED	リムーバブル HDD の電源表示灯
(11) 録画	録画を開始します。停止ボタンを押して、録画を停止します
(12) USB 2.0 ポート	記録映像データを USB メモリもしくは外付 HDD へバックアップ用
(13) リムーバブル HDD キーロック	リムーバブル HDD トレイ施錠・解除
	ハードディスクを取り出す前、必ず DVR の電源をお切りください

## 1.4 バックパネル

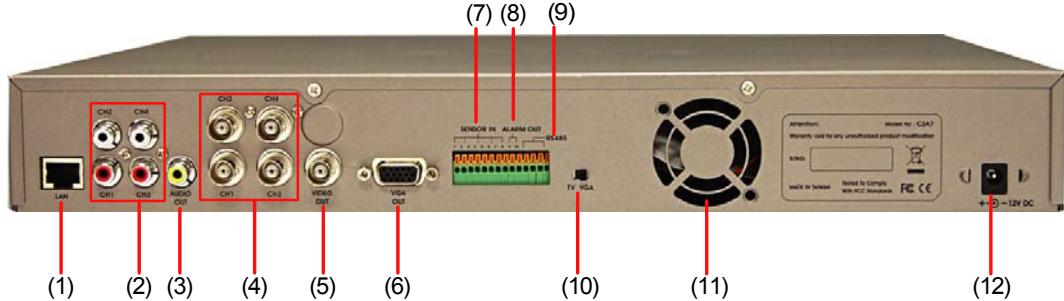
### 1.4.1 EB1704HB DVD



名称	機能
(1) LAN ポート	イーサネットポート
(2) 音声入力	音声入力装置またはマイクからの音声を入力します。音声はチャネル 1とともに収録されます。
	<b>i</b> 音声入力装置は別途電源に接続すること。
(3) 音声出力	スピーカーへ音声信号を出力します。
	<b>i</b> 音声出力装置は別途電源に接続すること。

名称	機能
(4) VGA 出力	: CRT 又は LCD モニターへ映像信号を出力します。
(5) 映像出力端子 (BNC)	: テレビへ映像信号を出力します。
	<p style="text-align: center;"> 1回に1種類の出力方式(VGA出力或いはTV出力)を選択してください。出力方式を変更する時は、まず電源をオフにした後、接続を変更してください。TV/VGA切り替えスイッチを適切な位置に調整してから、装置の電源をオンにしてください。</p>
(6) CH1/2/3/4	: カメラ映像を入力し、チャンネル1/2/3/4に表示します。
(7) 音声入力	: 音声入力装置またはマイクからの音声を入力します。音声はチャンネル2、3、4とともに収録されます。
	<p style="text-align: center;"> 音声入力装置は別途電源に接続すること。</p>
(8) センサー入力	: 最大4個のセンサー装置を外付けできます。
(9) アラーム出力	: 1個のリレー装置を外付けできます。(リレー: 1A @ 125V AC/30V DC)
(10) RS485	: PTZカメラ接続(詳細は <a href="#">1.5.3.1</a> を参照のこと)
(11) TV-VGA	: ビデオ出力方式を選択できます。まず切り替えスイッチを調整した後、DVRの電源をオンにしてください。
(13) 12V DC	: 電源アダプターに接続します。

## 1.4.2 EB1704 Hybrid



名称	機能
(1) LAN ポート	: イーサネットポート
(2) 音声入力	: 音声入力装置またはマイクからの音声を入力します。音声はチャンネル1、2、3、4とともに収録されます。
	<p style="text-align: center;"> 音声入力装置は別途電源に接続すること。</p>
(3) 音声出力	: スピーカーへ音声信号を出力します。
	<p style="text-align: center;"> 音声出力装置は別途電源に接続すること。</p>
(4) CH1/2/3/4	: カメラ映像を入力し、チャンネル1/2/3/4に表示します。
(5) 映像出力端子	: テレビへ映像信号を出力します。

名称	機能
(BNC)	<p><b>!</b> 1回に1種類の出力方式(VGA出力或いはTV出力)を選択してください。出力方式を変更する時は、まず電源をオフにした後、接続を変更してください。TV/VGA切り替えスイッチを適切な位置に調整してから、装置の電源をオンにしてください。</p>
(6) VGA出力	: CRT又はLCDモニターへ映像信号を出力します。
(7) センサー入力	: 最大4個のセンサー装置を外付けできます。
(8) アラーム出力	: 1個のリレー装置を外付けできます。(リレー: 1A @ 125V AC/30V DC)
(9) RS485	: PTZカメラ接続(詳細は <u>1.5.3.1</u> を参照のこと)
(10) TV-VGA	: ビデオ出力方式を選択できます。まず切り替えスイッチを調整した後、DVRの電源をオンにしてください。
(12) 12V DC	: 電源アダプターに接続します。

## 1.5 DVRユニットの組み立て

### 1.5.1 EB1704HB DVDのハードディスク取り付け

このDVRユニットは最大一つのハードディスクを取り付け可能です。HDDを取り付け前に、ハードディスクをマスターに設定してください。ジャンパー設定に関し、ハードディスクに付いているラベルを御参照ください。



使用するHDD製品の型番は下記のウェブサイトを御参照ください。

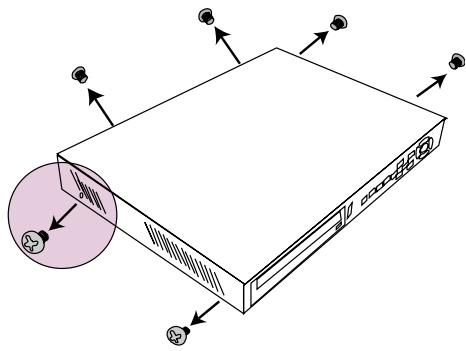
[http://www.avermedia.com/nvd/hardware-recom\\_eb\\_c.asp](http://www.avermedia.com/nvd/hardware-recom_eb_c.asp)



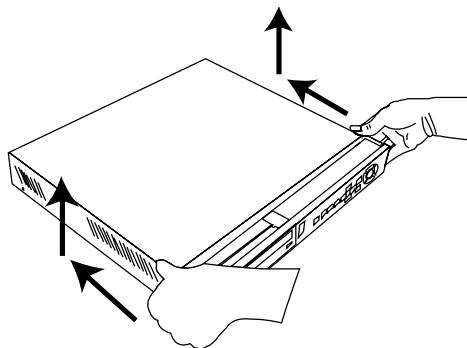
ウェブサイト上の適合HDD参照リストは、一般的な正常使用の条件下で、弊社が実際にテストし、且つ今まで正常に動作した市販のHDD製品を推奨しています。しかし、その参照リストのHDDが弊社の製品と100%の適合することを保障するものではありません。明示、默示、或いはその他法律的解釈に関わらず、上記提案の解釈はいずれも弊社がその互換性をテストし保証するものではありません。参照リストのHDDを使用して不具合が生じても、ユーザーはこれにより受けた損害、或いは損失が、直接的、間接的、付随的、或いは純粋な経済的利益に関わらず、弊社はその一切の責任を負いかねます。たとえ弊社が事前にこの種の不具合の可能性を知らされていたとしても同様とします。

HDDの取り付け手順は下記インストラクションを御参照ください。

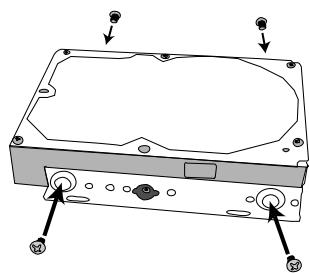
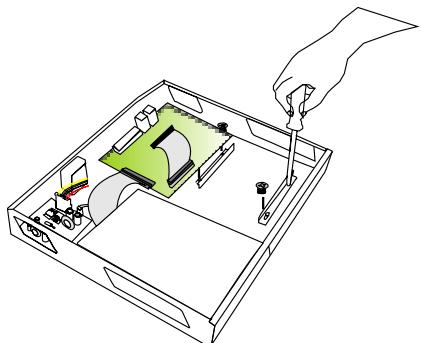
1. 全てのネジを外します



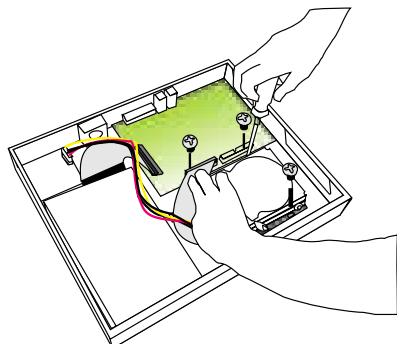
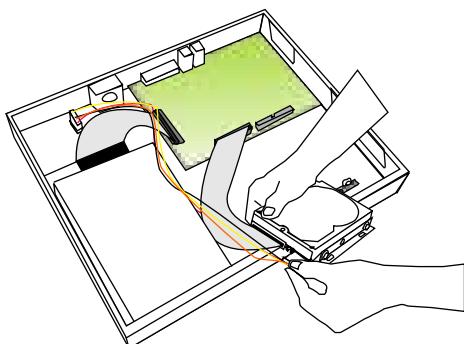
2. ケースカバーを後方にずらして上に持ち上げます



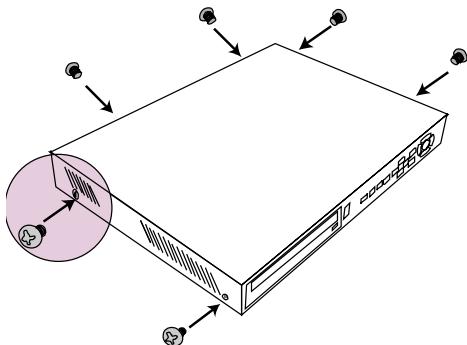
3. ハードディスクラックの四つのねじを緩めます



5. IDE ケーブルの末端と電源コネクタをハードディスクに接続します



6. ブラケットを取り付けてねじを締め、カバーを戻します

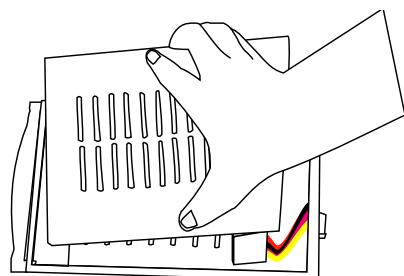
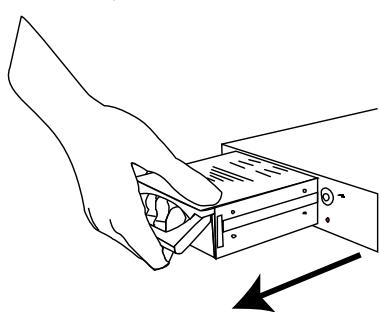


### 1.5.2 EB1704 Hybrid のハードディスク取り付け

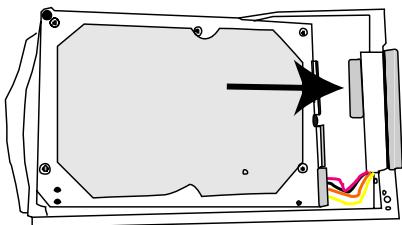
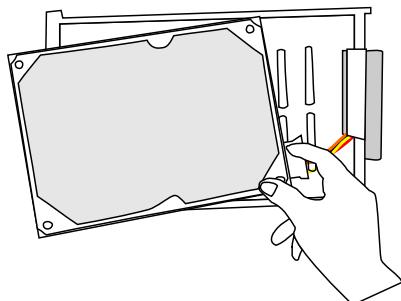
この DVR ユニットは最大一つのハードディスクを取り付け可能です。HDD を取り付け前に、ハードディスクをマスターに設定してください。ジャンパー設定に関し、ハードディスクに付いているラベルを御参照ください。

HDD の取り付け手順は下記インストラクションを御参照ください。

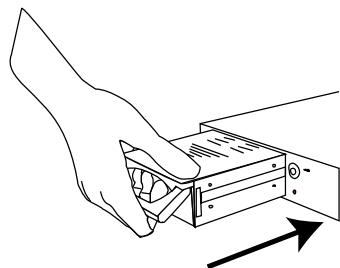
1. リムーバブル HDD トレイの鍵を開けてトレイを抜き出します
2. トレイのカバーを外します



3. 電源コネクターをハードディスク(マスター)に接続する 4. HDD をトレイ内コネクターに合わせて装填し、カバーを戻します



5. トレイを戻し、鍵をかけます



6. 電源ケーブルを繋ぎ、電源表示警告灯 が点灯することを確認します



HDD トレイを抜き出す際は安全のために鍵を開ける前に本体の電源ケーブルを抜いてください。

### 1.5.3 機器の接続

DVR 本体のバックパネルは最大四つのカメラと四つのセンサー装置、一つの警報装置、四つの音声入力装置を接続可能です。テレビ又はCRT/LCD モニターへ映像を出力することができます。USB ポートを利用して、USB メモリ、或いは外付け式 HDD を接続してバックアップすることができます。付属ソフトを使用して、映像の転送、再生、セグメントすることができます。

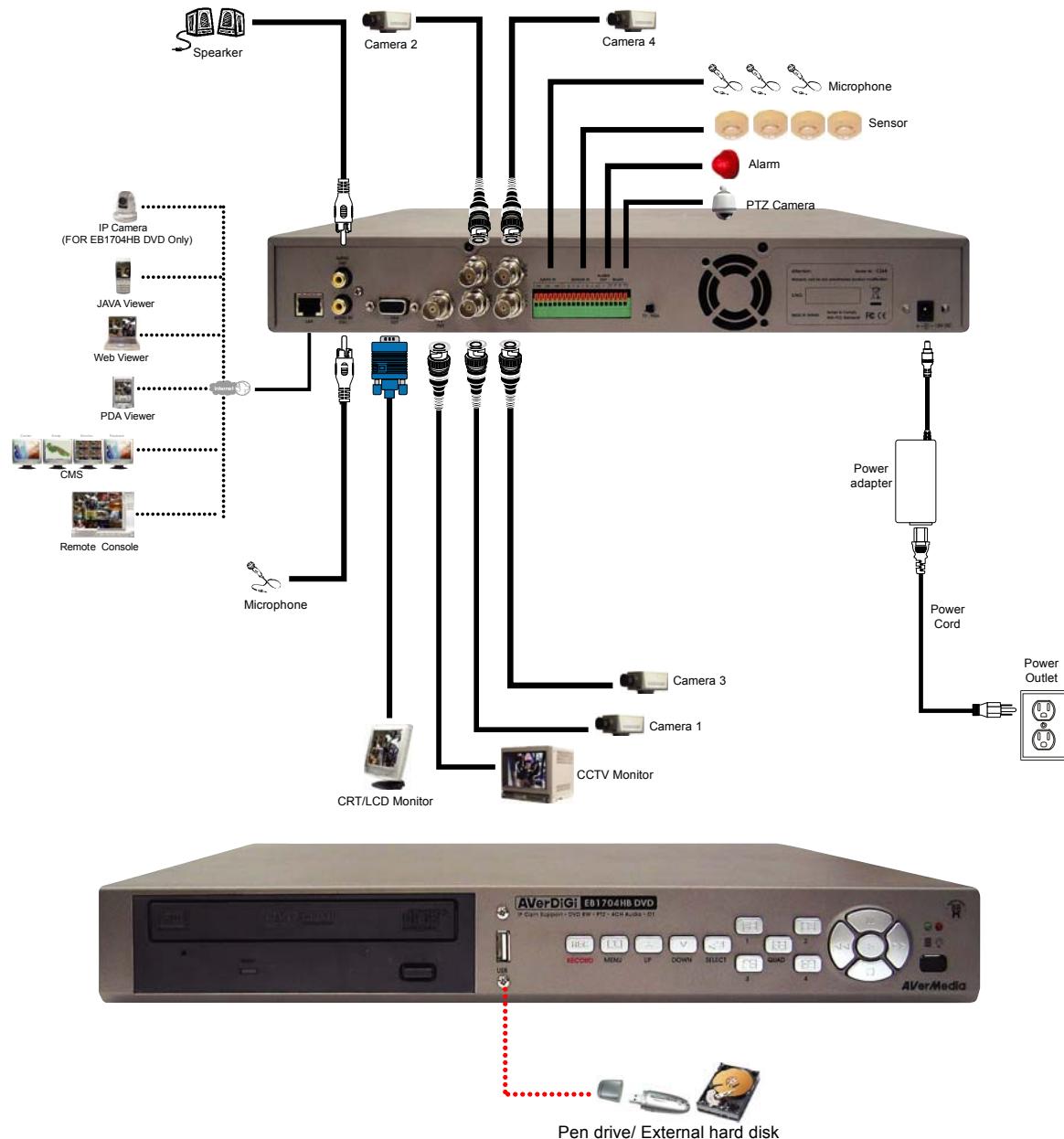
下図を参考にして関連装置を取り付けてください：



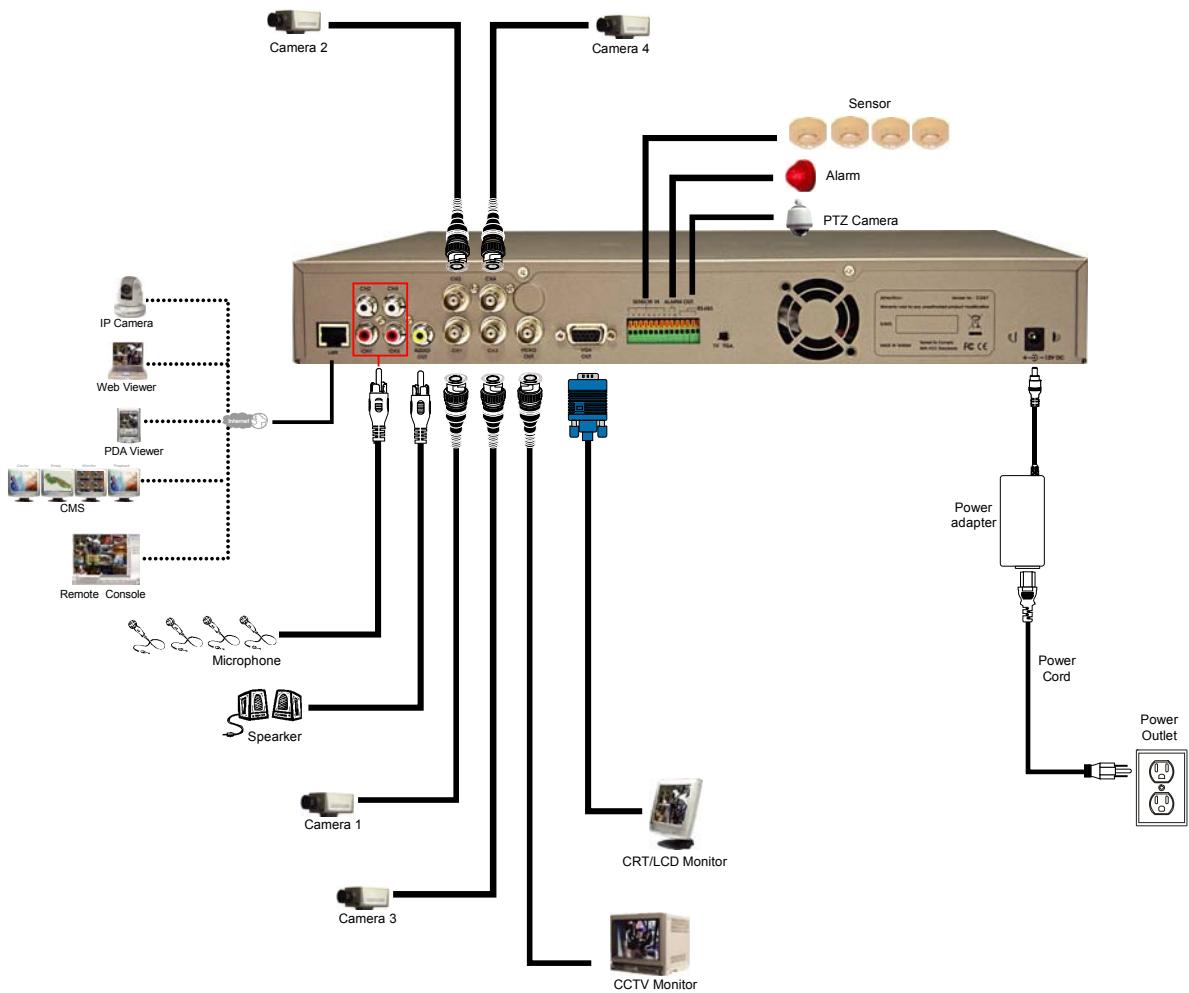
モニターを変更する場合、DVR の電源をオフにした後、TV-VGA 切り替えスイッチを調整してください。元のモニターのコネクタを抜き、新しいモニターのコネクタを挿した後、DVR の電源をオンにしてください。



- すべての接続装置は別途電源が必要です。
- 外付ハードディスクはFAT32 形式しかサポートできません。



EB1704HB DVD と周辺機器の構成図

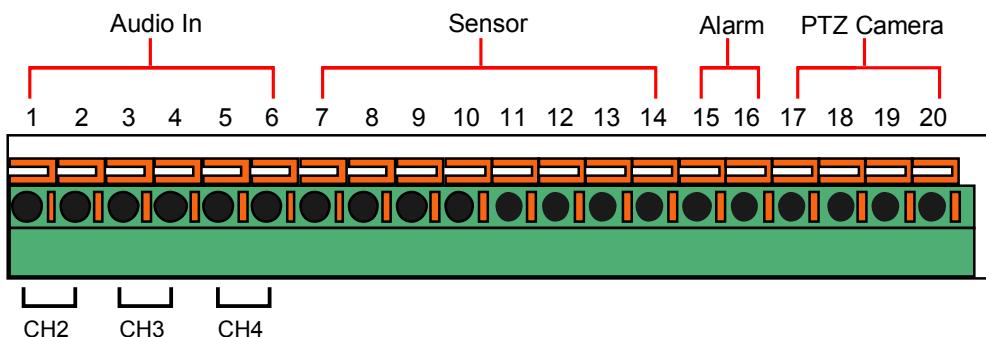


EB1704 Hybrid と周辺機器の構成図

## 1.5.4 音声とセンサーとリレーと PTZ カメラ装置の接続

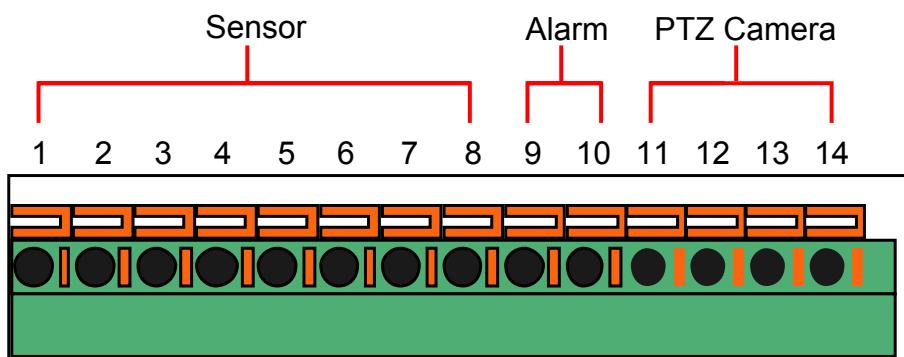
### 1.5.4.1 EB1704HB DVDへの接続

音声入力、センサー、リレーと PTZ カメラポートは三つの音声入力、四つのセンサー入力、一つのリレー出力と一つの PTZ カメラを接続可能です。外部音声入力装置、センサー、リレー、そして PTZ カメラピンを直接的にピンホールに接続してよいです。次の図表をチェックして、センサー入力とリレー入力の所定ピンホールに挿入してください。



### 1.5.4.2 EB1704 Hybridへの接続

センサー、リレーと PTZ カメラポートは四つのセンサー入力、一つのリレー出力と一つの PTZ カメラを接続可能です。外部音声入力装置、センサー、リレー、そして PTZ カメラピンを直接的にピンホールに接続してよいです。次の図表をチェックして、センサー入力とリレー入力の所定ピンホールに挿入してください。



### 1.5.4.3 センサーとリレーピンホールの配置

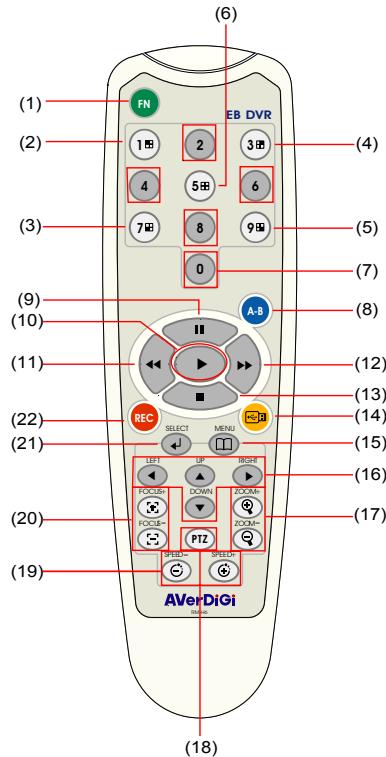
センサーからの信号（例：赤外線センサー、煙探知器、近接センサー、ドアセンサー等）は DVR に転送され、システムから信号をリレー装置（例：警報、電話等）に送信します。

ピン #	定義
1	センサー1 地面信号
2	センサー1 信号
3	センサー2 地面信号
4	センサー2 信号
5	センサー3 地面信号
6	センサー3 信号
7	センサー4 地面信号
8	センサー4 信号
9	リレー信号
10	リレー信号
11	RS485 TX+信号
12	RS485 TX-信号
13	RS485 RX+信号
14	RS485 RX-信号

## 第二章 DVR の操作

### 2.1 リモコンボタンの機能紹介

リモコンを使い監視モニター上の OSD メニューの機能を操作します。



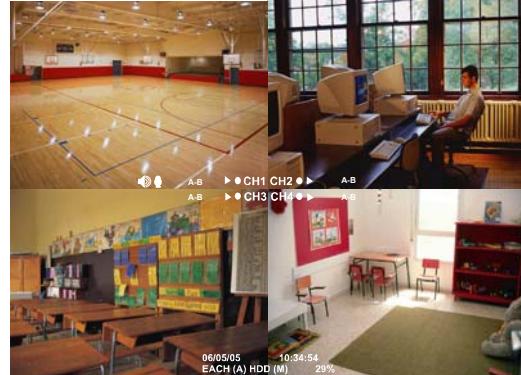
ボタン	機能
(1)	複数機の DVR を操作する時のファンクションキー
(2)	チャンネル 1 に切り替えます パスワード入力時の数字ボタン
(3)	チャンネル 2 に切り換える パスワード入力時の数字ボタン
(4)	チャンネル 3 に切り換える パスワード入力時の数字ボタン
(5)	チャンネル 4 に切り換える パスワード入力時の数字ボタン
(6)	4 分割画面 (QUAD) モードに切り換える パスワード入力時の数字ボタン
(7)  	パスワード入力時の数字ボタン

ボタン	機能
(7) 	パスワード入力時の数字ボタン
(8) 	A—B区間のリピート再生を設定します（詳細は <a href="#">2.1.1</a> を参照のこと）
(9) 	再生一時停止
(10) 	再生スタート
(11) 	2x、4x、8x または 16x 倍速で逆送り
(12) 	2x、4x、8x または 16x 倍速で早送り
(13) 	再生/録画停止
(14) 	USBバックアップ（詳細は <a href="#">2.1.2</a> を参照のこと）
	カーソルを右へ移動
	PTZ カメラレンズを右へ移動
	カーソルを左へ移動
	PTZ カメラレンズを左へ移動
	カーソルを上へ移動させ、設定項目を選択したり、設定値を変更します
	PTZ カメラレンズを上へ移動
	カーソルを下へ移動させ、設定項目を選択したり、設定値を変更します
	PTZ カメラレンズを下へ移動
(16) 	OSD メインメニュー入り / メインメニュー又はサブメニューから退出
(17) 	PTZ カメラの画面をズームイン
	PTZ カメラの画面をズームアウト
(18) 	PTZカメラ制御ボタン。  + カメラチャンネル数ボタン (     ) を押せば、PTZ モードに切り替え、PTZ カメラを制御できます（詳細は <a href="#">2.1.3</a> を参照のこと）。
(19) 	PTZ カメラレンズの動きを加速
	PTZ カメラレンズの動きを減速
(20) 	PTZ カメラレンズのピントを合わせる
	PTZ カメラレンズのピントを外す
(21) 	選択確認
	サブメニュー画面に入ります
(22) 	ビデオ録画開始

## 2.1.1 AB 区間リピート再生機能を使う

AB区間リピート再生機能は、ユーザー自身が再生する録画映像中のAポイントからBポイントまでの区間を設定し、ユーザーが再生を停止するまで繰り返し再生します。設定したAB区間の録画をUSBメモリ、或いは外付けHDD中にバックアップすることができます（詳細は [2.1.2](#) をご参照のこと）。

1.  (再生ボタン) を押すと、検索選択モード (SEARCH MODE) が現れ、ユーザーは検索機能で再生したい録画映像を探すことができます。
2. 「時間検索 (TIME SEARCH)」或いは「イベントリスト (EVENT LIST)」を選択した録画データを再生します。
  - 時刻検索（日付と時刻で探す）は映像ファイルの再生を開始したい日時を設定します。
  - イベント検索（特定の状況から探す）はイベントリスト中からイベントを選択します。
3. 録画映像を再生する時、 A-B ボタンを押して、

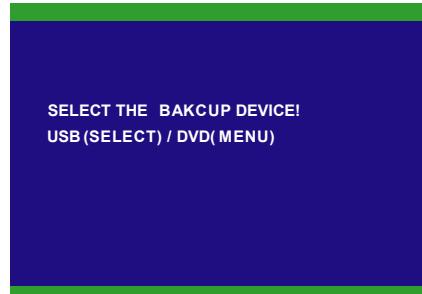


映像再生ポイントの A ポイントを設定し、もう一度  A-B ボタンを押して、B ポイントを設定します。この時、監視モニター上に「A-B」が現れ、今設定した A ポイントから B ポイントまでの区間の映像がリピート再生されます。この区間の再生をキャンセルする時は、もう一度 A-B ボタンを押します。

## 2.1.2 USB バックアップボタンを使う

 ボタンを押すと AB 区間のリピート再生映像をバックアップすることができます。

1. まずリピート再生するA、Bポイントを設定します（詳細は [2.1.1](#) を参照のこと）。
2. AB 区間のリピートファイルを再生している時に ボタンを押します。
3. バックアップ装置を選択します — USB (USB メモリ)  
又は DVD (DVD±R/DVD+RW)
4. USB メモリを USB ポートもしくは DVD±R/DVD+RW を DVR-RW ドライブに挿し込みます。
5.  (YES) を押してバックアップを開始します。バックアップをキャンセルする場合は、 (NO) を押してください。



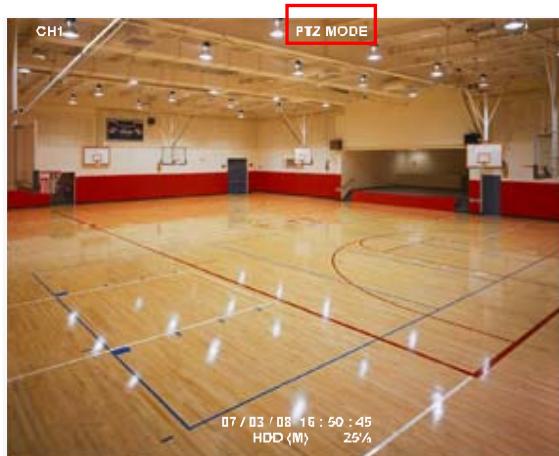
- i**
- 1 バックアップファイルは再生アプリケーションを含めます。
  - 2 DVD-ROM にバックアップする際、下記の点をご注意ください。
    - 1 枚の DVD±R/DVD+RW ディスクには最大 4.2GB までバックアップ可能
    - 1 枚の DVD±R/DVD+RW ディスクには、最大 4096 件のイベントをバックアップ可能
    - 各バックアップ録画データサイズは 2GB までです
    - DVD-ROM ドライブの書き込むスピードは 1x です
    - スピード変動可能（例え 1 倍から 16 倍まで）な DVD+R/DVD-R/DVD+RW ディスクをお薦めします。その一方、1x DVD ディスクもしくは他の固定速度ディスクは使わないでください（例：8x、16x）
    - DVD±R/DVD+RW ディスクを再利用する場合、過去のバックアップファイルは削除されます
    - マルチセクションには対応しません
    - CD-ROM/CD-RW ディスクは使えません
    - DVR の DVD ドライブを直接使い、バックアップデータの再生はしないでください

## 2.1.3 PTZ カメラ制御

リモコンで、PTZカメラを簡単に制御することができます。まずOSDメニューでPTZ制御を動作可能にしてください（詳細は[3.1 メニュー機能：PTZ設定](#)を参照のこと）。

### 2.1.3.1 PTZ モードに切り替え

PTZカメラを操作するには、まずPTZモードに切り替えください。**PTZ**ボタンとカメラチャンネル数ボタン（**1** **2** **3** **4**）を押すと、モニターは単一画面に変わり、画面上では「PTZ Mode(モード)」が現れます。



PTZモードを終了するには**PTZ**と**0**ボタンを押してください。また一分間以上リモコンを使用しない場合、システムも自動的にPTZモードを終了します。

### 2.1.3.2 プリセット位置設定

ユーザーはPTZカメラのプリセット位置を9個まで設定可能です。**1**から**9**までのボタンを使って、プリセット位置を設定してください。

1. **PTZ**とカメラチャンネル数ボタン（**1** **2** **3** **4**）を押し、PTZモードに切り替えます。
2. **▲**、**▼**、**◀**と**▶**を使い、所定の位置までPTZカメラを調整します。
3. 3秒間以上数字ボタンを押し続けると、位置が記憶されます。
4. PTZカメラをプリセット位置へ移動するには、数字ボタンを押してください。

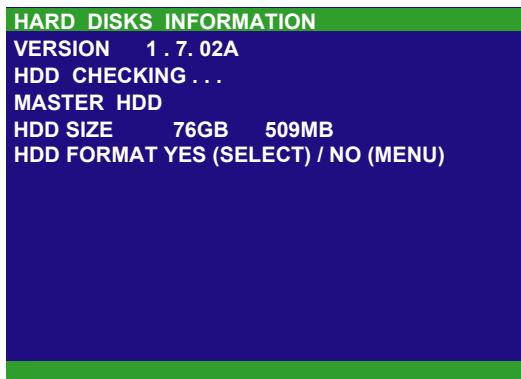
### 2.1.3.3 PTZカメラの制御

カメラレンズの移動、フォーカス調整、ズームインとズームアウトするには、下記のリモコンボタンを使ってください。

	PTZカメラレンズを右に移動		PTZカメラレンズの動きを減速
	PTZカメラレンズを左に移動		PTZカメラレンズの動きを加速
	PTZカメラレンズを上に移動		PTZカメラレンズのピントを合わせる
	PTZカメラレンズを下に移動		PTZカメラレンズのピントを外す
	PTZカメラレンズをズームイン		PTZカメラレンズをズームアウト

## 2.2 DVR を始めて使う時

初めて電源を入れた時、システムは HDD の状態を自動的に検知します。HDD を初めて使用する時、システムはまずフォーマットを行います。HDD のフォーマットを要求するメッセージが現れたら、 (SELECT) を押してフォーマットに同意してください。 (MENU) を押した場合、この HDD をフォーマットしないことを意味します。

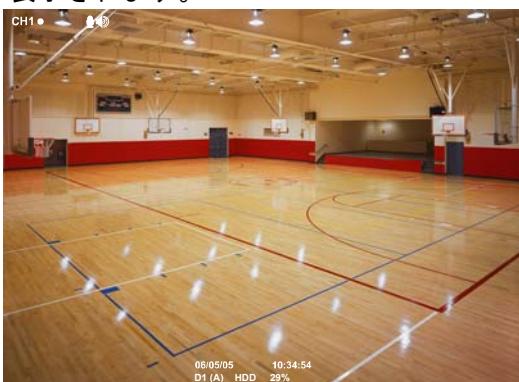


### 2.2.1 システムの日付と時刻の調整

1. 録画をスタートする前に、日付と時刻を正確な録画時間に調整してください。
2.  を押すと、OSD メニューが監視モニター上に現れます。次に  と  でオプションを上下に移動します。サブメニューを選択し、 或いは  で確認します。
3. サブメニューで、 と  でオプションを上下に移動します。時間設定を選択し、 で確認します。次に、 と  又は  と  で日付を調整し、 又は  を押して確認します。
4.  と  又は  と  ボタンでカーソルを左又は右へ移動し、日付を調整します。
5. 時刻を調節するには、上記のステップ 2 と 3 に従ってください。
6. 調節完了後は  を押して、メインメニューに戻ります。

## 2.3 監視モニター

そのカメラが録画状態であるかどうか判断するには、チャンネル番号の横に「●」があるかどうかを見ます。 (マイク) と  (スピーカー) が現れると、メニュー中の音声設定がオンであることを示します。モニタ下方のインフォメーションに現在の日付と時刻、録画モード(D1 モード或いは CIF モード)、録画状態(手動(B)/連続(A)/動作(M)/センサー(S))、HDD 使用済み% が表示されます。



フルスクリーンモード画面



4分割 (QUAD) モード画面

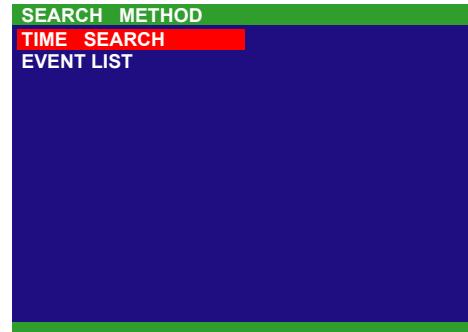
フルスクリーンモードの時、リモコン上のボタン(下図参照のこと)を押して、他のカメラやフルスクリーンモードに切り替えることができます。



## 2.4 ビデオ再生

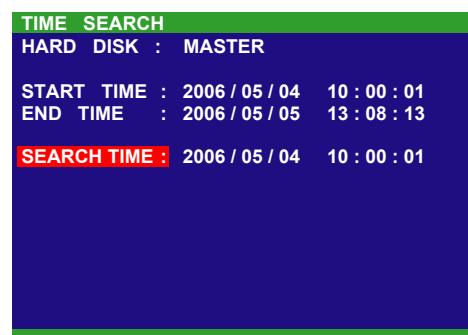
この DVR システムは録画と再生を同時にできます。そのためビデオを再生する時、録画を停止する必要がありません。

1. を押します。
2. と ボタンで上と下へ移動し、**時間検索**又は**イベントリスト**を選択します。次に 又は を押して確認します。



**時間検索** (日付と時刻から探します) :

1. と で**検索時間**を選択し、 又は を押して確認します
2. **検索時間**中、再生する映像の日付と時刻を選択することができます。



- 又は で決定します。 と 又は と ボタンでカーソルを左右に移動し、 と ボタンで日付と時間を選べます。次に 或いは を押して確認します。
3. ビデオ再生を再生する前に、必ず秒数を設定してください。 ボタンでカーソルを一番右に移動し、 と ボタンで秒数を選べます。次に 或いは を押して確認します。

**イベントリスト**(特定のイベントから探します) :

1. と ボタンでカーソルを上下移動してイベントを選択し、選定後、 或いは を押して確認してください。 と で次のページ或いは前のページへ移動します。
2. 以下は録画状態のコードについての説明です。

EVENT LIST			
HARD DISK : MASTER			
S	2006 / 05 / 03	13 : 26 : 34	13 : 26 : 50
A	2006 / 05 / 03	13 : 00 : 01	13 : 16 : 46
A	2006 / 05 / 03	12 : 00 : 01	13 : 00 : 01
B	2006 / 05 / 03	11 : 48 : 37	12 : 00 : 00
A	2006 / 05 / 03	11 : 30 : 23	11 : 31 : 18
A	2006 / 05 / 03	11 : 29 : 47	11 : 30 : 13
S	2006 / 05 / 03	11 : 28 : 55	11 : 28 : 58
B	2006 / 05 / 03	11 : 28 : 33	11 : 28 : 55
A	2006 / 05 / 03	11 : 25 : 41	11 : 28 : 32
A	2006 / 05 / 03	11 : 23 : 26	11 : 23 : 30

A - 常時録画(Always Recording) : 録画モードをストップさせずに録画を続けます。

S - センサー録画(Sensor Recording) : この録画モードはセンサーが触発された時、録画を行います。

M- 動作録画(Motion Recording) : この録画モードは動作を検知した時、録画を行います。

B - 手動録画(Button Recording) : この録画モードは **REC** を押した時だけ録画を行います。

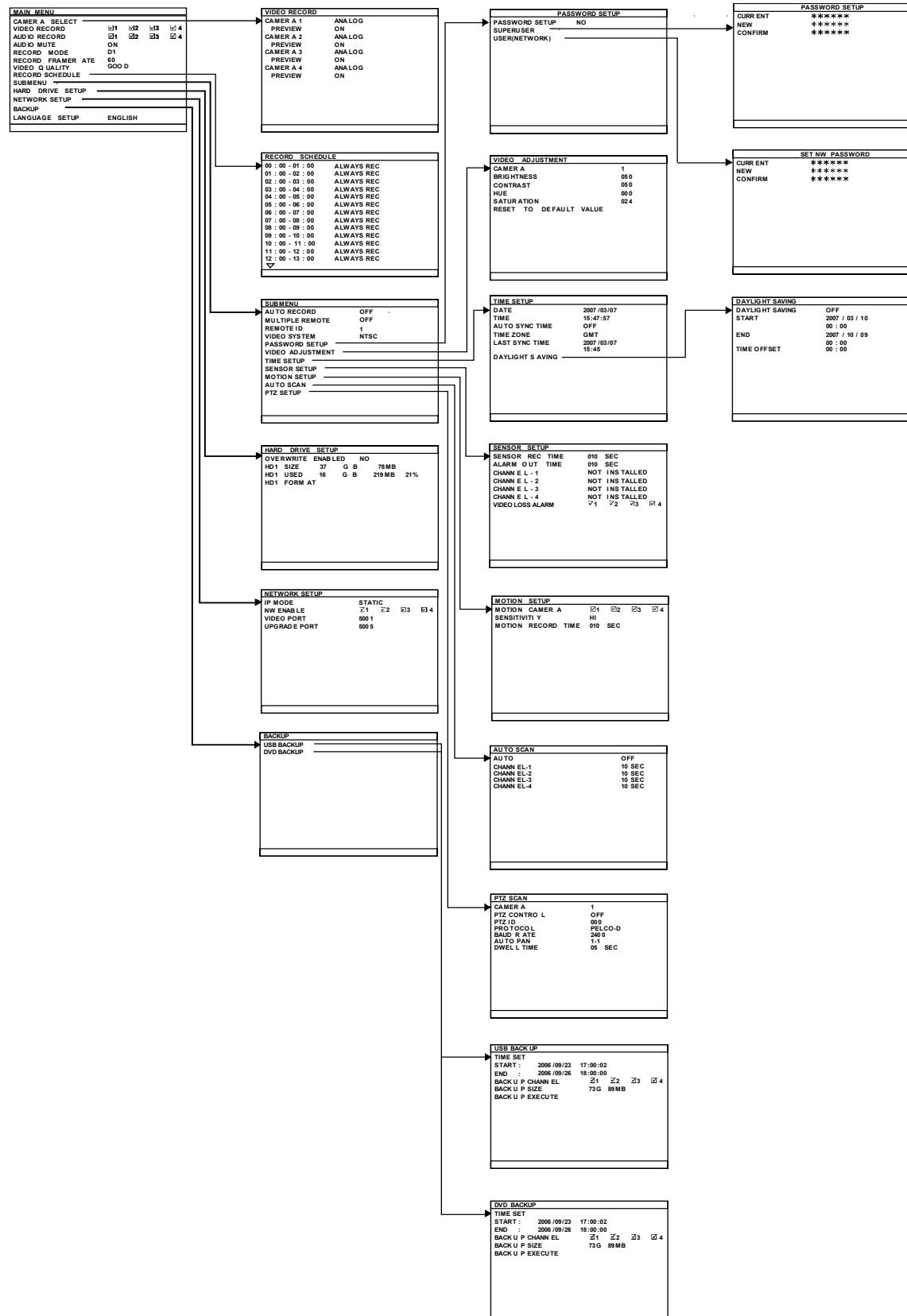
3. 再生モード下では、「▶」がチャンネル番号の横に現れ、現在映像再生中であることを示します。



サマータイム時期の録画データを再生する時、イベントリストを使い、再生したいイベントを探してください。サマータイム期間の初日から最終日まで、**時間検索**中の録画データは1つしかないとため、時間検索では特定時間のデータを再生することができません。

## 第三章 OSD 設定画面

下図は OSD メニューのツリー図です。リモコン上の ボタンを押すと、OSD メインメニューが監視モニター上に表示されます。



### 3.1 メニューの機能紹介

現在録画中の時は、録画をストップしてから、変更や録画に関するパラメーターを設定してください。リモコンで OSD メニュー内を閲覧し、オプションを確認すると、赤い標示が黄色に変わります。

OSD メニュー	説明																
<p>MAIN MENU <b>CAMERA SELECT</b></p> <p>VIDEO RECORD      <input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input checked="" type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4 AUDIO RECORD      <input checked="" type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4 AUDIO MUTE      ON RECORD MODE      D1 RECORD FRAMERATE      60 VIDEO QUALITY      GOOD RECORD SCHEDULE SUBMENU HARD DRIVE SETUP NETWORK SETUP BACKUP LANGUAGE      ENGLISH</p>	<p><b>カメラ選択 :</b> カメラ種類（アナログ又は IP カメラ）を選択し、監視モニター上に表示される某チャンネルの映像をオン/オフします。</p> <p>VIDEO RECORD</p> <table border="1"><tr><td><b>CAMERA 1</b></td><td>ANALOG</td></tr><tr><td>PREVIEW</td><td>ON</td></tr><tr><td><b>CAMERA 2</b></td><td>ANALOG</td></tr><tr><td>PREVIEW</td><td>ON</td></tr><tr><td><b>CAMERA 3</b></td><td>ANALOG</td></tr><tr><td>PREVIEW</td><td>ON</td></tr><tr><td><b>CAMERA 4</b></td><td>ANALOG</td></tr><tr><td>PREVIEW</td><td>ON</td></tr></table>	<b>CAMERA 1</b>	ANALOG	PREVIEW	ON	<b>CAMERA 2</b>	ANALOG	PREVIEW	ON	<b>CAMERA 3</b>	ANALOG	PREVIEW	ON	<b>CAMERA 4</b>	ANALOG	PREVIEW	ON
<b>CAMERA 1</b>	ANALOG																
PREVIEW	ON																
<b>CAMERA 2</b>	ANALOG																
PREVIEW	ON																
<b>CAMERA 3</b>	ANALOG																
PREVIEW	ON																
<b>CAMERA 4</b>	ANALOG																
PREVIEW	ON																

#### 録画の選択 :

チャンネルの録画をオン/オフします。

- i** チャンネル録画する前に、まず**カメラ選択**で録画したいチャンネルの映像を表示可能に設定してください。

#### 音声録画:

録音機能をオン/オフします。音声を記録するには、音声入力装置（例えマイク）が DVR に繋いでることを確認してください。

#### ミュート:

音声出力機能をオン/オフします。音声を聞くには音声出力装置（例：スピーカー）が DVR に繋いでることを確認してください。消音状態で録画すれば、再生する時は音声がありません。

- i** 音声入力と出力装置は別途電源に接続すること。

#### 録画モード :

D1/CIF 録画モードを選択します。

D1 モード (720 x 480) はフルスクリーンで録画します。オートスキップを有効にした場合、順番にチャンネルを切り替えます。各チャンネルは最高毎秒 15 フレーム (fps) で録画されます。フルスクリーン或いは 4 分割画面の監視が選択できます。CIF モード (360 x 240) の録画解像度は D1 モードより低いが、各チャンネルは最高毎秒 30 フレーム (fps) のスピードで録画し、フルスクリーン或いは 4 分割画面が選択できます。

#### 録画フレームレート:

1 秒あたりの録画フレーム数を設定します。下表のビデオレート値を参照してください。録画フレーム数が高いほど、使用する HDD スペースが大きくなります。

## OSD メニュー

MAIN MENU	
<b>CAMERA SELECT</b>	
VIDEO RECORD	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
AUDIO RECORD	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
AUDIO MUTE	ON
RECORD MODE	D1
RECORD FRAMERATE	60
VIDEO QUALITY	GOOD
RECORD SCHEDULE	
SUBMENU	
HARD DRIVE SETUP	
NETWORK SETUP	
USB BACKUP	
LANGUAGE	ENGLISH

## 説明

映像標準 録画モード	説明	
	NTSC	PAL
D1	60, 20, 4	48, 20, 4
CIF	120, 60, 40, 20, 4	100, 48, 20, 4

### 録画品質 :

映像品質の選択—BEST、HIGH、GOOD、MEDIUM、NORMAL、LOW。

BEST - 最良の録画品質ですが、録画できる時間が最も短いです。

NORMAL - HDD スペースが節約できますが、録画の映像品質は中程度です。

LOW - 録画できる時間は最長ですが、録画品質は 6 ランク中最低です。

### 言語設定 :

日本語 (Japanese) を選んでください。

RECORD SCHEDULE	
00 : 00 - 01 : 00	ALWAYS REC
01 : 00 - 02 : 00	ALWAYS REC
02 : 00 - 03 : 00	ALWAYS REC
03 : 00 - 04 : 00	ALWAYS REC
04 : 00 - 05 : 00	ALWAYS REC
05 : 00 - 06 : 00	ALWAYS REC
06 : 00 - 07 : 00	ALWAYS REC
07 : 00 - 08 : 00	ALWAYS REC
08 : 00 - 09 : 00	ALWAYS REC
09 : 00 - 10 : 00	ALWAYS REC
10 : 00 - 11 : 00	ALWAYS REC
11 : 00 - 12 : 00	ALWAYS REC
12 : 00 - 13 : 00	ALWAYS REC
▼	

### 録画スケジュール:

デフォルト値は 24 時間連続の常時録画モードです。下表の説明を参照して録画モードを調整してください。

状態	説明
NO REC	録画しない
ALWAYS REC	常時録画
MOTION REC	動作を検知すると録画開始
SENSOR REC	センサーが作動すると録画開始
BUTTON REC	録画ボタンを押すと録画開始

## OSD メニュー

```
HARD DRIVE SETUP
OVERWRITE ENABLED YES
HD1 SIZE 156,012MB
HD1 USED 250MB 1%
HDD FORMAT
```

## 説明

### HDD の上書き :

HDD がフルに録画されると、新しい録画データは最も古い録画データ上に上書きされるのをオン/オフします。HDD の上書き機能のデフォルト値はオンです。

### HDD のフォーマット :

セキュリティー上の配慮から、HDD のフォーマットをする際にはパスワードを入力する必要があります。

### HDD のフォーマット方法 :

1. と ボタンで HDD のフォーマットを選択します。次に ボタンを押して確認し、パスワード確認画面に入ります。
2. パスワード確認画面で、 或いは を押し、次に と ボタンで数字を選択するか、リモコン上の数字ボタンで直接パスワードを入力します。そして 或いは ボタンを押して確認し、パスワードの入力が終了するまで繰り返します。 と ボタンでカーソルを左と右に移動します。

```
CHECK PASSWORD
ENTER PASSWORD *****
```

3. 入力完了後、システムは HDD をフォーマットします。
4. フォーマットが終了するとモニター上に「HDD のフォーマット成功 (HDD FORMAT COMPLETED)」と表示されます。

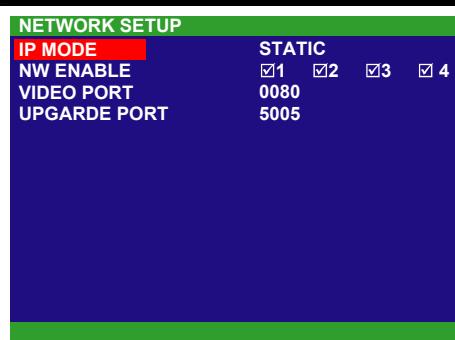
```
HARD DRIVE SETUP
OVERWRITE ENABLED YES
HD1 SIZE 156,012 MB
HD1 USED 0 MB 0%
HDD FORMAT
```

HDD FORMAT COMPLETED



HDD のフォーマットをすると HDD 内の録画データが永遠に削除され、且つ復元できません。

## OSD メニュー



## 説明

### ネットワーク設定:

ネットワークのパラメータを設定し、ユーザーにネットワーク遠隔ログインシステムによる監視、或いは巻き戻し再生を提供します。

#### IP モード:

使用する IP モードを選択します。システムは 3 種類の IP モード - Static(固定 IP)、DHCP、PPPoE をサポートします。

▲ と ▼ ボタンで上下移動し、IP モードを選択し、◀ ボタンを押して確認します。▲ と ▼ ボタンで IP モードを選択し、◀ 或いは ▶ ボタンでオプションを確認します。

1. **STATIC:** DVR システムに固定 IP アドレスを割り当てる。▲ と ▼ ボタンで上と下へ移動し項目を選び、◀ 又は ▶ で決定します。◀ と ▶ を押し、左右へ移動してオプションを選択するかもしくは設定数値を変更することができます。

- **IP アドレス:** 1 つの固定 IP アドレスを設定して監視システムに割り当てます。固定 IP アドレスは一般にインターネット接続業者 (ISP) に申請することで取得します。

**i** 1.0.0.0 ネットワークセグメントを DVR に割り当てないでください。認可されていない 1.0.0.0 IP セグメントは、DVR がインターネットにアクセスできない原因となります。

- **サブネット:** 監視システムの IP アドレスが属するサブネットのビットマスクアドレスを入力します。サブネットは 1 つのビットマスク (bitmask) で IP アドレスが属するサブネットと複数のホストアドレスを区別して使用するのに提供されます。

- **ゲートウェイ:** インターネットへの通路みたいなネットワーク装置です。ネットワークゲートウェイの IP アドレスを入力してください。

- **DNS:** ドメインネームサーバー (Domain Name Server) の IP アドレスを入力します。ドメインネームサーバーは入力されたドメインネーム (例: www.abb.com.tw) を対応する IP アドレスに変換します。

- **MAC アドレス:** MAC アドレスは閲覧だけに提供されるため、入力する必要がありません。

- 全ての設定を入力し終わったら、**CHANGE (変更)** を選択し、設定を確認して、初めて全設定が効力を生じます。

## OSD メニュー

### 説明

NETWORK SETUP	
<b>IP MODE</b>	DHCP
NW ENABLE	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4
VIDEO PORT	80
UPGRADE PORT	5005

NETWORK INFORMATION	
<b>IP ADDRESS</b>	192.168.153.100
SUB NET	255.255.255.255
GATEWAY	192.168.153.254
DNS	192.168.153.1
MAC ADDRESS	00.00.00.00.00.00
CHANGE	

- **DHCP:** IP アドレスは LAN 内の DHCP サーバーが自動的に割り当てます。▲ と ▼ ボタンで上下移動して、DHCP を選択し、次に ← 或いは → ボタンを押してオプションを確認します。



DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は IP シェアリングルーターに対し、IP アドレスの割り当てを要求するプロトコルです。

DHCP モードを選択すると、監視システムは LAN 上の DHCP サーバーに対し IP アドレスの割り当てを要求し、下記のようなメッセージが現れます：



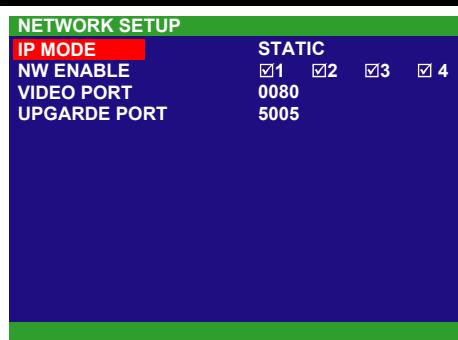
システムが IP アドレスを割り当てられると、関連情報が下記のように示されます：

NETWORK INFORMATION	
<b>IP ADDRESS</b>	192.168.153.100
SUB NET	255.255.255.255
GATEWAY	192.168.153.254
DNS	192.168.153.1
MAC ADDRESS	00.00.00.00.00.00

システムがネットワーク情報を得られなかった時は、DHCP サーバーより IP 取得を失敗したということになります。

NETWORK INFORMATION	
<b>IP ADDRESS</b>	000.000.000.000
SUB NET	000.000.000.000
GATEWAY	000.000.000.000
DNS	000.000.000.000
MAC ADDRESS	00.00.00.00.00.00

## OSD メニュー

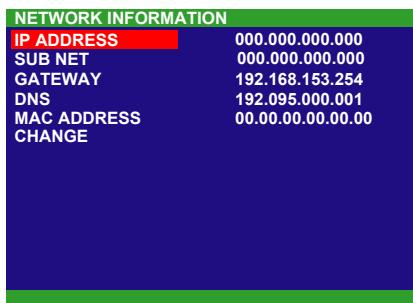


## 説明

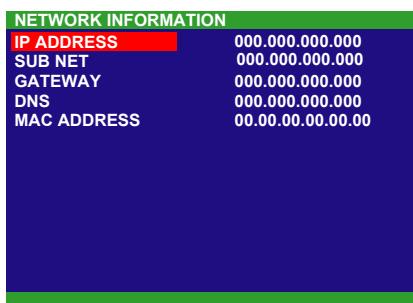
2. **PPPOE:** Point-to-Point Protocol over Ethernet はネットワークプロトコルの 1 種です。一般に PPPOE は多くが ADSL で使用され、お客様がネットワークに ADSL を使用し、且つ IP サーバーを使用せずに接続する場合、PPPoE モードの選択を勧めます。▲と▼ボタンで上下移動し、PPPOE を選択します。次に、◀ボタンを押し、オプションを確認すると、次のようなメッセージが現れます：



システムに IP アドレスが割り当てられると下記のように表示されます：



システムがネットワーク情報を得られなかった時は、PPPOE サーバーより IP 取得を失敗したことになります。



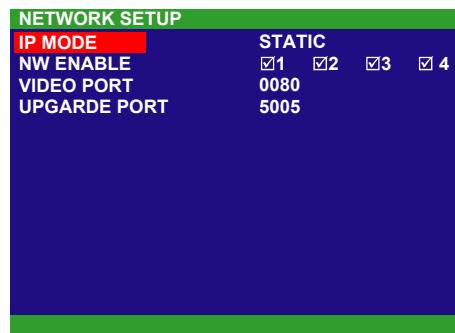
- i** PPPOE サーバーにつながるには、[8.1.1.5 ネットワーク設定 # PPPOE](#)を参考し、PPPOE アカウントとパスワードを設定してください。

## ネットワークカメラの選択：

遠隔ユーザーがチャンネルの再生や監視を実行することを許可します。どれか 1 つのチャンネルに対し、この機能を有効にしない限り、その間遠隔チャンネルの再生と監視を行うことができません。

- i**  1 はチャンネル 1  2 はチャンネル 2  
 3 はチャンネル 3  4 はチャンネル 4

## OSD メニュー



### 説明

▲ と ▼ ボタンでカーソルを上下移動し、NW 有効（ネットワークカメラの選択）を選びます。◀ と ▶ ボタンでカーソルをカメラオプションへ移動し、▲ と ▼ ボタンでカメラのネットワーク機能をオン/オフにし、次に ◀ 或いは ▶ を押して設定を確認します。

### ビデオポート：

遠隔オンライン用に提供するポートを設定します。すでにネットワークサービスに使用しているポートを除き、どのポートを遠隔接続用に設定することができます。デフォルトのポートは 80 です。

▲ と ▼ ボタンでカーソルを上下移動し、ビデオポートを選択して、次に ◀ 或いは ◀ と ▶ ボタンでカーソルを数値位置へ移動させます。▲ と ▼ ボタンでポートの数値を選択し、次に ◀ 或いは ▶ を押して設定を確認します。

### コマンドポート（ファームウェア更新）：

1つのポートを監視システムのファームウェアの遠隔アップグレード用として設定します。すでにネットワークサービス用に設定されているポートを除き、どのポートも遠隔接続用として設定できます。デフォルトのポートは 5005 です。DVR ファームウェアを更新するには、地元の販売店にご連絡ください。

**i** ファームウェアをアップグレードする時、DVR の電源を中断しないでください。電源を中断するとシステムに永久的な損害が生じ、修復できなくなります。

▲ と ▼ ボタンでカーソルを上下移動し、コマンドポートを選択して、次に ◀ 或いは ◀ と ▶ ボタンでカーソルを数値位置へ移動させます。▲ と ▼ ボタンでポートの数値を選択し、次に ◀ 或いは ▶ を押して設定を確認します。

## OSD メニュー

BAKCUP  
USB BACKUP  
DVD BACKUP

## 説明

### バックアップ:

USB 又は DVD-RW で記録したファイルをバックアップします。▲ と ▼ で上下を移動し、バックアップ装置を選択します。

### USB バックアップ:

▲ と ▼ ボタンでカーソルを上下移動し、USB バックアップを選択、次に ← 或いは → を押して設定を確認します。← と → でカーソルを左右に移動し、▲ と ▼ ボタンで数値を変更し、また ← 或いは → を押して確認します。

1. バックアップする映像の「スタート時刻」と「終了時刻」を設定します。
2. バックアップするチャンネルを選択します。
3. 次に**バックアップ実行**を選択し、バックアップを開始します。

### USB BAKCUP

#### TIME SET

START : 2006 / 05 / 04 10 : 00 : 01  
END : 2006 / 05 / 05 13 : 08 : 13

BACKUP CHANNEL  1  2  3  4  
BACKUP SIZE 89MB  
BACKUP EXECUTE

USAGE OF USB WILL STOP NETWORK  
FUNCTIONS!  
YES(SELECT) / NO(MENU)

#### BACKUP EXECUTE

 80%

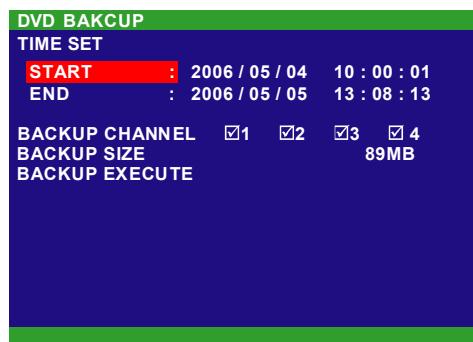
USB REMAINDER SIZE 820MB

4. バックアップ終了後、いずれかのボタンを押すとメインメニューに戻ります。
5. バックアップファイルを再生するには、バックアップファイルに含まれている再生アプリケーションをご利用ください(詳細は [4.3](#) をご参照のこと)。



- バックアップが始める前に、USB デバイスを DVR に差し込んでください。
- USB デバイス(USB メモリを除く)は別途外部電源に接続する必要があります。
- バックアップファイルには再生アプリケーションが含まれています。

## OSD メニュー



## 説明

### DVD バックアップ:

DVD-RW で DVD±R/DVD+RW に録画ファイルをバックアップするには、下記の事項を注意ください。

- 1枚の DVD±R/DVD+RW ディスクには、最大は 4.2GB までバックアップ可能です。
- 1枚の DVD±R/DVD+RW ディスクには、最大 4096 件のイベントをバックアップ可能です。
- 各バックアップ録画データサイズは 2GB までです。
- DVD-ROM ドライブの書き込むスピードは 1x です。
- スピード変動可能（例え 1 倍から 16 倍まで）な DVD+R/DVD-R/DVD+RW ディスクをお薦めします。その一方、1x DVD ディスクもしくは他の固定速度ディスクは使わないでください（例：8x、16x）。
- DVD±R/DVD+RW ディスクを再利用する場合、過去のバックアップファイルは削除されます。
- マルチセクションには対応しません。
- CD-ROM/CD-RW ディスクは使えません。
- DVR の DVD ドライブを直接使い、バックアップデータの再生はしないでください。

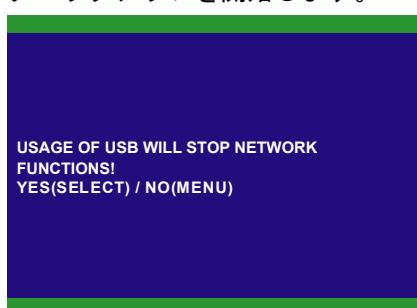
#### • DVD ディスクと速度サポート:

タイプ	速度
DVD+R	18x, 16x, 12x, 8x, 6x, 4x, 2.4x
DVD-R	18x, 16x, 12x, 8x, 6x, 4x, 2x, 1x
DVD+RW	8x, 6x, 4x, 3.3x, 2.4x

#### • バックアップ:

▲ と ▼ ボタンでカーソルを上下移動し、DVD バックアップを選択、次に ← 或いは → を押して設定を確認します。 ← と → でカーソルを左右に移動し、▲ と ▼ ボタンで数値を変更し、また ← 或いは → を押して確認します。

1. DVD ディスクを DVD ドライブに入れます。
2. バックアップする映像の「スタート時刻」と「終了時刻」を設定します。
3. バックアップするチャンネルを選択します。
4. バックアップ実行を選択し、DVD ディスクへのデータバックアップを開始します。



## OSD メニュー

## 説明

### DVD BAKCUP

#### TIME SET

START : 2006 / 05 / 04 10 : 00 : 01  
END : 2006 / 05 / 05 13 : 08 : 13

BACKUP CHANNEL  1  2  3  4  
BACKUP SIZE 89MB  
BACKUP EXECUTE

### BACKUP EXECUTE

80%

USB REMAINDER SIZE

820MB

5. バックアップ終了後、いずれかのボタンを押すとメインメニューに戻ります。
6. バックアップファイルを再生するには、バックアップファイルに含まれている再生アプリケーションをご利用ください（詳細は [4.3](#) を参照のこと）。

### SUBMENU

**AUTO RECORD** OFF  
MULTIPLE REMOTE OFF  
REMOTE ID 1  
VIDEO SYSTEM NTSC  
PASSWORD SETUP  
VIDEO ADJUSTMENT  
TIME SETUP  
SENSOR SETUP  
MOTION SETUP  
AUTO SCAN  
PTZ SETUP

### 自動録画 :

中断後の自動録画機能をオン/オフします（例：停電、録画再生或いは設定の実行）。システムは放置状態から10秒後、自動的に録画を継続します。この機能は常時録画モードの時のみ作動ます。

### マルチリモート (MULTIPLE REMOTE) :

複数台 DVR のリモコン制御機能をオン/オフします。マルチリモート機能を有効にすると、複数台の DVR を1つのリモコンで制御することができます。

### リモート ID (REMOTE ID) :

同時に複数台の DVR がある時、DVR ごとに1つのID番号（リモート ID）を割り当て、マルチリモート機能を起動すると、1つのリモコンから各DVR をそれぞれ制御できます。複数台の DVR を1つのリモコンで操作するには、リモコン上の **FN** ボタンと数字ボタン（リモート ID）を押すと、その ID が属する DVR システムを制御できます。

### ビデオシステム (VIDEO SYSTEM) :

DVR システムは自動的にビデオシステム (NTSC/PAL) を検知します。

### PASSWORD SETUP

**PASSWORD SETUP** NO  
SUPERUSER  
USER(NETWORK)

### パスワード設定 :

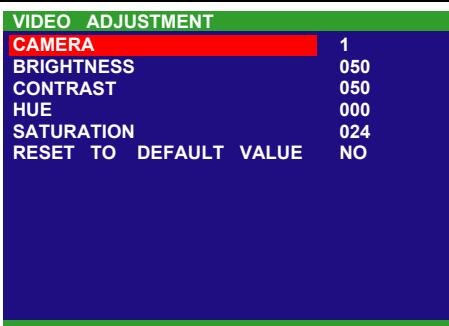
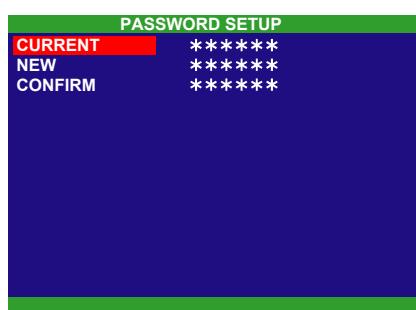
システムの保護機能をオン/オフします。これはライセンスのないユーザーによる録画の停止、システム設定の変更、HDD のフォーマットを防ぐことができます。リモコン上の数字ボタンを利用して、パスワードを入力します。または **▲** と **▼** もしくは **■** と **■** ボタンでパスワードナンバーを選択し、**◀** 或いは **▶** を押して確認します。

### SUPERUSER:

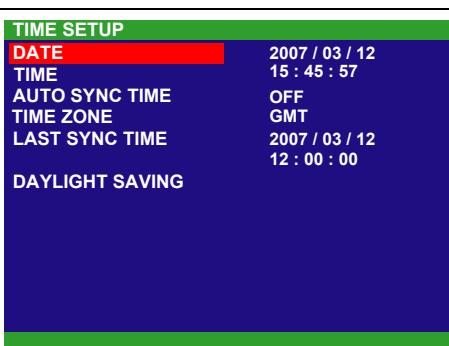
スーパーユーザー (superuser) は HDD のフォーマットやシステム設定と遠隔監視の変更、そしてシステム設定の遠隔変更をする権限があります。デフォルトのパスワードは 111111 です。

**USER(NETWORK):**

このユーザーアカウント (user) は遠隔監視のログインに使用します。ユーザーアカウント (user) は Web ブラウザを経由し、遠隔監視と映像の再生ができますが、設定を変更する権限はありません。デフォルトのパスワードは 111111 です。

**画質設定 :**

チャンネルを選択し、映像の明るさ (BRIGHTNESS) 、コントラスト (CONTRAST) 、色合い (HUE) 、彩度 (SATURATION) の数値を設定します。

**時間設定:**

システムの日付、時刻、サマータイムを設定し、ネットワーク経由で自動的に時刻同調することができます。

**日付設定 :**

現在の日付を設定します。

**時刻設定:**

現在の時刻を設定します。

**自動時間同調 (AUTO SYNC TIME) :**

ネットワークを介し自動的に時間同調をオン/オフにします。この機能を有効すると、DVR システムは NTP サーバーの時間と自動的に時間同調します。初回の時間同調は DVR の電源を入れて 6 時間後です。またサマータイム機能を有効すると、時間同調機能は停止します。



NTP サーバーの URL 又は IP アドレスを設定する必要があります (詳細は [8.1.1.1 シス](#)

## テム設定 #3 NTP 設定を参照のこと)。

- NTP サーバーを設定しない場合、自動時間同調は機能しないので、ご注意ください。

## 時間帯 (TIME ZONE) :

標準時間の時間帯を選択します。時間帯は GMT (グリニッジ標準時間) 時間帯を基準にします。

## 最新同調時間 (LAST SYNC TIME) :

時刻同調の最新実施日付と時刻を表示します。

DAYLIGHT SAVING	
DAYLIGHT SAVING	OFF
START	2007 / 03 / 10 00 : 00
END	2007 / 10 / 09 00 : 00
TIME OFFSET	00 : 00

## サマータイム (DAYLIGHT SAVING) :

サマータイム機能をオン/オフします。

## 開始 (START) :

サマータイム開始日付と時刻を設定します。

## 終了 (END) :

サマータイム終了日付と時刻を設定します。

## タイムオフセット (TIME OFFSET) :

居場所の時間帯とサマータイムとの時間差を設定します。例えば：アメリカの時間帯とサマータイムとの時間差は1時間です。

SENSOR SETUP	
SENSOR REC TIME	010 SEC
ALARM OUT TIME	010 SEC
CHANNEL - 1	NOT INSTALLED
CHANNEL - 2	NOT INSTALLED
CHANNEL - 3	NOT INSTALLED
CHANNEL - 4	NOT INSTALLED
VIDEO LOSS ALARM	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4

## センサー録画時間 (SENSOR REC TIME) :

センサーが起動された時の録画時間長さ(秒)を設定します。

## アラーム時間 :

センサーが作動された時、アラームを動作させる時間長さ(秒)を設定します。

## カメラ 1~4 (CHANNEL 1~4) :

実際に取り付けられたセンサーの状況に基づき設定を変更します。下表を参照してセンサーの設定を変更してください。

状態	説明
NOT INSTALLED	回路にセンサーが取り付けられていないことを示します
NORMAL OPEN	平常時のセンサー状態がノーマルオープン(NORMAL-OPEN)だと、センサー状態が Close に変わった際、録画をスタートします
NORMAL CLOSE	センサー状態がノーマルクローズ(NORMAL-CLOSE)だと、センサー状態が OPEN に変わった際、録画をスタートします

## 映像消失警報 (VIDEO LOSS ALARM) :

チャンネルの映像が消失した際、DVR システムのブザーが鳴ります。

## OSD メニュー

### 説明

MOTION SETUP  
MOTION CAMERA 1 2 3 4  
SENSITIVITY L  
MOTION RECORD TIME 010 SEC

#### 動作カメラ :

動作検知録画をするカメラにチェックを入れます。

#### 感度 :

動作検知の感度を設定します。感度は高い方から低い順に H (最高)、9 ~ 2 、L (最低) とします。

#### 動作検知録画時間 :

動作が検知されてから、録画を終了するまでの時間長さ(秒)を設定します。

AUTO SCAN  
AUTO SCAN OFF  
CHANNEL - 1 10 SEC  
CHANNEL - 2 10 SEC  
CHANNEL - 3 10 SEC  
CHANNEL - 4 10 SEC

#### オートスキャン :

フルスクリーンの時、各チャンネルが自動的に循環表示されるのをオン/オフします。各チャンネルの切り替え秒数を設定でき、秒数設定値は 5 ~ 30 秒までです。

PTZ SCAN  
CAMERA 1  
PTZ CONTROL OFF  
PTZ ID 000  
PROTOCOL PELCO-D  
BAUD RATE 2400  
AUTO PAN 1-1  
DWELL TIME 05 SEC

#### PTZ 設定:

PTZ カメラをリモコンで制御可能にし、また PTZ カメラのパラメーターを設定します。

- ① ボタンを押し、サブメニュー → PTZ 設定 (PTZ SETUP) を選択します。
- ② と で上下を移動し、項目を選択して、パラメーターを変更します。
- ③ 又は ボタンで環境設定モードに入ります。又は ボタンで設定を確認します。

#### カメラ (CAMERA) :

PTZ カメラのチャンネルを選びます。PTZ カメラがチャンネル 1 に接続しているなら、カメラを 1 に設定してください。次に、PTZ カメラの映像はチャンネル 1 に表示されます。

#### PTZ 制御 (PTZ CONTROL) :

ローカルで PTZ カメラのリモコン制御をオン/オフにします。

#### PTZ ID :

PTZ カメラに ID を割り当てます。ID は 001 から 255 まで設定可能ですが、PTZ カメラのプロトコルによって制限される場合があります。PTZ ID の割り当てに關し、PTZ カメラの取扱説明書を御参照ください。



カメラチャンネルの ID とのコンフリクトを避けるため、PTZ カメラの ID は 5 から割り当てるのをお薦めします。

PTZ SCAN
CAMERA
PTZ CONTROL
PTZ ID
PROTOCOL
BAUD RATE
AUTO PAN
DWELL TIME

1  
OFF  
000  
PELCO-D  
2400  
1-1  
05 SEC

#### プロトコル (PROTOCOL) :

PTZ カメラのプロトコルを選択します。PTZ カメラはブランドによってプロトコルが異なります。現在、この DVR システムは PELCO-D と PELCO-P など二つのプロトコルに対応しています。どのプロトコルを使うかに関し、PTZ カメラの取扱説明書を御参照ください。

#### ボーレート (BAUD RATE)

PTZ カメラのボーレートを設定します。詳細は PTZ カメラの取扱説明書を御参照ください。

#### オートパン (AUTO PAN) :

プリセット番号を選択し、PTZ カメラの自動移動方向を指定します。例えば：1-3 は PTZ カメラがプリセット位置 1 から 2、3 へと自動的に移動します。

#### 滞在時間 (DWELL TIME)

PTZ カメラが現在位置から次へと移動する前の滞在時間を設定します。

## 第四章 USB 再生コンソールを使う

### 4.1 推薦システム

- Pentium®4 2.4GHZ 或いはそれ以上
- Windows®2000/ XP/ Vista
- DDR 256 MB
- グラフィック機能は必ず DirectDraw をサポートすること
- サウンドカード或いはサウンドカード内蔵
- スピーカー
- 利用可能な USB2.0 ポート一つ

### 4.2 USB 再生コンソールのインストール

USB 再生コンソールをインストール:

1. インストール CD を CD ドライブに入れると、インストールのメインメニュー画面が現れます。「USB 再生コンソールのインストール (Install USB Playback Console)」をクリックし、画面に表示されるステップに従ってインストールします。



2. 希望する言語を選択します。



3. OK をクリックし、アプリケーションをインストールます。
4. Exit をクリックするとインストールメニューを閉じます。次に USB メモリもしくは外付 HDD を接続してください。

## 4.3 USB 再生コンソールの実行

 をクリックし USB 再生コンソールを起動します。



名称	機能
(1)	ビデオ再生画面

再生したい映像ファイルを選択します。再生アプリケーションは \*.dvr と \*.avf のファイル形式をサポートします。



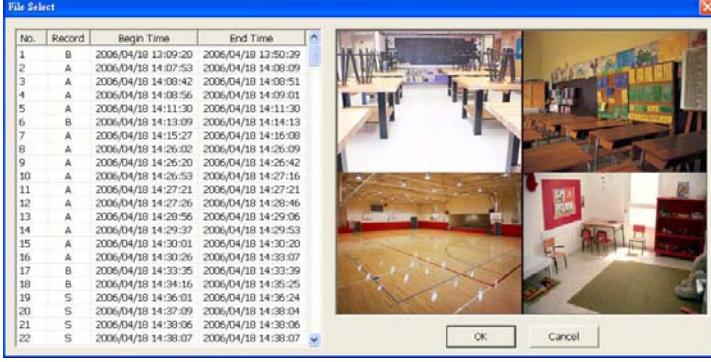
(2) ファイルを開く

- **DVR Recorded File (HD):** 監視システムのHDD上に保存された録画映像を指します（詳細は [4.3.2](#) を参照のこと）。
- **Backup File(.dvr):** \*.dvr ファイル形式のバックアップファイルを指します（詳細は [4.3.3](#) を参照のこと）。
- **Backup File(.avf):** \*.avf ファイル形式のバックアップファイルを指します（USB メモリと DVD ディスクにバックアップされるファイル形式は \*.avf です）。

(3) イベントリスト

再生したいイベントを選択します。ユーザーが **DVR Recorded File (HD)** の再生を選択すると、イベントリストのウインドウが現れます。

名称	機能
----	----



- (4) フルスクリーン 画面がフルスクリーンモードに拡大し、マウスの右クリック、或いはキーボードの ESC キーで元の状態に戻ります。マウスの左クリックで單一カメラの拡大ができます。
- (5) セグメント 録画ビデオの一部分をキープします（章節 [4.3.1](#) を参照のこと）。
- (6) 出力 セグメントした映像ファイルを\*.mpgもしくは\*.avi形式で保存します（章節 [4.3.1](#) を参照のこと）。
- (7) スナップショット 1コマの映像をキャプチャし .jpg 或いは .bmp ファイル形式で保存します。
- (8) プリント 現在の画面をプリントアウトします。
- (9) HDD バックアップ HDDバックアップアプリケーションを実行します（[Chapter 5](#) を参照のこと）。
- (10) iEnhance iEnhanceアプリケーションを実行します（[Chapter 7](#) を参照のこと）。
- (11) ウオーターマーク 画像検証(Image Verification)を実行します（[Chapter 6](#) を参照のこと）。
- (12) ステータスバー 録画の日付、時刻と再生速度を表示します。
- (13) プログレスバー スクロールバーを左右に移動して、再生画面が検索できます。
- (14) 再生制御ボタン  
開始：録画のスタートポイントへ戻ります。  
前の画面：前のフレームへ戻ります。  
スロー再生：1/2倍、1/4倍、1/8倍速でスロー再生します。  
巻き戻し：録画ファイルを巻き戻します。  
停止：録画の再生を一時停止します。  
再生：録画を再生します。  
早送り再生：2/4/8倍速で映像を早送り再生します。  
次の画面：次のフレームへ進みます。  
終了：録画の終了ポイントへジャンプします。
- (15) 分割画面モード カメラボタンを押して、見たいカメラの画面(カメラ 1~4)や 4 分割画面へ自由に切り替えることができます。
- (16) 終了 アプリケーションから退出/最小化します。キャンセルする時は Cancel を押します。
- (17) 音声 /音声バー 音声をオン/オフします。  
音量の大きさを調整します。



### 4.3.1 録画セグメントの編集と保存

1. 再生制御ボタン、或いは再生プログレスバーを使用して編集をスタートさせたい位置へ移動し、セグメント(Segment)ボタンを押してスタートポイントを設定します。



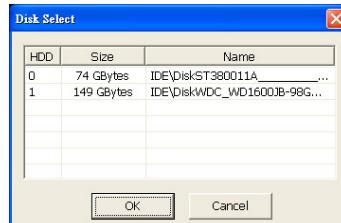
2. 再生制御ボタン、或いは再生プログレスバーを使用して編集を終了させたい位置へ移動し、セグメント(Segment)ボタン押して終了ポイントを設定します。セグメントの設定を取り消すには、もう1回セグメント(Segment)ボタンを押して、先ほど設定したポイントをキャンセルします。



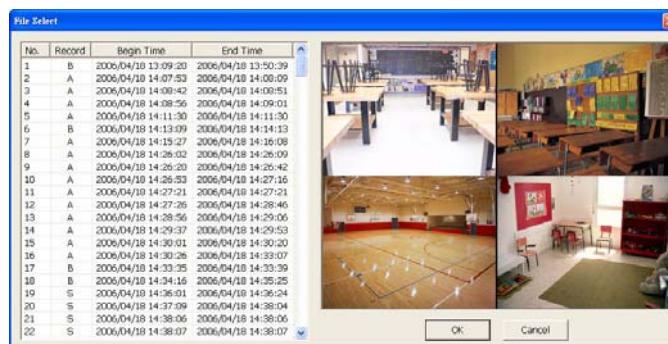
3. 出力(Output)ボタンをクリックして編集したいセグメントを保存します。
4. ファイル保存(Save As)のダイアログボックス中、セグメントファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力して、保存形式を選択します。

### 4.3.2 HDD上の録画ファイルの再生と保存

1. 録画ファイルを内部に保存するHDDをパソコンもしくはパソコンに接続しているUSB外付けHDDケースに取り付けます。
2. ファイル開く(Open File)ボタンをクリックします。
3. DVR Recorded File(HD)を選択し、OKをクリックします。
4. Disk SelectウインドウからHDDを選択し、OKをクリックします。



5. 次にイベントリストのウインドウが現れるので、再生したいイベントを選択してOKをクリックします。



### 4.3.3 バックアップファイル(\*.dvr)の再生

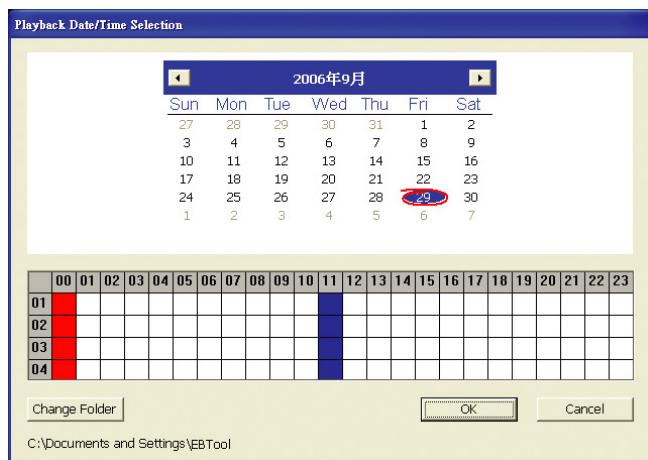
1. ファイル開く(Open File)ボタンをクリックします。
2. Backup File (\*.dvr)を選択し、OKをクリックします。
3. バックアップファイルのフォルダを探し、OKをクリックします。



バックアップファイルをクリックする必要はなく、バックアップファイルのフォルダを指すだけでよい。

4. 次にPlayback Date/Time Selectionウインドウが現れるので、再生したい映像の日付と

時刻を選択して、OK をクリックします。

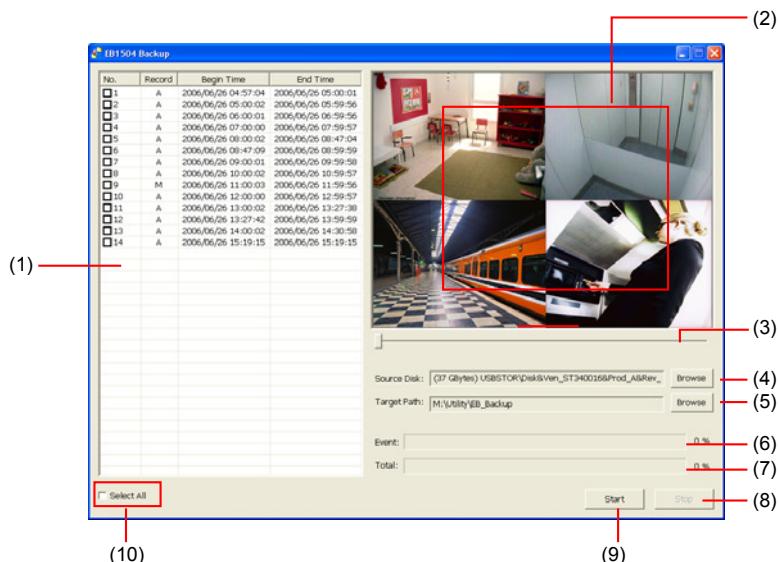


## 第五章 録画ファイルのバックアップ

### 5.1 推奨システム

- Pentium®4 2.4GHz 或いはそれ以上
- Windows®2000/ XP/ Vista
- DDR 256 MB
- グラフィック機能は必ず DirectDraw をサポートすること
- サウンドカード或いはサウンドカード内蔵
- スピーカー
- 利用可能な USB2.0 ポート一つ

### 5.2 HDD バックアップアプリケーション



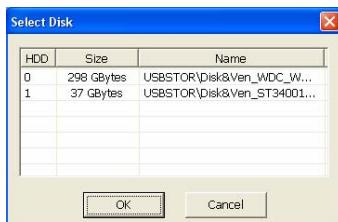
名称	機能
----	----

(1) 全録画ビデオイベントリスト  
No: リストの番号  
Record: 録画タイプ([第2章 2.3.1](#)をご参照ください)  
Begin Time: 録画開始時刻  
End Time: 録画終了時刻

(2) ユーザーが選択した録画イベントファイルの各チャンネルの 1 コマ目の画面が表示されます。

(3) プログレスバー スクロールバーを左右に引っ張ることで、録画イベントをスピーディに探すことができます。

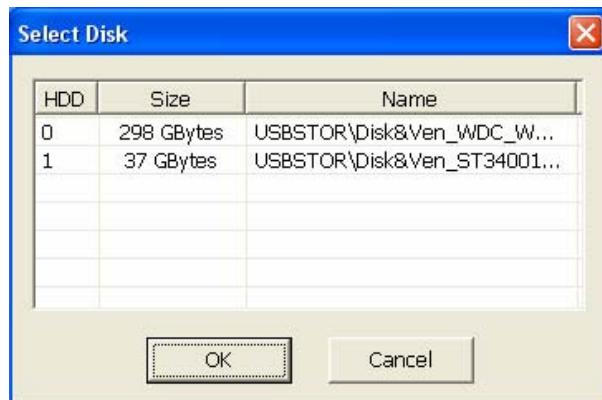
(4) Source Disk HDD を選択します。



名称	機能
(5) Target Path	バックアップファイルの保存先を選択します。
(6) Event (%)	イベントのバックアップ作業の進行を % で表示します。
(7) Total (%)	全部のバックアップ作業の進行を % で表示します。
(8) Stop	バックアップを停止します。
(9) Start	バックアップを開始します。
(10) Select All	リストアップされた録画イベントを全て選択します。

### 5.3 録画ファイルのバックアップ

1. 録画ファイルを保存する HDD (DVR 本体にある) をパソコン上に取り付けるか、USB 外付け HDD ケースを使用してパソコンに接続します。
2. 次に USB 再生コンソールのメイン画面上で、「HDD Backup (バックアップ)」ボタンをクリックして、「HDD バックアップアプリケーション」を起動します。
3. **Source Disk** の **Browse** ボタンをクリックします。
4. 次に **Select Disk** ウィンドウが現れます：



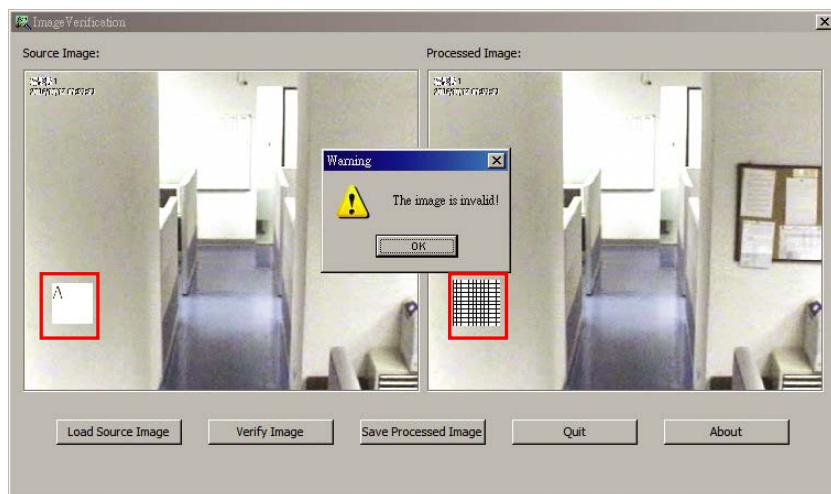
5. **Select Disk** ウィンドウ内で映像が保存されている HDD を選択します。選択可能な HDD が全て **Select Disk** ウィンドウ中にリストアップされ、またその HDD の名前とサイズが表示されます。
6. HDD を選択したら **OK** を押します。
7. 全ての録画イベントがリストアップされます。
8. バックアップしたい録画イベントを選択するか、**Select All** をクリックして、リスト中の全録画イベントを選択します。
9. バックアップファイルの保存先を選択します。
10. **Start** をクリックしてバックアップを開始します。
11. バックアップを停止する時は、**Stop** をクリックします。
12. バックアップファイルの再生は [4.3.3](#) を参照してください。

## 第六章 画像検証

画像検証(Image Verification)ソフトは保存した映像(例：スナップショットしてキャプチャして保存された画面)上のウォーターマークが当初ユーザーが保存したものと一致するかどうかを検査確認するものです。このソフトは、圧縮されていない BMP ファイル形式でのみ確認できます。

### 6.1 画像検証ソフトを使う

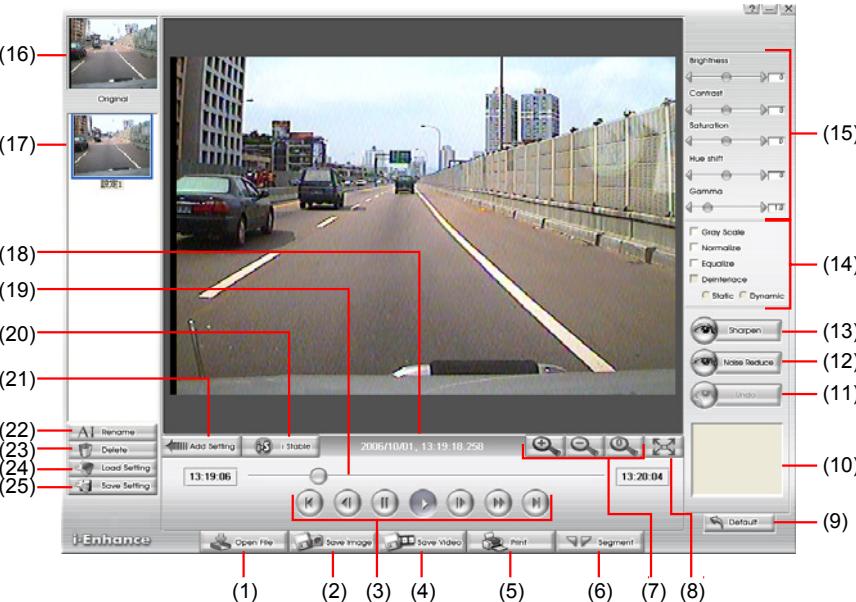
1. USB 再生コンソールのメイン画面で **Watermark** (ウォーターワーク) をクリックし、画像検証(Image Verification)ソフトを起動します。
2. 画像検証 (Image Verification) ソフト起動後、**オリジナル映像を開く** をクリックし、映像を選択します。
3. さらに**検証**をクリックし、映像のチェック確認を行います。
4. **検証結果** に画面確認結果が表示されます。画像が修正されていなければ、**オリジナル映像** 画面内の映像と**検証結果** 画面内の映像は全く同じです。映像が修正されていると、警告ウインドウが現れ、修正された部分が標示されます。



## 第七章 iEnhance

iEnhance プログラムは映像ツールプログラムの一種で、録画映像の画像品質の調整、セグメント映像の保存、映像の拡大或いは縮小（ズーム）、スクリーンショットの保存と印刷ができます。映像の調整数値を保存し、またその他の映像ファイル上で使用することもできます。iEnhance は\*.dvr 形式の映像ファイルだけをサポートします。

USB 再生コンソールのメイン画面で「iEnhance」をクリックしてプログラムを起動します。



名称	機能
(1) ファイルを開く	*.dvr 映像ファイルにアクセスします。
(2) 画像保存	モニター上の映像をキャプチャし、*.bmp 形式で保存します。
(3) 再生制御ボタン	<p><b>開始:</b> 録画のスタートへ戻ります。</p> <p><b>前:</b> 前のフレームに戻ります。</p> <p><b>巻き戻し:</b> ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>一時停止:</b> ビデオファイルの再生を一時的に停止します。</p> <p><b>再生:</b> ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>早送り:</b> 2x、4x、8x のスピードでビデオファイルを再生します。</p> <p><b>次:</b> 次のフレームに行きます。</p> <p><b>終了:</b> ビデオファイルの最後に移動します。</p>
(4) 映像保存	編集ビデオや録画の一部を AVI 形式で保存します。
(5) プリント	現在の画面をプリントします。
(6) セグメント	ビデオから選択された部分の最初と最後をマークし、二つの三角形の印が現れます。セグメントをキャンセルするには、このボタンを再度クリックしてください (章節 <a href="#">7.1</a> を参照のこと)。
(7) ズームボタン	画像を拡大、縮小、そして元のサイズに戻します。
(8) フルスクリーン	再生画面をフルスクリーンに切り替えます。
(9) デフォルト値	映像を初期状態へ戻し、また履歴ボックス内の全ての変更記録を削除します。
(10) 履歴ボックス	全ての映像の変更状態を記録します。
(11) 復元	状態を前回の動作状態へ戻します。

名称	機能
(12) ノイズ除去	画像をソフト調に調整し、リアルな色彩に修復します。
(13) シャープネス	輪郭部を強調することにより奥行きのある引き締まった画像に調整します。
(14) 効果	<p><b>グレースケール</b>: 映像をグレースケールの色彩に変換します。</p> <p><b>逆光修正</b>: バックライトの程度を修正します。</p> <p><b>イコライズ</b>: 映像が暗すぎる時、映像の視界を自動的に調整します。</p> <p><b>インターレース除去</b>: クロスライン、画面のブレを除去し、画面をスムーズにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 静態最適化: 静態の背景に対しインターレースを除去します。</li> <li>- 動態最適化: 動態映像に対しインターレースを除去します。</li> </ul>
(15) 画面調節	明るさ、コントラスト、彩度、色合いとガンマを調節します。
(16) オリジナル画面	現在再生している映像の1コマ目のサムネール
(17) 暫定設定区域	設定例を表示します。範例をクリックし、現在の映像上に設定を適用します。
(18) 状態表示	映像の日付と時刻を表示します。
(19) プログレスバー	スクロールバーを左右に引っ張ることで、録画イベントをスピーディに探すことができます。
(20) iStable	録画画面のブレを低下させます（章節 <a href="#">7.2</a> を参照のこと）。
(21) 追加設定	新しい設定を暫定設定区域に追加します。
(22) リネーム設定	暫定設定区域内で、選択した設定ファイル名を変更します。
(23) 設定ファイル削除	選択した設定ファイルを暫定設定区域内から除去します。
(24) 設定ファイルの読み取り	すでに保存した設定ファイルを開きます。
(25) 設定ファイル保存	暫定設定区域内の設定ファイルを保存します。

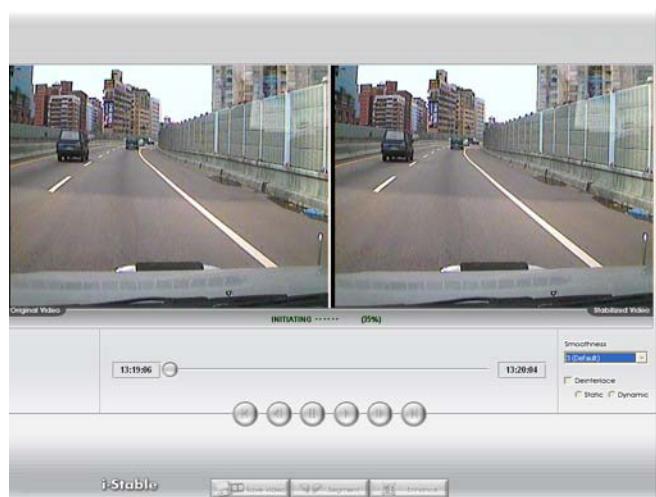
## 7.1 録画セグメントの編集と保存

1. **再生制御ボタン**、或いは**イベント検索バー**を使用して、編集を開始したい位置へ移動し、**セグメント設定(Segment)**ボタンを押してスタートポイントを設定します。
2. **再生制御ボタン**、或いは**イベント検索バー**を使用して、編集を終了したい位置へ移動し、**セグメント設定(Segment)**ボタンを押して、終了ポイントを設定します。セグメント設定を取り消すには、もう一度、**セグメント設定(Segment)**ボタンを押して先ほど設定したポイントをキャンセルします。
3. **録画の別途保存(Save Video)**ボタンをクリックして、編集したセグメントを保存します。
4. 新たにファイルを保存するダイアログ中から、セグメントを保存したい場所を選択し、ファイル名を入力します。

## 7.2 iStable 機能を使う

iStable 機能は録画映像のブレの問題を低下させることができます。

1. ファイルを開くをクリックし、再生したい録画映像を選択します。
2. 次に i-Stable ボタンをクリックすると、iStable 画面が現れます。
3. スムーズレベル(Smoothness Level) - 1(Low)、2、3、4、5(High) を選択します。レベルにより録画映像処理後の効果も異なり、レベルが高いほど、録画映像を再生した時スムーズです。デフォルト値はレベル 3 です。
4. 再生(Play)ボタンをクリックすると、システムは録画映像の処理を開始します。
5. 録画映像の処理が終了すると同時にオリジナルファイルと処理済みのファイルが再生されます。



## 第八章 遠隔プログラムを使う

Microsoft の IE ブラウザ上で DVR システムの IP アドレスを入力するだけで DVR システムの遠隔監視を行うことができます。ブラウザを使用して遠隔オンラインでシステムの監視画面を見る前に、システムがすでにネットワーク機能を使用していることを確認してください。

初めてこの機能を利用するとき、ブラウザより WebCamX.cab のインストールを要求されますので、必ずインストールを許可してください。

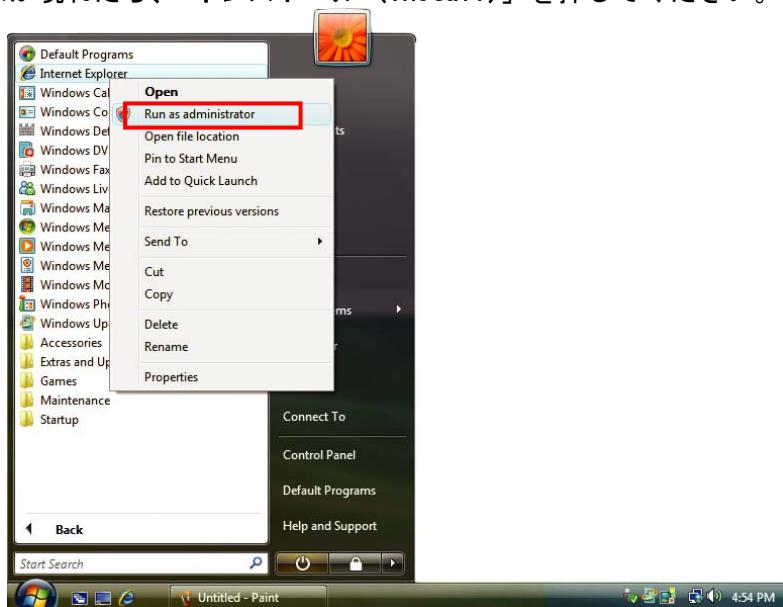
Windows 2000 を使用している場合、システムが発する「Security Warning」ダイアログボックスが現れたら、「YES」を押してください。



Windows XP を使用している場合、「Internet Explorer – Security Warning」ダイアログボックスが現れたら、「インストール (Install)」を押してください。



Windows Vista を使用している場合、必ず管理者アカウントを使いブラウザを起動してください。管理者アカウントに切り替えには、スタート → インターネットエクスプロラル → Run as administrator (管理者) の順で作業します。「Internet Explorer – Security Warning」ダイアログボックスが現れたら、「インストール (Install)」を押してください。

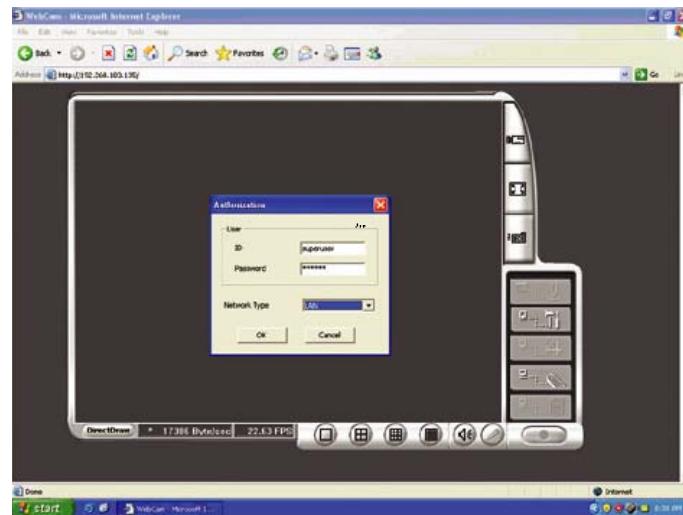


遠隔のパソコンを使用して DVR システムとオンライン接続する場合、アカウント (superuser 或いは user) とパスワード (デフォルトは 111111) を入力し、ネットワーク接続タイプを選択し

てください。ウェブビューアーを利用して、「superuser」（管理者アカウント）で登録する場合、DVR システムを遠隔設定することができます。

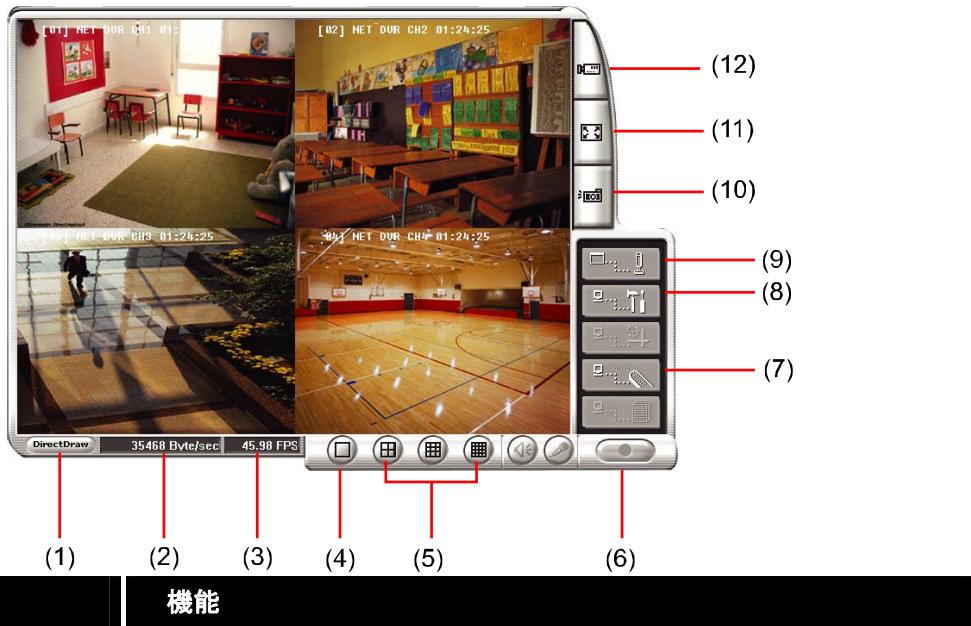


セキュリティへの配慮から、初めて DVR システムを設定する時は、必ず superuser と user のデフォルトパスワードを変更してください。



## 8.1 ウェブビューアー機能の紹介

ウェブビューアー(WebViewer)の映像画面上で、マウスを右クリックすると録画のスタート、映像品質の変更、チャンネルの変更やDirectDraw機能のオン/オフ操作が行えます。



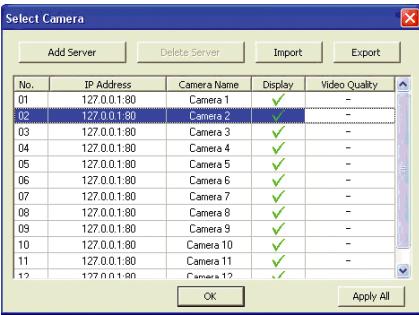
### 名称

### 機能

(1) DirectDraw	DirectDraw 機能（画質向上効果）を起動/停止します。
<b>i</b>	全てのグラフィックカードがDirectDraw機能をサポートするわけではありません。DirectDraw機能を起動後、スクリーン表示が見えなかったり、画像に乱れが生じる場合、DirectDraw機能を停止し、VGAカードのメーカーに問い合わせてください。
(2) ビデオバンド幅	1秒間に受け取る映像ファイルの流量サイズを表示します。
(3) 表示フレーム数	秒あたりのフレーム数を表示します。
(4) 単一画面モード	单一チャンネル表示、マウスを右クリックすると他のチャンネルに切り替えできます。
(5) 分割画面モード	スクリーンですべてのカメラ映像を同時に観賞します。
(6) 録画	モニター上で、特定チャンネルをクリックした後、このボタンを押すと、映像をAVIファイル形式で録画することができます。
(7) 遠隔コンソール (Remote Console)	遠隔コンソール（Remote Console）を起動します（詳細は章節 <a href="#">8.2</a> を参照のこと）。
(8) 遠隔設定 (Remote setup)	DVRシステムの設定を遠隔変更します（詳細は章節 <a href="#">8.1.1</a> を参照のこと）。



<b>i</b>	「superuser」の権限だけが DVR システムの設定を遠隔変更できます。
(9) PTZ 制御 (PTZ Control)	PTZ カメラコントローラを起動します（詳細は章節 <a href="#">8.3</a> を参照のこと）。
(10) スナップショット	現在モニター上の映像を*.bmp 形式でキャプチャし、保存します。

名称	機能
(11) フルスクリーン	フルスクリーンで映像を表示します。マウスを右クリックするか、キーボードの ESC キーを押すと元のモードに戻ります。
(12) カメラ選択	<p>異なる DVR サーバー上からカメラを選択して閲覧します。カメラ選択 (Select Camera) のダイアログ中、カメラの Display オプション (表示欄) にチェックを入れて、そのカメラの映像の閲覧をオン/オフします。</p> <p>サーバー追加をクリックし、DVR サーバーを追加するか、IP カメラにするか選択します。</p> <p>サーバー削除をクリックし、選択した DVR を削除します。</p> <p>インポートをクリックし、先に保存したリストデータを呼び出します。</p> <p>エクスポートをクリックし、現在のリストデータを保存します。</p> <p>全部適用 (All Apply) をクリックし、ユーザーが設定した映像品質を全てのカメラに適用します。</p> <p>OK をクリックしてウインドウを閉じます。</p> 

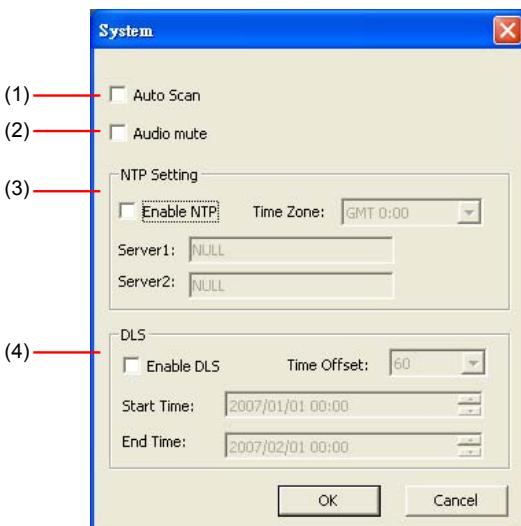
## 8.1.1 遠隔監視システムの設定

設定終了時に OK をクリックすると、設定ウインドウが閉じ、設定を保存します。キャンセルをクリックすると、設定を保存せずに設定ウインドウを閉じます。ここで紹介する設定は遠隔の監視システムだけに適用され、遠隔閲覧プログラム自体には、いかなる変更も起こりません。



- 設定終了後、ブラウザを整理しなおし、遠隔監視システムの設定を更新してください。
- 「superuser」の権限だけが DVR システムの設定を遠隔変更できます。

### 8.1.1.1 システム設定



## (1) オートスキャン

フルスクリーンで監視する際、各カメラのオートスキャン表示をオン/オフします。各チャネルへの切り替え時間は 5~30 秒まで設定できます。

## (2) ミュート

音声出力機能をオン/オフします。音声を聞くには音声出力装置（例：スピーカー）がユニットに繋いでいることを確認してください。消音状態で録画すれば、再生する時は音声がありません。

## (3) NTP 設定

自動的に時間同調を設定します。

- **NTP 有効**

ネットワークを介し自動的に時間同調をオン/オフします。この機能を有効すると、DVR システムは NTP サーバーの時間と自動的に時刻同調します。初回の時間同調は DVR の電源を入れて 6 時間後です。



サマータイム機能を有効すると、時間同調機能は停止します。

- **時間帯 (TIME ZONE) :**

標準時間の時間帯を選択します。時間帯は GMT (グリニッジ標準時間) 時間帯を基準にします。

- **サーバー 1/サーバー 2**

ネットワーク時間サーバーの URL 又は IP アドレス (clock.stdtime.gov.tw 又は time.stdtime.gov.tw) を入力します。

## (4) サマータイム (DLS)

サマータイムを設定します。

- **DLS (サマータイム) 有効**

サマータイム機能をオン/オフします。

- **開始 (Start)**

サマータイム開始日付と時刻を設定します。

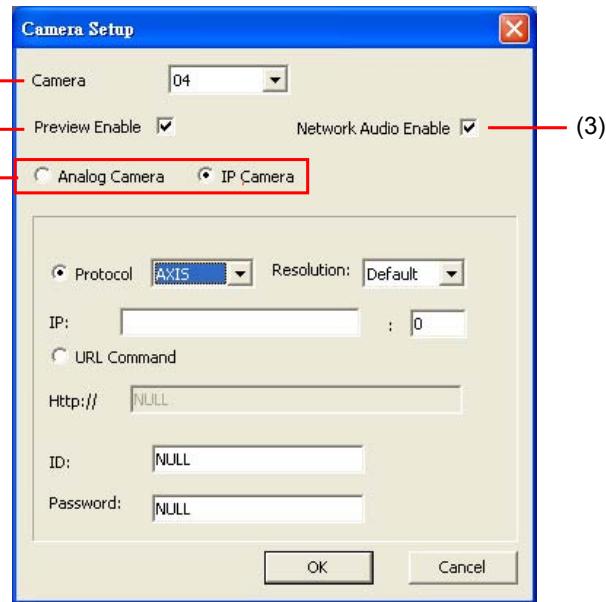
- **終了 (End)**

サマータイム終了日付と時刻を設定します。

- **タイムオフセット (TIME OFFSET)**

居場所の時間帯とサマータイムとの時間差を設定します。例えば：アメリカの時間帯とサマータイムとの時間差は 1 時間です。

### 8.1.1.2 カメラ設定



#### (1) カメラ

設定したいカメラを選択します。

#### (2) プレビュー有効

監視モニター上に表示される某カメラ映像をオン/オフします。

#### (3) ネットワーク音声有効

ネットワークを通じて録画する時、録音機能をオン/オフします。

#### (4) カメラ種類選択

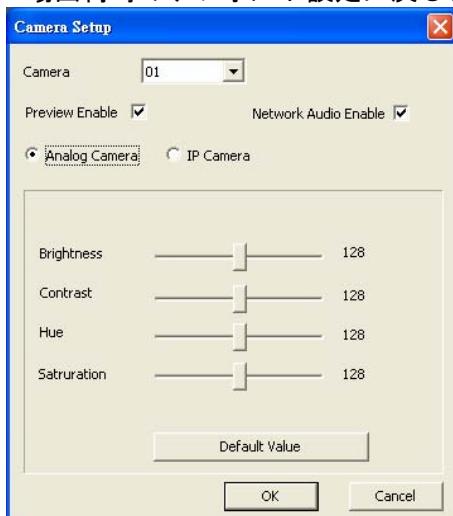
##### - アナログカメラ

###### i. 画質調整

特定のカメラを選択し、その映像の明るさ、コントラスト、色合い、彩度を調整します。

###### ii. デフォルト値

映像の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



## - IP カメラ

### i. プロトコル / 解像度

IP カメラのプロトコルと解像度を選択します。

### ii. IP

IP アドレスと IP カメラの接続ポートを入力します。

### iii. URL コマンド

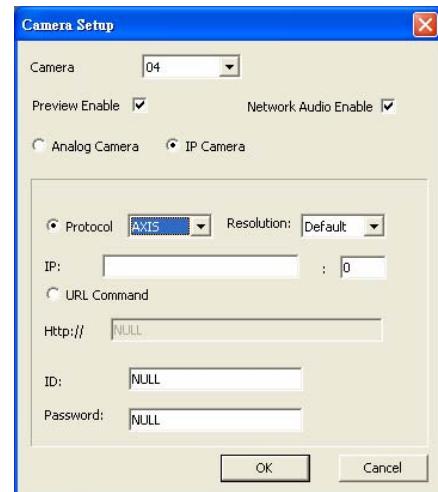
IP アドレスの代わりに、この IP カメラには URL アドレスがあれば、URL アドレスを入力してください。

### iv. ID

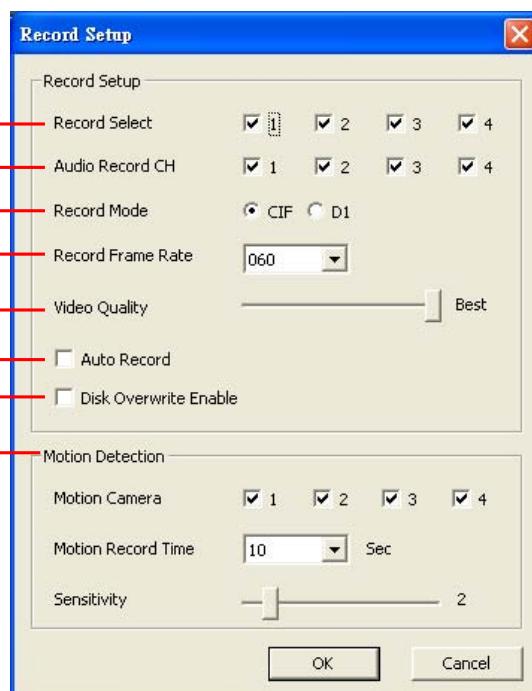
IP カメラにアクセスするため、IP カメラの管理者用ユーザー名 (ID) を入力します。

### v. パスワード

IP カメラのパスワードを入力します。



## 8.1.1.3 録画設定



### (1) 録画選択

チャンネルの録画機能をオン/オフします。



チャンネル録画を可能にするため、まずカメラ設定でチャンネルプレビューを有効に設定してください。

### (2) Audio Record CH (録音チャンネル)

チャンネルの録音機能をオン/オフします。録音前に録音設備(例:マイク)が正確に DVR に接続されていることを確認してください。

### (3) 録画モード

D1 モード/ CIF モードの録画モードを選択します。D1 モードでの録画解像度は 720 × 480 で、各チャンネルは最高 15 フレーム/秒(fps) の録画スピードで録画し、フルスクリーン或いは 4 分割画面が選択できます。CIF モードでは録画解像度は 360 × 240 で、各チャンネルは最高 30 フレーム/秒(fps) のスピードで録画でき、同じくフルスクリーン或いは 4 分割画面が選択できます。

### (4) 録画フレームレート

1 秒あたりの録画フレーム数を設定します。下表の録画フレームレート値を参照してください。フレームレートが高いほど、使用する HDD スペースが大きくなります。

録画モード \ 映像標準	NTSC	PAL
D1	60, 20, 4	48, 20, 4
CIF	120, 60, 40, 20, 4	100, 48, 20, 4

### (5) 映像品質 (Video Quality)

6 種の映像品質から選択できます — BEST、HIGH、GOOD、MEDIUM、NORMAL、LOW。

### (6) 自動録画

中断された後、自動録画する機能をオン/オフします(例：停電、映像再生或いは設定を実行する時)。録画中断から 10 秒後、自動的に録画を継続し、この機能は常時録画モード下のみ働きます。

### (7) HDD 上書き

HDD スペースを使い終わった時、最も古い録画映像への上書きをオン/オフします。HDD の上書き機能のデフォルト値はオンです。

### (8) 動作検知

#### - 動作カメラ

カメラの動作検知機能をオン/オフします。

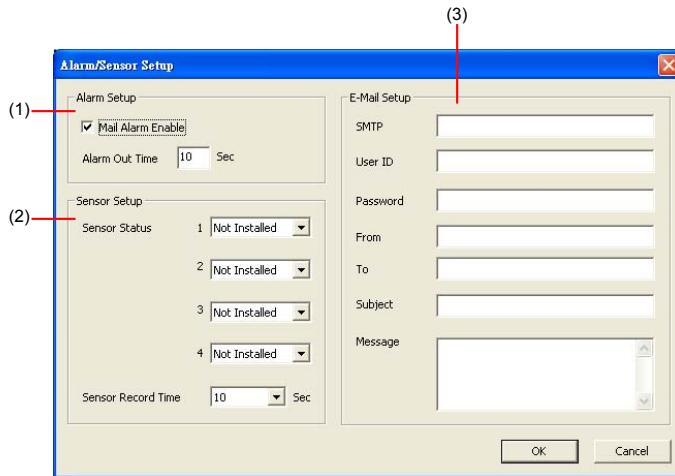
#### - 動作検知録画時間

動作が検知されてから、録画時間の長さ(秒単位)を設定します。

#### - 感度

動作検知感度を設定します。感度は H (最高)、9~2、L (最低)に分かれます。

#### 8.1.1.4 アラーム/センサー設定



##### (1) アラーム設定

###### - メールアラーム有効

アラーム装置が触発されたり、又は動作を検知した時、DVR システムがアラームメールを指定のメールアカウントに送る機能をオン/オフします。



動作検知機能がオンの時に、動作が検知されると、アラーム送付機能もアラームメールを送ります。

###### - アラーム時間

アラームが起動した時、アラーム信号(ベル、ライト)を持続させる時間(秒単位)を設定します。

##### (2) センサー設定

###### - センサー状態

各カメラに対応して取り付けられたセンサーの状況を設定します。

**Not installed:** センサーが取り付けられていないことを示します。

**Normal open:** 平常時のセンサー状態をノーマルオープン(NORMAL-OPEN)とし、センサー状態が CLOSE に変わった際、録画をスタートします。

**Normal close:** センサー状態をノーマルクローズ(NORMAL-CLOSE)とし、センサー状態が OPEN に変わった際、録画をスタートします。

###### - センサー録画時間

センサーが触発された時、録画する時間(秒単位)を設定します。

##### (3) メール設定

###### - SMTP

メールサーバーの名称或いは IP アドレスを入力します。

###### - ユーザー ID & パスワード

メールサーバー上のユーザー アカウントとパスワードを入力し、サーバーの認証に提供します。

###### - From

送信者のメールアドレスを入力します。

- **To**

受信者のメールアドレスを入力し、セミコロンで区切りします。

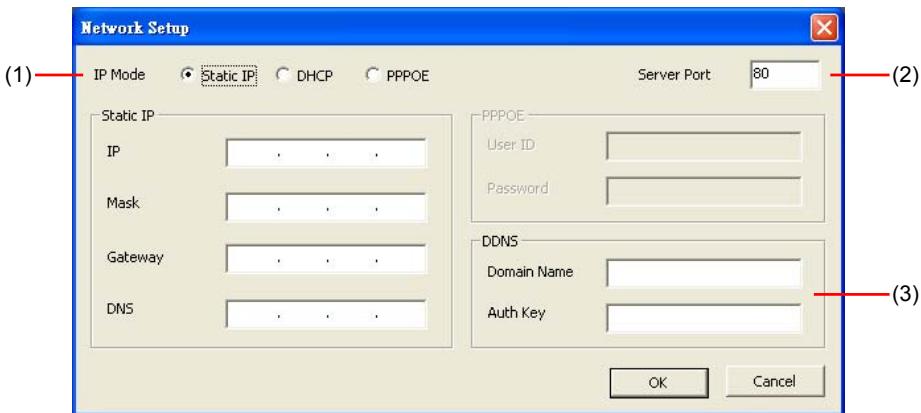
- **Subject (件名)**

メッセージのタイトルを入力します。

- **メッセージ**

メール内のメッセージを入力します。

### 8.1.1.5 ネットワーク設定



#### (1) IP モード

##### - Static IP (固定 IP)

固定 IP アドレス 1 つを設定し DVR システムに与えます。

**IP:** インターネット接続業者 (ISP) から得られた固定 IP アドレスを割り当てます。

**マスク:** DVR システムに割り当てた IP アドレスのサブネットマスクを入力します。



ビットマスクは、一つのオクテットのビット数の識別またはホストアドレスへ提供されたビット数などに用いられています。

**ゲートウェイ:** ネットワークゲートウェイの IP アドレスを入力します。

**DNS:** ドメインネームサーバー (Domain Name Server) の IP アドレスを入力します。ドメインネームサーバーは入力されたドメインネーム (例 : www.abb.com.tw) を対応する IP アドレスに変換します。

##### - DHCP

IP アドレスは LAN 内の DHCP サーバーが自動的に DVR に割り当てます。



DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) とは インターネットに一時的に接続する通信装置 (例 : コンピューター、ルーター、ネットワークアダプター) に、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。DHCP サーバーには、ゲートウェイサーバーや DNS サーバーの IP アドレスや、サブネットマスク、クライアントに割り当ててもよい IP アドレスの範囲などが設定されており、ダイヤルアップなどの手段を使ってアクセスしてきた装置にこれらの情報を提供します。

##### - PPPoE

Point-to-Point Protocol over Ethernet はイーサネットワーク構造上でポイント対ポイントフレームでの圧縮に用いるネットワークプロトコルの 1 つです。一般に PPPoE モードは ADSL で多く使用されています。

**ユーザー ID & パスワード:** インターネット接続業者 (ISP) に申請した PPPoE アカウントとパスワードをユーザー ID と パスワードの欄に入力します。

#### (2) サーバーポート

遠隔オンライン用に提供するポートを 1 つ設定します。他のネットワークサービスに使用されているポートを除き、どのポートでも遠隔接続用に設定できます。デフォルトのポー

トは 80 です。

### (3) DDNS

ダイナミック DNS (Dynamic Domain Name Service) はネットワーク上で、ドメイン名を IP アドレスに変換する機能を提供します。これは遠隔ユーザーがサーバーのネットワークアドレスを事前に知らなくても、ネットワーク上でダイナミックサーバーを探せるようになります。<http://ddns.avers.com.tw> でドメイン名を登録してください（詳細は [付録A](#) を参照のこと）

#### - ドメイン名 (Domain Name)

DDNS 登録する時に設定したドメイン名を入力します。

#### - パスワード (Auth Key)

DDNS 登録する時に設定したパスワードを入力します。

(注 1) : DDNS サービスを使用する際、必ずファイアウォールとルーターの UDP と TCP のポート 53 と 1053 をオープンしてください。

(注 2) : 設定完了したら、DVR 本体の電源を入れ直してください。

## 8.1.1.6 パスワード変更

ウェブビューアー (WebViewer) メイン画面上で **Remote Setup** (遠隔設定) をクリックし、次に **User** を押すとパスワード変更 (Password Change) ウィンドウが現れます。



#### (1) superuser (管理者)

管理者の遠隔ログインパスワードを変更します。管理者とは本機上で示す **superuser** です。管理者はウェブビューアー (WebViewer) を通して DVR システムの設定を遠隔変更する権限を有します。

##### - パスワード

新しいパスワードを入力します。パスワードは必ず 6 衍の数字とします。

##### - パスワード確認

もう一度新しいパスワードを入力し確認します。

#### (2) user (ユーザー)

ユーザーの遠隔ログインパスワードを変更します。本機上で示す **user** です。

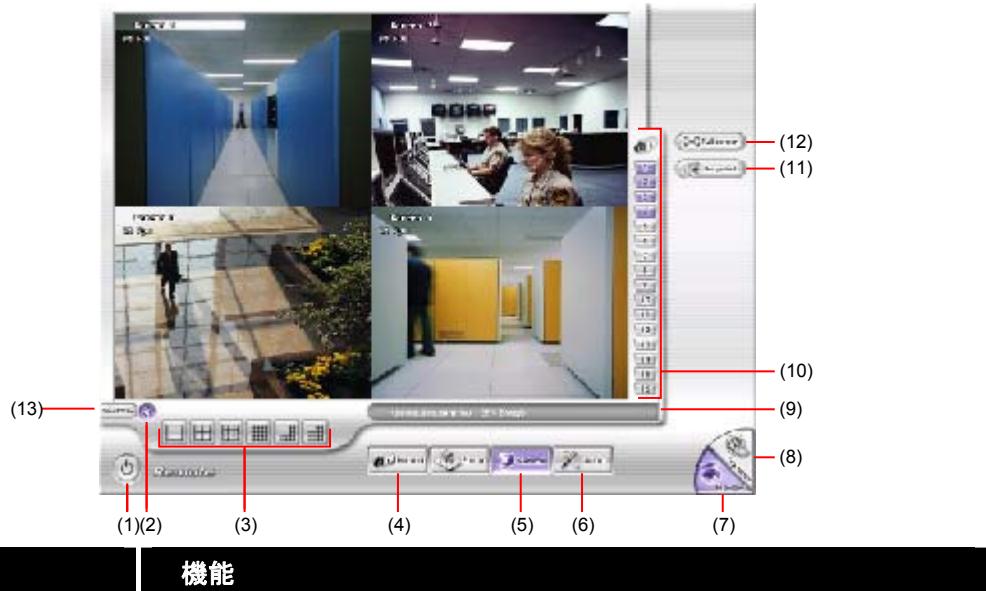
##### - パスワード

新しいパスワードを入力します。パスワードは必ず 6 衍の数字とします。

##### - パスワード確認

もう一度新しいパスワードを入力し確認します。

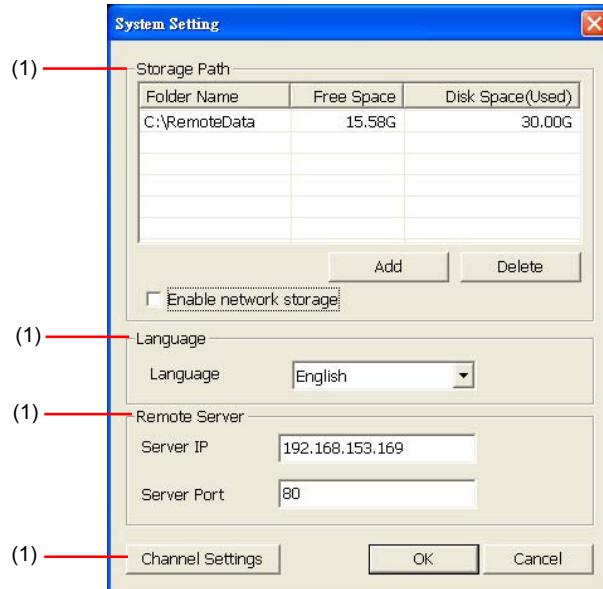
## 8.2 遠隔コンソール (Remote Console) を使う



名称	機能
(1) 終了	遠隔コンソールを終了します。
(2) 音声ボタン	音声をオン/ミュートにします。
(3) 分割画面モード	6種類の分割画面モードを提供します。 必要に応じた分割画面モードのボタンを押して、必要なモードが選択できます。
<b>i</b> 4台のカメラしかない時、9分割/13分割/16分割の表示機能は自動的にオフになります。	
(4) 録画	録画を開始/停止します。
(5) ネットワーク	遠隔システムとの接続をオン/オフにします。このサービスをオンにすると遠隔からネットワークを通じて DVR サーバーへの接続を許可します。
(6) 設定	遠隔コンソールを設定します（詳細は <a href="#">章節 8.2.1</a> を参照のこと）。
(7) プレビュー	プレビューモードへ切り替えます。カメラのライブ映像を見ることができます。
(8) 録画再生	再生モードへ切り替えます。このモードは録画映像を見ることができます（詳細は <a href="#">章節 8.4</a> を参照のこと）。
(9) ステータスバー	現在の日付、時刻、HDD のフリースペースを表示します。
(10) カメラ番号	1分割モード下で、カメラボタンを押すと、いつでも見たいカメラ画面へ切り替えることができます。4/8/9/13分割画面へ切り替えると、同一グループのカメラボタンが同時に変色します。
(11) スナップショット	単独フレーム映像をキャプチャし、.jpg 或いは .bmp 形式で保存します。
(12) フルスクリーン	画面がフルスクリーンモードに拡大されます。マウスを右クリックするか、キーボードの ESC キーでもとの状態に戻ることができます。
(13) DirectDraw	DirectDraw 機能をオン/オフします。
<b>i</b> 全てのグラフィックカードが DirectDraw 機能をサポートするわけではありません。DirectDraw 機能の起動後、スクリーン表示が見えなかったり、画像に乱れが生じる場合、DirectDraw 機能を停止し、グラフィックカードのメーカーに問い合わせてください。	

## 8.2.1 遠隔コンソールシステムの設定

Setup ボタンをクリックするとシステム設定 ウィンドウが現れます。OK を押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。キャンセルを押すとウィンドウが閉じ、設定は保存されません。



### (1) 保存先 (Storage Path)

現在使用している保存先を見ることができます。少なくとも 1 つの保存先を設定する必要があります。HDD のスペースが足りないと、データ録画が残り 1 時間になった時、DVR システムは自動的に最も古い録画データを上書きし、HDD スペースを再利用します。デフォルトのファイル保存先は C:\RemoteData にあり、追加を押すと フォルダの追加ができる、削除を押すとフォルダを削除します。

#### - ネットワークストレージ有効

録画データの保存先となるネットワークストレージ装置を有効にします。



ネットワークストレージ装置を追加したい場合、インターネットストレージのドライブ/フォルダを DVR サーバーのネットワークドライブとして設定しなければなりません。ネットワークドライブへの割り当てもしくは接続方法に関し、ウィンドウズの Help ファイルの “Map Network Drive” を御参照ください。

### (2) 言語

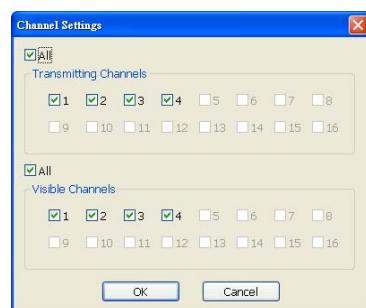
言語リスト中から、Japanese を選択してください。

### (3) リモートサーバー

DVR サーバーの IP アドレス とポートナンバーを入力します。

### (4) チャンネル設定

数字の 01 から 04 は各カメラの番号を示します。転送チャネル (Transmitting Channels) オプション中、チェックが入っているカメラのみ、DVR から映像を受信できます。表示チャネル (Visible Channels) オプション中、チェックが入っているカメラのみ、遠隔コンソール画面に映像が表示されます（全てのカメラを選択する場合、全部にチェックを入れます）。



## 8.3 ウェブビューアーPTZ機能



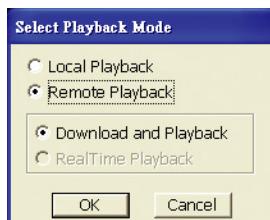
名称	機能
(1) 方向ボタン	PTZ カメラの向きを調整します。真ん中のボタンをクリックすると、オートパンが始まります。
(2) ズーム+/-	映像のズームインとズームアウトします。
(3) PTZ カメラ選択	PTZ カメラをオン/オフします。PTZ カメラの設定ウィンドウが現れたら、プレビューと制御したい PTZ カメラのオン/オフを設定します。 設定を保存するには OK をクリックします。保存しない場合、キャンセルをクリックします。
(4) フォーカス+/-	ピントを調整します。
(5) カメラプリセット位置	PTZ カメラをプリセット位置に移動します。プリセット位置 (1~9) は、DVR 現地でリモコンを使い、設定を行います。

## 8.4 遠隔再生機能を使う

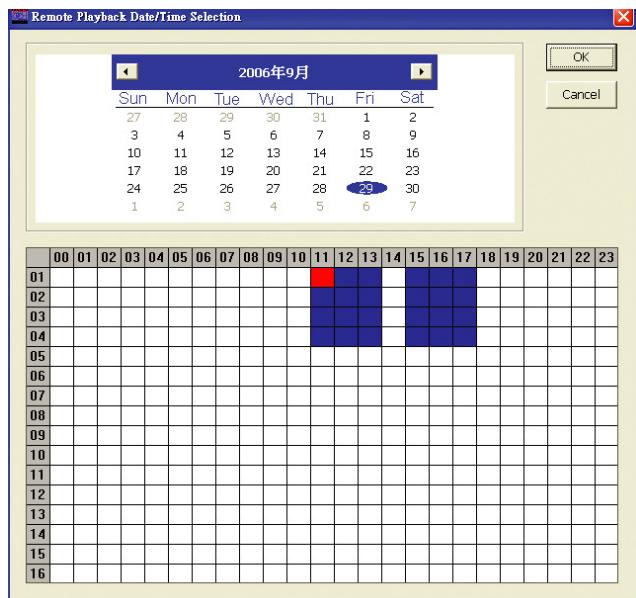
この機能を使用するには、まずファイル保存先を選択する必要があります。遠隔コンソール (Remote Console) のプログラムインターフェースの右下角から Playback モードを選択します。再生モード選択ダイアログ内でローカル再生を選択すると遠隔コンソールがこのパソコンの録画ファイルを開きます。遠隔再生を選択すると DVR サーバーの録画ファイルを開きます。遠隔再生を選んだ場合、ダウンロードと再生を選択してください。



OK をクリックして上記の設定を実行するか、キャンセルで上記の操作を取り消します。

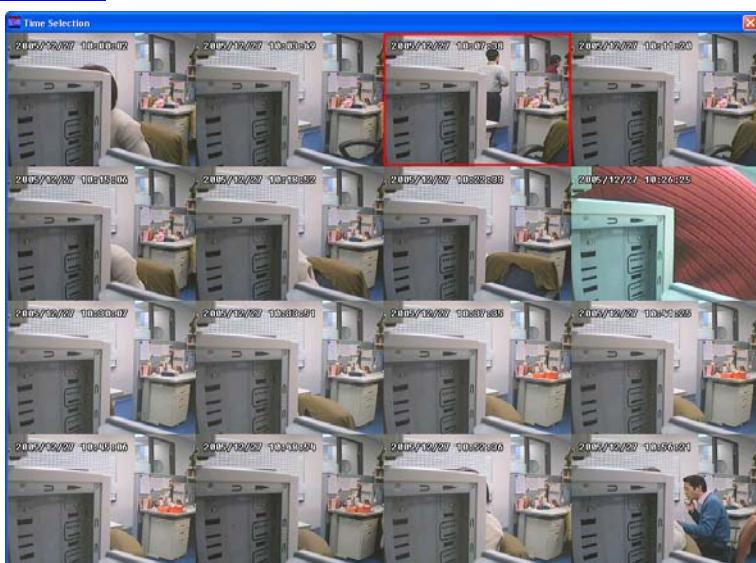


再生する日付と時刻を選択します。オプション中の 00 から 23 は一日の 24 時間を表し、01 から 16 はカメラ番号を表します。

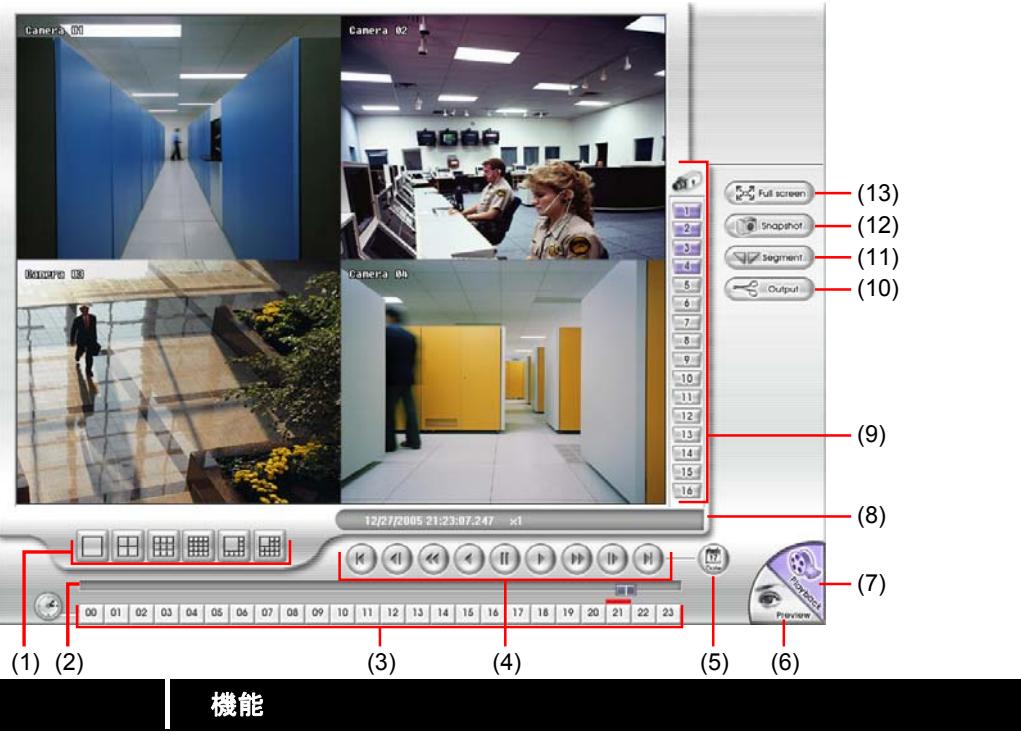


### 日付と時刻選択 :

1. カレンダー上で日付を選択します。◀ と ▶ ボタンで前後して月を調整します。
2. 上表中の青いブロックをクリックして(クリック後は赤に変わる)、録画されたファイルを開きます。ブロックが白い場合、録画データがないことを意味します。ユーザーがダウンロードを選択して再生する時、ネットワークの流量を考慮し、システムは単一ブロックの選択に制限しています。
3. OK をクリックして上記の設定を実行するか、キャンセルで上記の操作を取り消します。
4. ユーザーがブロックを選び、ダウンロードを選択し再生すると、システムは選択されたこの一つの時間をさらに 16 セグメントの映像に細分します。ユーザーは再びこれらのセグメント中からダウンロードしたいものをクリックし(複数選択可)映像をダウンロードします(詳細は [章節 8.4.2](#) を参照のこと)。



## 8.4.1 ローカル再生機能を使う



名称	機能
(1) 分割画面モード	6種類の分割画面モードを提供します。 必要に応じた分割画面モードのボタンを押して、必要なモードが選択できます。
i (2) プログレスバー	- 4台のカメラしかない時、9分割/13分割/16分割の表示機能は自動的にオフになります。 - ある画像をズームインするには、右をクリックしながら拡大したい範囲を四角形でドラッグします。元に戻すには、チャンネル画面を右クリックしてください。
(3) 時間ボタン	再生時間帯を選択します。
i (4) 再生制御ボタン	24時間制を採用して録画時刻を記録します。数字ボタンの上方にブルーマークが出現すると、その時間帯に録画があることを示します。必要に応じてブルーマークの現れている録画時間帯をクリックし、その時間帯の録画を再生します。システムがある時間帯の録画を再生する時、その録画時間帯の数字ボタン上方が赤に変わります。
(5) 再生日	スタートポイント：録画のスタートポイントへ戻ります。 前の画面：前のフレームへ戻ります。 スロー：1/2倍、1/4倍、1/8倍速で映像をスロー再生します。 逆送り再生：録画を逆送り再生します。 一時停止：録画の再生を停止します。 再生：録画を再生します。 早送り：2/4/8倍速で映像を再生します。 次の画面：次のフレームへ進みます。 終了ポイント：録画終了ポイントへジャンプします。
i (6)	横に並んだ00-23の数字は一日24時間を表し、縦に並んだ01-16の数字はカメラ番号を示します。青いブロックは録画データがあることを表し、赤いブロックはすでに再生したいファイルが選択されていることを示します。

名称	機能
(6) プレビュー	プレビュー/再生モードに切り替えます
(7) 再生	再生モードへ切り替えます。このモードは録画データの閲覧ができます。
(8) ステータスバー	再生データの日付、時刻、プレビューモードのHDD容量、再生モードの再生速度を表示します。
(9) カメラボタン	カメラの番号を表示します。1画面モード下で、カメラボタンを押すと、見たいカメラの画面へ自由に切り替えることができます。
(10) 出力	ファイルを *.mpg, *.avi, 或いは *.dvr 形式に変換して保存します（詳細は <a href="#">章節 8.4.1.1</a> を参照のこと）。
(11) セグメント	録画映像をセグメントし、リピート再生ができます（詳細は <a href="#">章節 8.4.1.1</a> を参照のこと）。
(12) スナップショット	1コマ映像をキャプチャし、.jpg 或いは .bmp 形式で保存します。
(13) フルスクリーン	画面がフルスクリーンモードに拡大され、マウスの右クリック或いはキーボードの ESC キーを押すと元の状態に戻ります。

### 8.4.1.1 保存録画セグメントの編集と保存

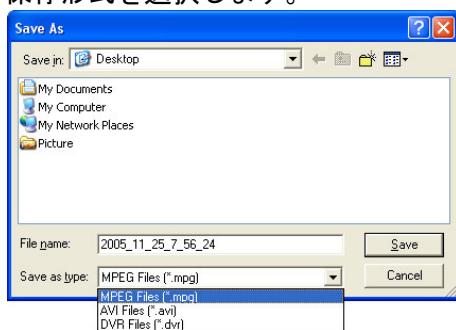
1. **再生制御ボタン**、或いは**再生プログレスバー**を使用して編集をスタートさせたい位置へ移動し、**セグメント(Segment)**ボタンを押してスタートポイントを設定します。



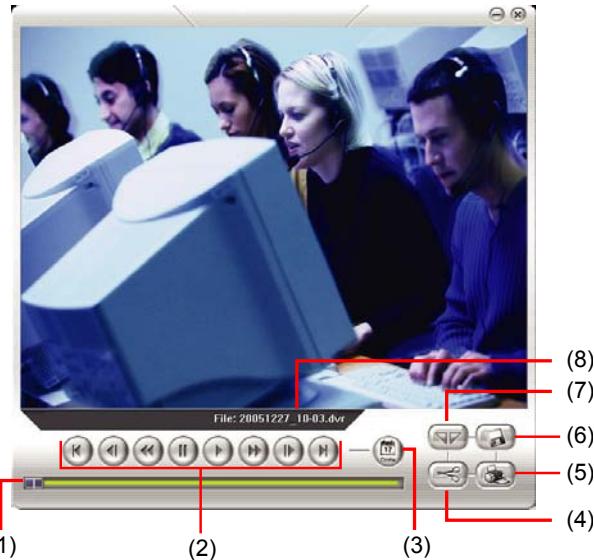
2. **再生制御ボタン**、或いは**再生プログレスバー**を使用して編集を終了させたい位置へ移動し、**セグメント(Segment)**ボタン押して終了ポイントを設定します。セグメントの設定を取り消すには、もう1回**セグメント(Segment)**ボタンを押して、先ほど設定したポイントをキャンセルします。



3. **出力(Output)**ボタンをクリックして編集したいセグメントを保存します。  
 4. **ファイル保存(Save As)**のダイアログボックス中、セグメントファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力して、保存形式を選択します。



## 8.4.2 ダウンロード再生機能を使う



名称	機能
(1) プログレスバー	スクロールバーを左右に移動させて、画面の検索ができます。
(2) 再生制御ボタン	<p>スタートポイント：録画のスタートポイントへ戻ります。</p> <p>前の画面：前のフレームへ戻ります。</p> <p>スロー：1/2倍、1/4倍、1/8倍速で映像をスロー再生します。</p> <p>一時停止：録画の再生を停止します。</p> <p>再生：録画を再生します。</p> <p>早送り：2/4/8倍速で映像を再生します。</p> <p>次の画面：次のフレームへ進みます。</p> <p>終了ポイント：録画終了ポイントへジャンプします。</p>
(3) 再生日	カレンダーから再生したい日付を選択します。
(4) 出力	ファイルを*.mpg 或いは*.avi 形式に変換して保存します。
(5) プリント	モニター上の画面をプリントアウトします。
(6) 保存	モニター上の画面を*.jpg 或いは *.bmp ファイルで別途保存するか、映像を*.dvr ファイルで別途保存します。
(7) セグメント	録画映像をセグメントし、リピート再生ができます（詳細は <a href="#">章節 8.4.1.1</a> を参照のこと）。

# 第九章 ハンディービューアー

ユーザーが PDA 又は携帯電話を利用し、インターネット経由で DVR にアクセスすることができます。所持する PDA 又は携帯電話が IE ブラウザーのサポートとインターネットへの接続をお確かめください。

## 9.1 PDA ビューアー

ユーザーが PDA を利用し、インターネット経由で DVR にアクセスすることができます。PDA が IE ブラウザーのサポートとインターネットへの接続をまずお確かめください。この機能を利用するため、ActiveSync 又はインターネット経由で PDA ビューアーソフトをダウンロードし、PDA にインストールする必要があります。使用する PDA 装置の仕様が下記のリクエストに満たしていることを確認してください。

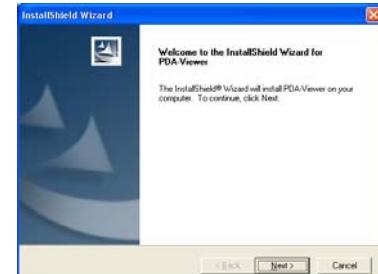
OS:	MS Windows CE 4.0、PocketPC 2002/2003、Mobile 5 PDA
バージョン	
CPU:	ARM 構成

### 9.1.1 ActiveSync 経由で PDA ビューアーのインストール

1. PDA をパソコンに接続し、CD を CD-ROM ドライブに入れます。次に PDA Viewer (PDA ビューアー) をクリックし、PDA ビューアーソフトを PDA ヘインストールします。



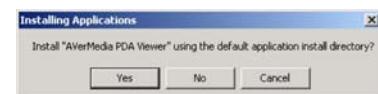
2. Next (次) をクリックします。



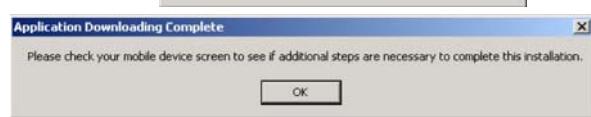
3. 使用許可協定書を読み、Yes (はい) をクリックします。次にアプリケーションが自動的にインストールされます。



4. デフォルトフォルダにアプリケーションをインストールする時、Yes (はい) をクリックします。



5. インストール完了後、OK をクリックします。



## 9.1.2 インターネット経由で PDA ビューアーのインストール

インターネットに接続します。

1. ウェブブラウザーを起動し、DVR サーバーの IP アドレスを入力します。ハイパーリンクの **Download PDA Viewer** (PDA ビューアーダウンロード) をクリックします。



2. Download (ダウンロード) のダイアログボックスが表示され、**Open file after download** (ファイルダウンロード後に開く) にチェックし、**Yes** (はい) をクリックします。

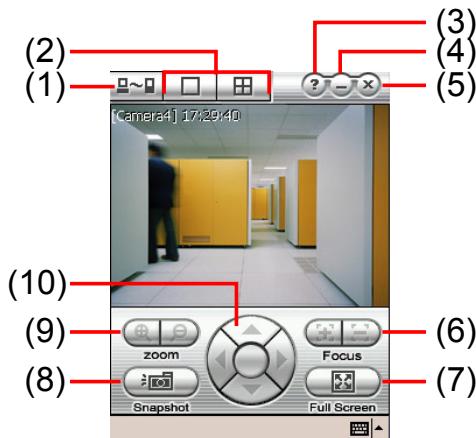


3. インストール完了後、プログラム一覧に PDA ビューアーのアイコンが現れます。



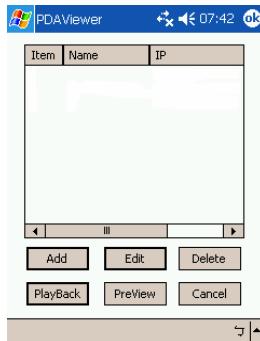
### 9.1.3 PDA ビューアーを使う

1. PDA ビューアーを起動します。
2. PDA ビューアーのボタン機能は下表の通りです。

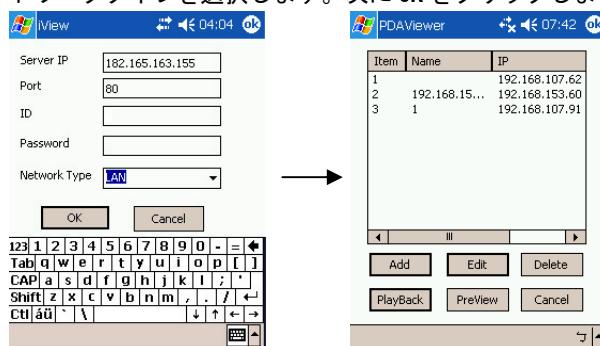


名称	機能
----	----

- (1) 接続 DVR サーバーに接続します。インターネットへの接続を確かめください。iView スクリーンが現れたら、Add をクリックし、DVR サーバーを追加します。



サーバーIP、Port (ポート)、ID (ユーザーID) と Password (パスワード) を入力し、ネットワークタイプを選択します。次に OK をクリックします。



PDAビューアーの再生機能を使い、DVRサーバーの録画データを再生します（詳細は [章節 9.1.4](#) を参照のこと）

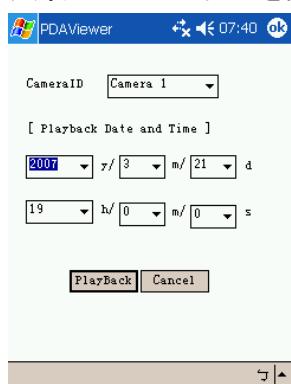
- 
- |              |  |
|--------------|--|
| (2) 分割画面モード  | 2 種類の分割画面モードを提供します。異なるカメラ番号又はチャンネルに切り換えることができます。 |
| (3) バージョン情報  | PDA ビューアーのソフトバージョンを表示します。                        |
| (4) 最小化      | タスクバーへ隠します。                                      |
| (5) 終了       | PDA ビューアーを終了します。                                 |
| (6) フォーカス    | PTZ カメラのピントを調節します。                               |
| (7) フルスクリーン  | 画面がフルスクリーンモードに拡大されます。                            |
| (8) スナップショット | 画面をキャプチャし、*.bmp 形式で保存します。                        |
| (9) ズーム      | PTZ カメラの画像をズームイン/アウトします。                         |
| (10) 方向ボタン   | PTZ カメラの向きを調整します。                                |
-

- スクリーンを長く押し続けると、ポップアップメニューが現れます。次に、Video Quality（ビデオ品質）、enable/disable audio（音声オン/オフ）、カメラ切り替えなどを設定できます。



#### 9.1.4 PDA ビューアーの再生機能を使う

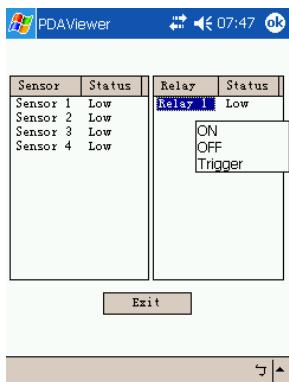
- PDA Viewer（PDA ビューアー）を起動します。
- DVR サーバーに接続します。
- Connect（接続）アイコンをクリックし、DVR サーバーを選択します。
- Playback（再生）をクリックし、再生選択肢画面に入ります。
- Camera（カメラ）、Data（データ）と Time（時間）を選びます。
- Playback（再生）をクリックし、録画データの再生を開始します。



- 再生中、I/O デバイスの状態を見る又は変更することができます。
- 再生画面中、スクリーンを長く押し続けると、ポップアップメニューが現れます。
- Remote IO（リモート I/O）を選択します。



- センサーとリレー装置は次のリストに表示されます。



11. ユーザーがリレー状態を変更できます。リレーを選択し、スクリーンを長く押し続けると、ポップアップメニューが現れます。次に状態(オン、オフ、トリガー)を選択します。

## 9.2 ジャバビューアー(EB1704HB DVDのみ対応)

Symbian Smart Phone (シンビアンスマートフォーン) OS 対応の携帯電話を使い、インターネット経由で DVR にアクセスすることができます。携帯電話がシンビアンスマートフォーン OS のサポートとインターネットへの接続をまずお確かめください。この機能を利用するため、インターネット経由で Java Viewer (ジャバビューアー) ソフトを DVR サーバーからダウンロードし、携帯電話にインストールする必要があります。

### DVR サーバーからジャバビューアーのインストール

1. 携帯電話からウェブブラウザーを起動し、DVR サーバーの IP (<http://DVR サーバーIP:ポート/JAVA-Viewer.html>) を入力します。次に Connect (接続) をクリックします。
2. ダウンロード画面が現れたら、JAVA-Viewer.jad を選び、携帯電話にダウンロードします。
3. インストール完了後、ジャバビューアーは携帯電話システムにあります。ジャバビューアーの場所を探すには、携帯電話の取扱説明書を御参照ください。



- ジャバビューアーは 1 チャンネルの映像を毎秒 1 フレームで見ることができます。
- DVR サーバーに複数台のジャバビューアーがアクセスする場合、DVR サーバーは最後のジャバビューアーのリクエストに従い、全てのジャバビューアーに映像送信します。
- ポート 80 以外のポートナンバーをジャバビューアーのビデオポートに割り当てます。

### 9.2.1 ジャバビューアーを使う

1. Java Viewer (ジャバビューアー) を起動します。

2. DVR の IP アドレス、ポートナンバー、ユーザー ID とパスワードを入力します。詳細は DVR サーバーの設定をご参照ください。

3. 次に、Connect (接続) を選び、DVR サーバーに接続します。

4. Yes (はい) をクリックし、DVR サーバーから映像データを受信します。

5. 接続成功すると、スクリーンにカメラ映像が表示されます。

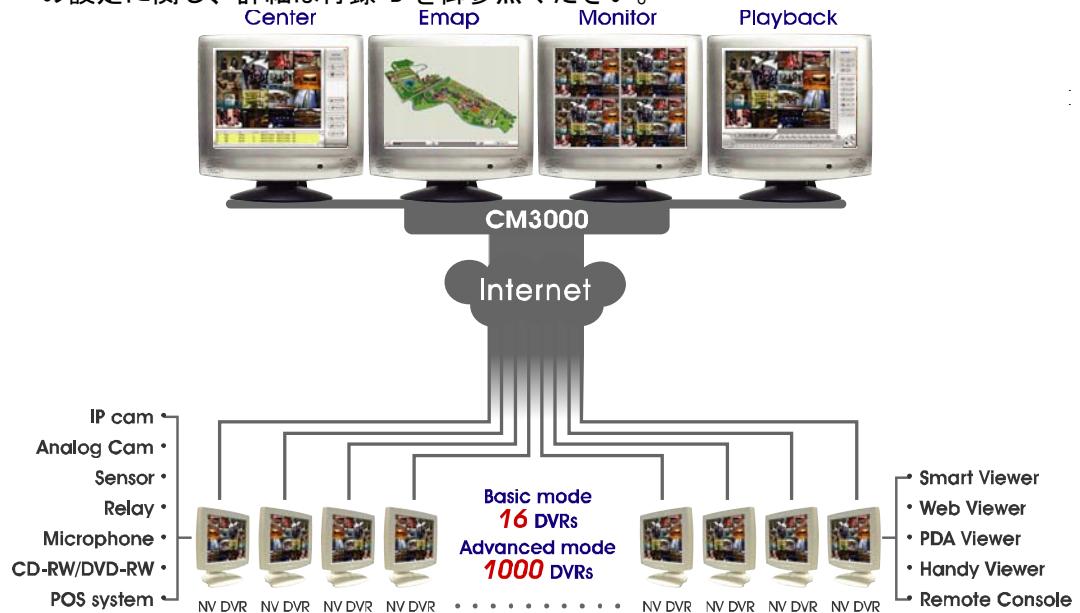
6. メニューからチャンネルを選択し、他のカメラに切り替えます。

7. ジャバビューアーは PTZ 制御機能をサポートします。操作方法の詳細は Menu (メニュー) を選び、Help (ヘルプ) ファイルを御参照ください。



# 第十章 中央管理システムを使う

AVerMedia® CM3000 は中央管理システムソフト、インターネット経由で最大 1000 台の DVR サーバー(オプション)をモニタリングできます。DVR サーバーにイベントが発生した時、CM3000 が自動的に映像表示及び録画します。CM3000 の再生機能を利用する時、ローカルまたは DVR サーバーから遠隔ダウンロード再生します。CM3000 はシングル、デュアル、トリプル、4 モニター表示を対応し、CM3000 の各機能を異なるモニターに表示することができます。デュアルモニターの設定に関し、詳細は付録 B を御参照ください。



## 10.1 ソフトのインストール

CM3000 のソフトインストール方法は下記を御参照ください。



- CM3000 をインストールする前に、Windows とグラフィックカードのドライバーバージョンが最新であることをお確かめください。
- Windows 2000 の場合、PC の BIOS 設定に入り、hyper-threading setting を DISABLED に設定します。

### 10.1.1 推奨システム

- CPU : Pentium® 4 3.0GHz 或いはそれ以上
- OS : Windows 2000 / XP Professional / Vista
- RAM : デュアルディスプレイは 512MB、4 台ディスプレイは 1GB 以上
- ハードディスク : 120GB 以上
- メディア : CD-ROM ドライブ
- VGA : 128MB ビデオメモリー内蔵の 32 ビットのハイカラー SVGA グラフィックカード、DirectDraw® / YUV をサポートすること
- 音声 : 音声カードとスピーカー
- インターネット容量 : 10/100/1000 Base-T イーサネットカード或いはギガビットイーサネット

## 10.2 CM3000 のインストール (Windows XP/2000)

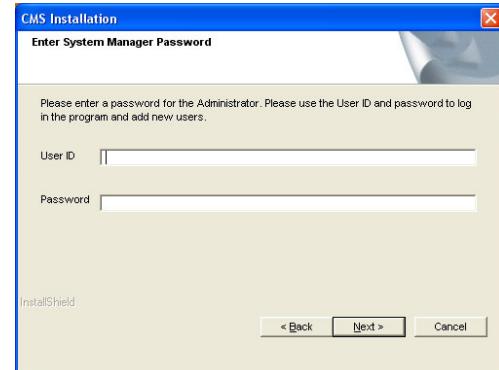
1. インストール CD を CD-ROM ドライブに入れ、Utility をクリックします。CM3000 フォルダを選び、setup.exe をクリックし、画面に表示されるステップに従ってインストールします。



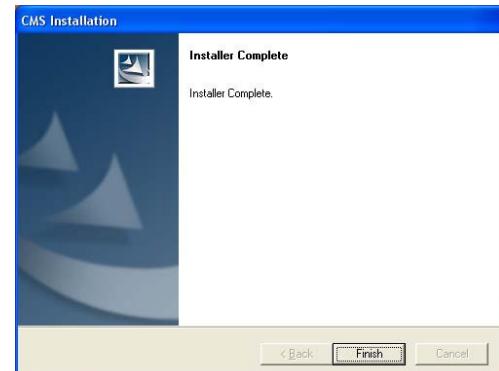
2. 使用許可協定書を読み、Yes (はい) をクリックします。



3. CM3000 の User ID(管理者 ID)と Password(パスワード)を入力します。



4. Finish (完成) をクリックします。



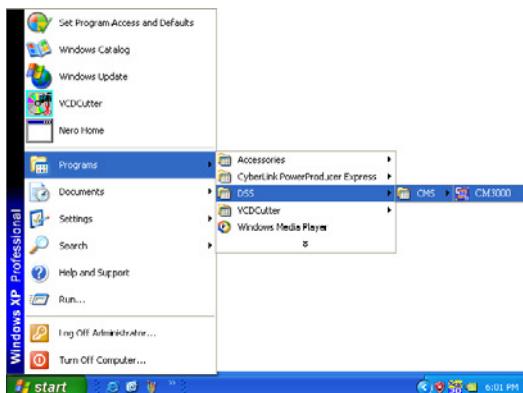
5. 次のステップに従い、CM3000 を起動します：デスクトップ上の CMS をダブルクリック或いは Start> Programs> DSS> CMS > CMS3000 をクリックします。

## 10.3 CM3000 を使う

### 10.3.1 CM3000 ソフトの起動

デスクトップ上の CMS をダブルクリック或いは Start> Programs> DSS> CMS > CMS3000 をクリック

クし、CM3000 を起動します。



セキュリティ確保のため、一部の機能を使用する前にユーザーIDとパスワードの入力が要求される場合があります。Authorization(権限)ダイアログボックスが現れると、ユーザーIDとパスワードを入力します（初めて CM3000 を使用する時、ソフトのインストールする際に登録されたのを使います）。



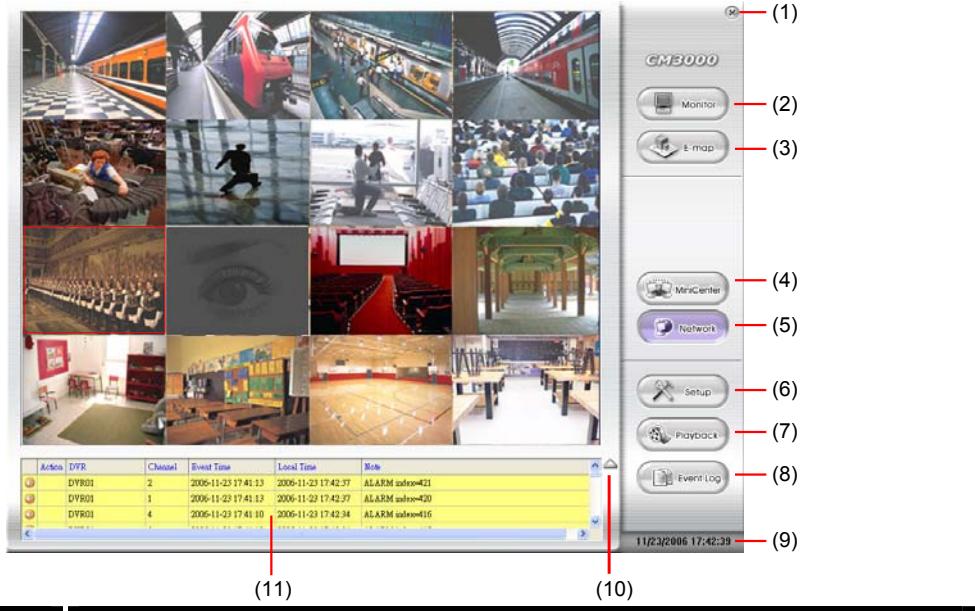
### 10.3.2 CMS アプリケーションを使う

DVR サーバーに警報が発生した時、映像が CM3000 に送られ、CM3000 のメインスクリーンに放映されます。CM3000 に送られてきた映像の長さは約 3 秒間です。全部の映像を DVR サーバーから直接にダウンロードと再生することができます。目のマークの隣に赤い枠の画面は最新に送られたものです。



最高品質の映像を再生するため、DVRシステムの録画フレームレートを 60fpsに設定するようお薦めします（詳細は [章節 3.1 メニューの機能紹介](#)の録画フレームレートを参照すること）。



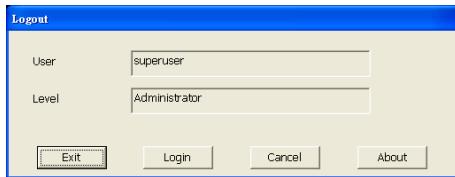


名称	機能
----	----

(1) 終了

ログアウトのダイアログボックスを表示します。

ログアウトのダイアログボックスが現れたら、下記の操作を行います。



- 終了 (Exit) をクリックし、CM3000 を終了します。この機能は管理者のみ使えます。

- ログイン (Login) をクリックし、ほかのユーザーで登録します。

- キャンセル (Cancel) をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

- 情報 (About) をクリックし、CM3000 のソフトの情報確認及び製品を登録します。登録 (Register) をクリックし、Serial number 欄にシリアルナンバーを入力し、OK をクリックします。



**i** 登録用のシリアルナンバーを取得するには、地元の代理店にご連絡ください。CM3000 にシリアルナンバーを登録完了したら、1000台のDVRまで管理することができます。

(2) Monitor (F4)

DVRサーバーグループのプレビュー画面に切り替えます。シングルモニターを使用する場合、キーボードの ESC キーを押すと CM3000 のメイン画面に戻ります。

(3) E-map (F3)

Eマップ(電子地図)に切り替えます。Eマップ上に DVR サーバーの位置を表示します。シングルモニターを使用する場合、キーボードの ESC キーを押すと CM3000 のメイン画面に戻ります。

(4) MiniCenter  
ビューアー

MiniCenter(ミニセンター)ビューアーを呼び出します。スクリーン或いはアラームイベントをダブルクリックすると、ミニセンターを呼び出すことができます。

名称	機能
(5) Network	DVR から遠隔アラームデータの受信をオン/オフします。CM3000 のソフトを起動すると自動的に機能します。CM3000 はポート 80 を使用するため、ポート 80 が他のアプリケーションもしくはウェブサーバーに使われることのないように御確認ください。
(6) Setup (設定)	管理者のみ CM3000 システムを設定することができます（詳細は <a href="#">章節 10.4</a> を参照のこと）。
(7) Playback (再生)	ローカルハードディスク或いは遠隔 DVR サーバーから映像を再生します。
(8) Event log (イベントログ)	CM3000 システムの活動履歴を表示します。
(9) 状態表示	現在の日付と時刻を表示します。
(10) ログ伸縮	ログビューアーを拡大/縮小します。
(11) ログビュー ア-	全ての DVR サーバーから送ってきたイベントモード或いはテキストモードの情報をリストアップします。

**i** シングルモニター状態で使用可能のホットキー機能：

- F1: DVR サーバーの情報を CM3000 のメインスクリーンに表示します。
- F3: E マップ（電子地図）モードに切り替えます。
- F4: Monitor（モニター）モードに切り替えます。
- Esc: CM3000 のメインスクリーンに戻ります。

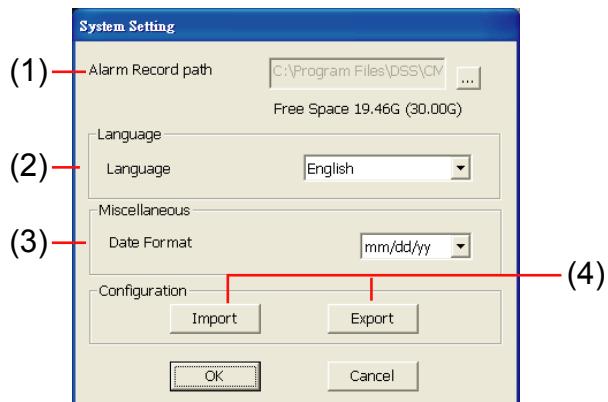
## 10.4 CM3000 システムの設定

CM3000 の  ボタンをクリックし、CM3000 のシステムを設定します。CM3000 の設定ウィンドウが現れたら、設定したい項目を選び、ボタンをクリックします。



### 10.4.1 システム設定

System ボタンをクリックするとシステム設定 ウィンドウが現れます。OK を押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。キャンセル (Cancel) を押すとウィンドウが閉じ、設定は保存されません。



#### (1) アラーム保存先 (Alarm Record path)

アラームのデフォルト保存先はCM3000 のインストール先のフォルダにあります。アラームの保存はアラーム発生時のクリップ映像とログファイルを保存します。録画映像を保存するため、30GB以上のHDDの使用をお薦めします（詳細は章節 [10.4.1.1](#) を参照のこと）。

#### (2) 言語 (Language)

Japaneseに設定します。デフォルト設定はEnglish（英語）です（詳細は章節 [10.4.1.2](#) を参照のこと）。

#### (3) その他の情報 (Miscellaneous)

日付形式を選択します（詳細は章節 [10.4.1.3](#) を参照のこと）。

#### (4) コンフィギュレーション (Configuration)

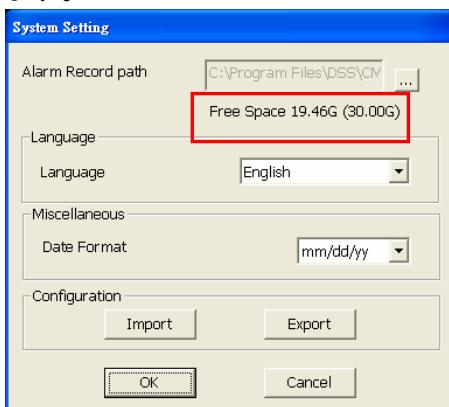
CM3000 のシステム設定をインポート/エクスポートします。

#### 10.4.1.1 アラーム保存先の変更

1.  (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. System >  の順でクリックし、アラーム映像クリップの保存先のフォルダを選びます。フォルダ作成 (Make New Folder) を押し新しいフォルダを作ります。OK を押して設定を保存し、キャンセルを押すと保存せずに終了します。



4. アラーム保存先のテキストボックスの下に表示するテキストはハードディスクの空きスペースとトータル容量を示します。



5. システム設定 (System Setting) ウィンドウで OK を押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。キャンセルを押すとウィンドウが閉じ、設定は保存されません。

#### 10.4.1.2 システムの言語設定

1. (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. System (システム) をクリックします。
4. 言語リストから言語を選択します。日本語の場合、Japanese を選んでください。
5. システム設定 (System Setting) ウィンドウで OK を押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。キャンセル (Cancel) を押すとウィンドウが閉じ、設定は保存されません。

#### 10.4.1.3 日付形式の変更

1. (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. System (システム) をクリックします。
4. 日付のフォーマットを選択します。
5. システム設定 (System Setting) ウィンドウで OK を押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。キャンセル (Cancel) を押すとウィンドウが閉じ、設定は保存されません。

#### 10.4.2 DVR 設定

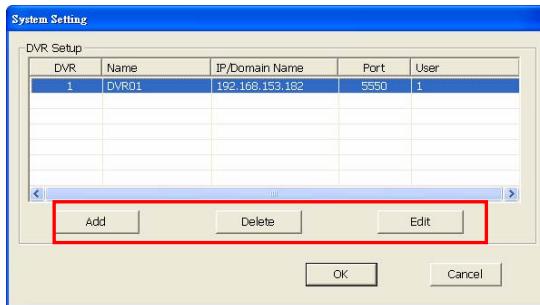
全て DVR サーバーのリストを表示します。



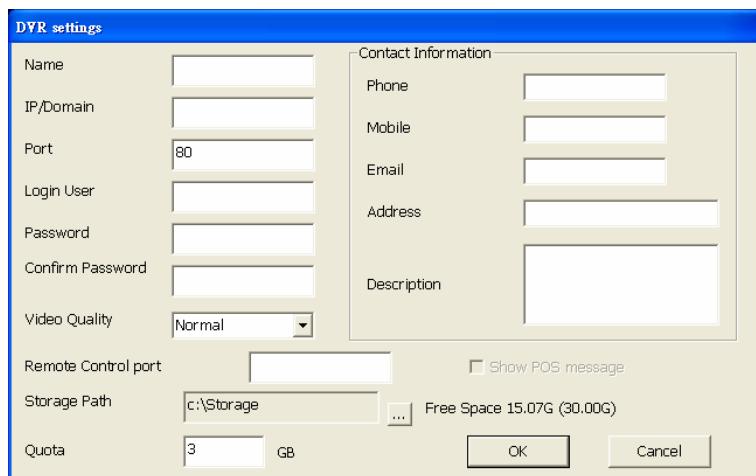
CM3000 は最大 1000 台の DVR サーバーをモニターリングすることができます。詳細は地元の代理店に御連絡ください。

### 10.4.2.1 DVR サーバーの追加と削除

1.  (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. DVR ボタンを押します。
4. DVR 設定ウィンドウで、**追加 (Add)** を押し DVR 追加し、**削除 (Delete)** を押し DVR 削除し、**編集 (Edit)** を押し DVR サーバーの設定を編集します。



5. DVR 設定ダイアログボックスでは、DVR サーバーの名前、IP アドレス/ドメイン名、ポート、ログインユーザー (Login User)、パスワード、パスワード確認を入力します。EB シリーズ DVR サーバーが使用するデフォルトポートは 80 です。
6. CM3000 にイベントが発生した時に、速やかに関係者へ連絡できるようにするために、コメント情報の入力をお勧めします。
7. **保存先 (Storage Path)** を設定します。モニター (Monitor) で設定されたカメラの録画映像データが指定された保存先に記録されます。
8. CM3000 システムサーバーの録画映像の保存最大容量を割り当て (Quota) に入力し、設定します。



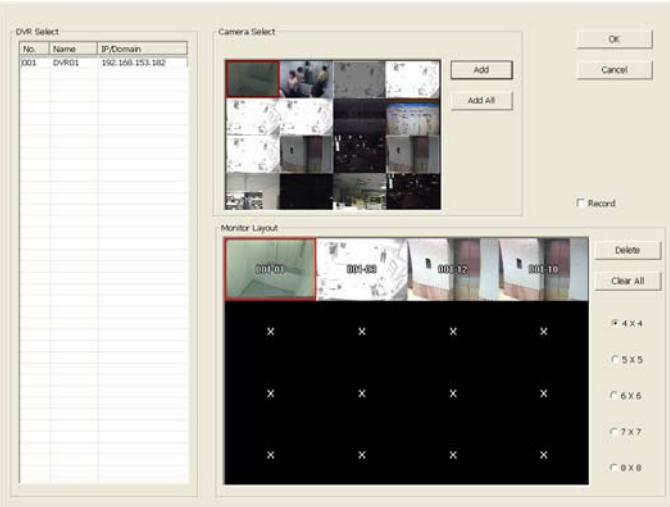
9. DVR 設定 (DVR Setting) ダイアログボックスで OK を押して設定を保存し、ダイアログボックスを閉じます。キャンセル (Cancel) を押すとダイアログボックスが閉じ、設定は保存されません。

### 10.4.3 カメラ設定

異なるDVRサーバーからカメラを選択し、同じ画面でモニターリングするために設定します。  
選択されたカメラ映像はモニター (Monitor) のスクリーンで表示されます (詳細は [章節 10.3.2 \(2\)](#) を参照のこと)。

1.  (Setup) をクリックします。

2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. Camera (カメラ) ボタンを押します。
4. DVR サーバーを選択します。次に DVR サーバーのカメラ映像が Camera Select (Camera Select) ウィンドウに表示されます。
5. 追加したいカメラを選択し、追加 (Add) ボタンをクリックします。次に、選択されたカメラが Monitor Layout (Monitor Layout) ウィンドウに追加されます。モニターレイアウトは 4x4、5x5、6x6、7x7、8x8 の 5 種類を使えるし、1スクリーンに最大 64 台カメラまで配置可能です。モニターレイアウトにあるカメラを選択し、削除 (Delete) ボタンをクリックすると、モニターレイアウトからカメラを削除します。全てのカメラを削除するには、全部削除 (Delete All) ボタンをクリックします。
6. 録画ボックスにチェックを入れ、カメラ映像を録画します。カメラの録画映像を再生する時、DVR サーバーをまず選択してください。
7. OK を押して設定を保存し、設定画面を閉じます。キャンセル (Cancel) を押すと設定画面が閉じ、設定は保存されません。



## 10.4.4 電子地図設定

\*. bmp/\*. jpg フォーマットの地図を最大 64 個まで E マップ (E-Map) に登録できます。E マップはピラミッド型の構造を持ち、地図の上に更に地図を追加することができます。DVR のアイコンは地図の上に追加設定することができます。

### 10.4.4.1 E マップの設定

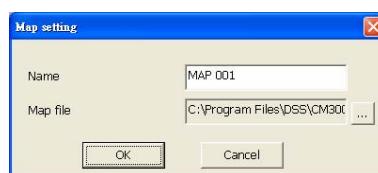
1. (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. E-Map (E マップ) ボタンを押します。
4. CM3000 システムサーバーがマルチモニターを使用する場合、E マップは第 2 モニターに表示されます。シングルモニターの場合、画面が直接 E マップに切り替えます。キーボードの ESC キーを押すと CM3000 のメイン画面にに戻り、或いはキーボードの F3 を押すと E マップに切り替えます。
5. E マップ (E-Map) の機能:
  - (1) 上層の地図に戻ります。
  - (2) 地図の名前と置かれてる層を表示します。
  - (3) 地図をアップロードし、今の地図を取って代わります。

- (4) 新しい地図を追加します。いま地図の次の層の新しい地図として追加します（詳細は[章節 10.4.4.1.1 新しい地図の追加](#)を参照のこと）。
- (5) 選択された地図或いは DVR サーバーの情報を表示します。
- (6) DVRサーバーのアイコンを地図上に追加します（詳細は[章節 10.4.4.1.2 DVRサーバーの追加](#)を参照のこと）。
- (7) OK を押して設定を保存し、E マップ画面を閉じます。
- (8) キャンセル (Cancel) を押して設定を保存せず、E マップ画面を閉じます。

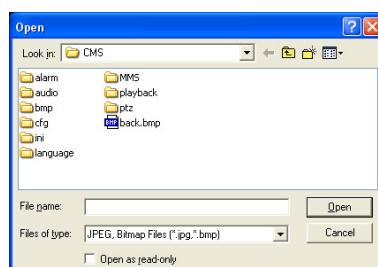


#### 10.4.4.1.1 新しい地図の追加

1. (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. E-Map (E マップ) ボタンを押します。
4. Add Map (マップ追加) ボタンを押すとマップ設定 (Map setting) ウィンドウが現れます。



5. 新しい地図に名前を付けます。
6. を押して地図ファイルを指定します。開く (Open) のダイアログボックスでは、地図のファイル位置を指定と選択し、開く (Open) をクリックします。



7. 地図アイコンを地図上に移動します。
8. 地図アイコンをダブルクリックすると地図が表示されます。
9. 地図アイコンをクリックし、Edit (編集) ボタンを押すと地図を編集します（詳細は[章節 10.4.4.1.1 新しい地図の追加 # 5~6](#)を参照のこと）。地図を削除するには、地図アイコンをクリックし、Delete (削除) ボタンを押します。

10. **OK** を押して設定を保存し、E マップ画面を閉じます。キャンセル (Cancel) を押すと E マップ画面が閉じ、設定は保存されません。

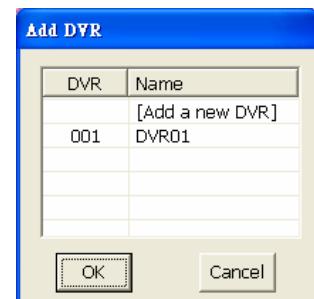


- 地図は最大 64 個まで追加できます。
- 地図上にマウスを右クリックすると機能リストウィンドウが現れ、地図の追加と編集を行えます。



#### 10.4.4.1.2 DVR サーバーの追加

1. (Setup) をクリックします。
2. 権限ダイアログボックスが現れたら、管理者のユーザーIDとパスワードを入力します。
3. E-Map (E マップ) ボタンを押します。
4. Add DVR (DVR 追加) ボタンを押すと DVR 追加 (Add DVR) ウィンドウが現れます。
5. DVR 追加ウィンドウから DVR サーバーを選択し、OK をクリックします。
6. DVR アイコンを地図上に移動します。白い DVR アイコンは移動できないので、ご注意ください。
7. DVR アイコンをクリックし、Edit (編集) ボタンを押すと DVR サーバーを編集します（詳細は章節 [10.4.2.1 # 5~10](#) を参照のこと）。地図上の DVR サーバーを削除するには、DVR アイコンをクリックし、Delete (削除) ボタンを押します。
8. OK を押して設定を保存し、E マップ画面を閉じます。キャンセル (Cancel) を押すと E マップ画面が閉じ、設定は保存されません。





**i** 地図上にマウスを右クリックすると機能リストウィンドウが現れ、地図の追加、削除、編集を行えます。

#### 10.4.4.2 E マップを使う

DVR にアラームが発生した時、地図上の DVR アイコンが赤く点滅します。

- CM3000 のメイン画面で、キーボードの F3 或いは E-Map (E アップ) ボタンを押し、E マップ (電子地図) に切り替えます。



- DVR アイコンをクリックし、DVR Watch (DVR ウオッチ) ウィンドウが現れ、DVR サーバーのライブ映像が表示されます。
- マウスの右クリックし、次に Reset Alarm (アラームリセット) 或いは Reset All Alarm (全部) ボタンを押すと DVR アイコンの点滅が停止し、遠隔 DVR サーバーのアラーム状態がリセットされます。
- キーボードの ESC を押しと CM3000 のメイン画面に戻ります。
- Setup ボタンをクリックし或いはマウスを右クリックして、E-Map Setup (Eマップ設定) を選択するとEマップの設定モードに切り替えます(詳細は [章節 10.4.4.1](#) を参照のこと)。



- E マップの設定モードを実行する時、CM3000 のメイン画面上の設定モードは使えません。  
E マップの設定モードで、OK 或いはキャンセル (Cancel) をクリックすると E マップの設定モードが終了し、CM3000 のメイン画面の設定モードに戻ります。

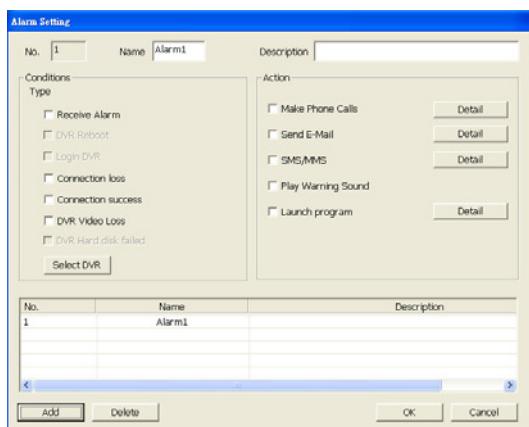
6. 地図上の地図アイコンをクリックすると地図が表示されます。地図の上に更に地図を追加できるほか、最大 64 個の地図まで追加可能です（詳細は章節 [10.4.4.1.1 新しい地図の追加](#) を参照のこと）。

## 10.4.5 アラーム設定

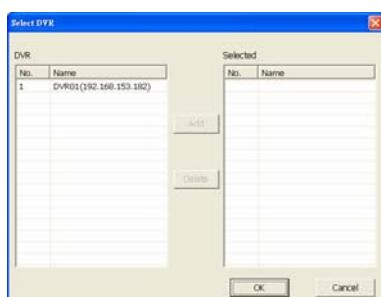
**アラーム設定 (Alarm Setting)** ダイアログボックスで、アラーム触発条件とその後の行動を選択設定します。ユーザーは全部で 16 個のアラームコンビネーション設定をすることができ、それぞれのアラーム設定が複数台 DVR に適用可能です。設定を保存して終了するには OK を、設定を保存せずに終了するには Cancel (キャンセル) をクリックします。

### 10.4.5.1 アラーム条件の設定

1. 追加 (Add) ボタンをクリックし、新しいアラーム条件を追加します。
2. アラーム条件に名前を付けます。
3. 説明 (Description) 欄にアラーム条件の簡単説明を記入します。
4. 条件 (Conditions) を選択します。
5. アクション (Action) を設定します（詳細は章節 [10.4.5.1.1](#) と [10.4.5.1.2](#) と [10.4.5.1.3](#) を参照のこと）。

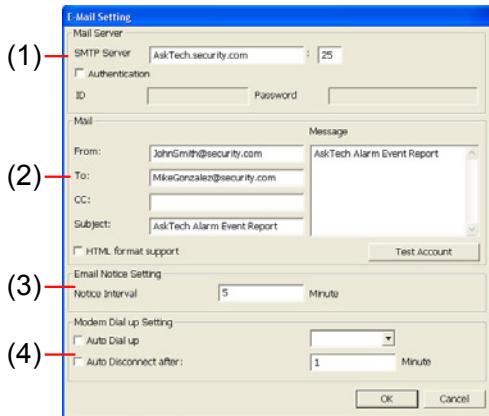


6. DVR 選択 (Select DVR) ボタンをクリックし、適用する DVR を選択します。DVR 選択 (Select DVR) ウィンドウが現れたら、DVR を選択して追加 (Add) ボタンを押します。設定を保存して終了するには OK を、設定を保存せずに終了するには Cancel (キャンセル) をクリックします。



#### 10.4.5.1.1 電子メール送信の設定

アラーム設定 (Alarm Setting) のダイアログボックスで、Eメール送信 (Send Email) の隣にある詳細 (Detail) ボタンをクリックします。Eメール設定 (E-mail Setting) のダイアログボックスでは、設定を保存して終了するにはOKを、設定を保存せずに終了するにはCancel (キャンセル) をクリックします。



##### (1) メールサーバー

SMTP サーバーとポートを入力します。電子メールシステムにはユーザーの認証が必要な場合、認証 (Authentication) にチェックを入れ、ユーザーIDとパスワードを入力します。

##### (2) メール

テキストアカウント (Test Account) ボタンをクリックし、メール送信が可能かどうかを確認します。

**From :** 発送人の電子メールアドレスを入力します。

**To and CC :** 受信者のメールアドレスを入力し、コマンド或いはセミコロンで区切ります。

**Subject (件名) :** メッセージのタイトルを入力します。

**メッセージ:** メッセージを入力します。

##### (3) 電子メール通知の設定

通知間隔のテキストボックスに時間を入力し、メール送信の時間差を設定します。

##### (4) モデムダイアルアップの設定

ダイアルアップモデルを使用する場合、自動ダイアルアップ (Auto Dial up) にチェックを入れ、モデルの名前を選択します。次以降に自動切断 (Auto Disconnect after) にチェックを入れて時間を設定すると、自動的に接続が中断します。

#### 10.4.5.2 MMS/SMS の設定

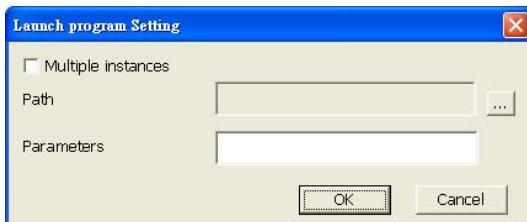
この機能を利用するには、GSM/GPRS モデムが必要となります。GSM/GPRS モデムを PC のシリアル COM ポートに接続します。アラーム設定 (Alarm Setting) のダイアログボックスで、SMS/MMS の隣にある詳細 (Detail) ボタンをクリックします。



1. COM ポートのリストから GSM/GPRS モデムに接続するポートナンバーを選択します。
2. モデム設定 (Modem Setup) ボタンをクリックし、モデムのポーレートを自動的に検出します。
3. GSM SIM カードの電話番号をローカル電話番号 (Local Phone Number) のテキストボックスに入力します。
4. 連絡先の電話番号を電話番号 (Phone Num) のテキストボックスに入力します。
5. SMS 設定 (SMS Setting) のテキストボックスにメッセージを入力し、SMS 設定の有効 (Enable) にチェックを入れると SMS 経由で送信することができます。MMS 設定 (MMS Setting) に APN 名 (APN Name)、WAP IP、MMS のアドレスとメッセージを入力し、MMS 設定の有効 (Enable) にチェックを入れると MMS 経由で送信することができます。SMS と MMS の利用に関し、不明な点がありましたら、携帯電話会社に御連絡ください。
6. 設定を保存して終了するには OK を、設定を保存せずに終了するには Cancel (キャンセル) をクリックします。

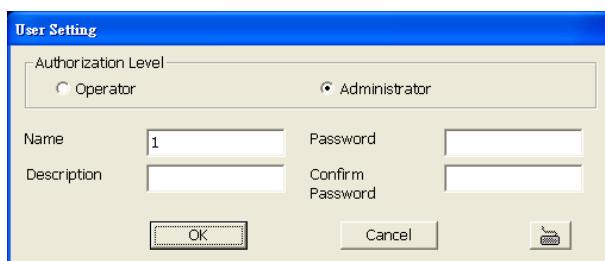
#### 10.4.5.5.2 プログラム起動

第三者のプログラムを起動します。アラーム設定 (Alarm Setting) のダイアログボックスで、プログラム起動 (Launch program) の隣にある詳細 (Detail) ボタンをクリックします。次に [...] ボタンを押してプログラムの居場所を指定します。外部のアプリケーションを繰り返し起動する場合、繰返し起動 (Multiple instances) にチェックを入れます。



#### 10.4.6 ユーザー設定

CM3000 のアカウントは管理者とオペレーターをそれぞれ 1 個まで作れます。アカウントが既に存在する場合、新しいアカウントに取って代わります。



#### 10.4.6.1 ユーザーの設定

1. 権限レベルを選択します。管理者 (Administrator) のみが CM3000 のシステム設定或いは終了をする権限があります。
2. 名前 (Name)、説明 (Description)、パスワード (Password)、パスワード確認 (Confirm Password) を入力します。
3. 設定を保存して終了するには OK を、設定を保存せずに終了するには Cancel (キャンセル)

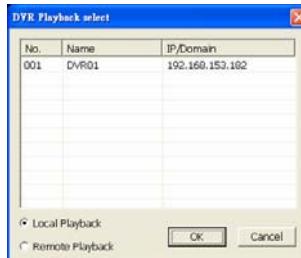
をクリックします。

## 10.5 再生機能を使う

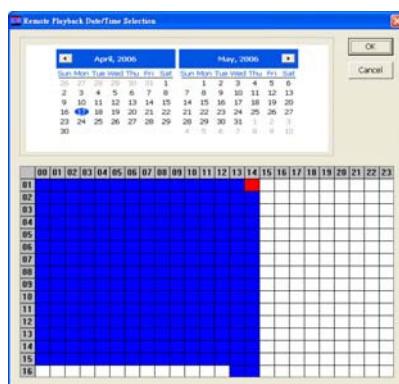
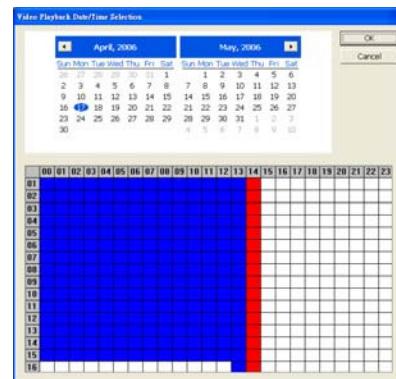
ローカルハードディスクに保存されてる映像の再生或いは遠隔の DVR サーバーから映像のダウンロード再生を選択します。

### 10.5.1 映像再生

1. ボタンをクリックします。
2. **DVR 再生選択 (DVR Playback select)** ウィンドウで、DVR サーバーを選択します。ローカルハードディスクに保存されてる映像を再生する場合、**ローカル再生 (Local Playback)** を選択します。遠隔の DVR サーバーから遠隔再生する場合、**遠隔再生 (Remote Playback)** を選択します。



3. ローカル再生の場合、最大 16 チャンネルを同時に再生することができます。但し、Monitor (モニター) で選択設定され且つ録画 (Record) ボタンが有効にしたカメラのみが再生可能です。 Video Playback Date/Time Selection (ビデオ再生日時の選択) ダイアログボックスでは、00~23までの数字は、24 時間制による時間を表します。01~16までの数字は、カメラ番号を表します。青いブロックは録画データが存在することを表します。白いブロックには録画データがありません。青いブロックを選択すると赤色に変わります（詳細は [章節 10.5.2](#) を参照のこと）。
4. 遠隔再生の場合、1回の再生は1つの録画映像クリップしかできません。Remote Playback Date/Time Selection (遠隔再生日時の選択) ダイアログボックスでは、00~23までの数字は、24 時間制による時間を表します。01~16までの数字は、カメラ番号を表します。青いブロックは録画データが存在することを表します。白いブロックには録画データがありません。青いブロックを選択すると赤色に変わります（詳細は [章節 10.5.3](#) を参照のこと）。



5. 遠隔再生の時、時間選択 (Time Selection) から見たいフレームをクリックします。



## 10.5.2 ローカル再生機能を使う



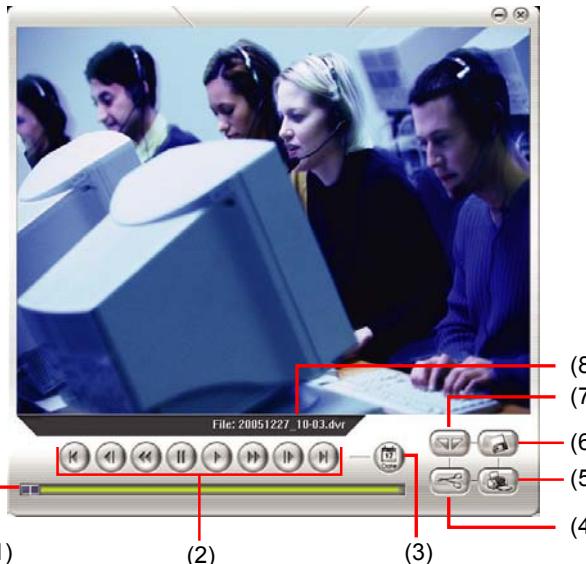
### 名称

### 機能

(1) 分割画面モード	6種類の表示モードを提供します。 必要に応じて表示モードボタンを押して、必要なモードを選択することができます。
i	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 4台のカメラしかない時、9分割/13分割/16分割の表示機能は自動的にオフになります。</li> <li>- ある画像をズームインするには、右をクリックしながら拡大したい範囲を四角形でドラッグします。元に戻すには、チャンネル画面を右クリックしてください。</li> </ul>
(2) 終了	再生アプリケーションを終了します。
(3) プログレスバー	スクロールバーを左右に移動させて、画面の検索ができます。
(4) 時間ボタン	再生時間帯を選択します。
(5) 再生制御ボタン	<p><b>スタートポイント</b>：録画のスタートポイントへ戻ります。  <b>前の画面</b>：前のフレームへ戻ります。  <b>スロー</b>：1/2倍、1/4倍、1/8倍速で映像をスロー再生します。  <b>逆送り再生</b>：録画を逆送り再生します。  <b>一時停止</b>：録画の再生を停止します。  <b>再生</b>：録画を再生します。  <b>早送り</b>：2/4/8倍速で映像を再生します。  <b>次の画面</b>：次のフレームへ進みます。  <b>終了ポイント</b>：録画終了ポイントへジャンプします。</p>

名称	機能
(6) 再生日	カレンダーから再生したい日付と時刻を選択します。
i	横に並んだ 00 - 23 の数字は一日 24 時間を表し、縦に並んだ 01 - 16 の数字はカメラ番号を示します。青いブロックは録画データがあることを表し、赤いブロックはすでに再生したいファイルが選択されていることを示します。
(7) ステータスバー	再生データの日付、時刻、速度を表示します。
(8) カメラボタン	1画面モード下で、カメラボタンを押すと、見たいカメラの画面へ自由に切り替えることができます。
(9) 出力	ファイルを *.mpg, *.avi, 或いは *.dvr 形式に変換して保存します(詳細は <a href="#">章節 4.3.1</a> を参照のこと)。
(10) セグメント	録画映像をセグメントします(詳細は <a href="#">章節 4.3.1</a> を参照のこと)。
(11) プリント	モニター上の画面をプリントアウトします。
(12) スナップショット	1コマ映像をキャプチャし、.jpg 或いは .bmp 形式で保存します。
(13) フルスクリーン	画面がフルスクリーンモードに拡大され、マウスの右クリック或いはキーボードの ESC キーを押すと元の状態に戻ります。分割画面モードの状態で、マウスの左クリックで単一カメラの拡大ができます。
(14) ビジュアル検索	日付、時、分、10秒そして秒によって特定のカメラからサーチします。(. 特定のカメラの画像を、日、時、分、10秒単位で検索することができます (詳細は <a href="#">章節 10.5.3.2</a> を参照のこと)。
(15) 次を検索	動作検知フレームで、次のイベント或いは変化を検索します。この機能は、インテリジェント検索 (Intelligent Search) 或いはイベント (検索 Event Search) 実行時に限り使用できます。
(16) イベント検索	システム内で発生した録画済のアクティビティ (例えセンサー、動作、ビデオ消失、POS) の中から検索します (詳細は <a href="#">章節 10.5.3.3</a> を参照のこと)。
(17) インテリジェント検索	動作検知フレームで、変化を検索します (詳細は <a href="#">章節 10.5.3.4</a> を参照のこと)。

### 10.5.3 遠隔再生アプリケーションを使う



名称	機能
(1) プログレスバー	スクロールバーを左右に移動させて、画面の検索ができます。
(2) 再生制御ボタン	スタートポイント：録画のスタートポイントへ戻ります。 前の画面：前のフレームへ戻ります。 スロー：1/2 倍、1/4 倍、1/8 倍速で映像をスロー再生します。 一時停止：録画の再生を停止します。

名称	機能
	再生: 録画を再生します。
	早送り: 2/4/8 倍速で映像を再生します。
	次の画面: 次のフレームへ進みます。
	終了ポイント: 録画終了ポイントへジャンプします。
(3) 再生日	カレンダーから再生したい日付を選択します。
(4) 出力	ファイルを*.mpg 或いは*.avi 形式に変換して保存します。
(5) プリント	モニター上の画面をプリントアウトします。
(6) 保存	モニター上の画面を*.jpg 或いは *.bmp ファイルで別途保存するか、映像を*.dvr ファイルで別途保存します。
(7) セグメント	録画映像をセグメントし、リピート再生ができます(詳細は <a href="#">章節 10.5.3.1</a> を参照のこと)。

### 10.5.3.1 録画セグメントの編集と保存

1. 再生制御ボタン、或いは再生プログレスバーを使用して編集をスタートさせたい位置へ移動し、セグメント(Segment)ボタンを押してスタートポイントを設定します。



2. 再生制御ボタン、或いは再生プログレスバーを使用して編集を終了させたい位置へ移動し、セグメント(Segment)ボタン押して終了ポイントを設定します。セグメントの設定を取り消すには、もう1回セグメント(Segment)ボタンを押して、先ほど設定したポイントをキャンセルします。

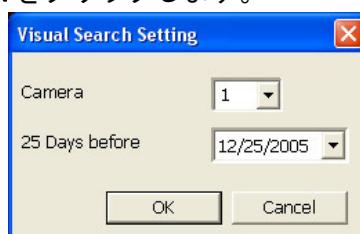


3. 出力(Output)ボタンをクリックして編集したいセグメントを保存します。
4. ファイル保存(Save As)のダイアログボックス中、セグメントファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力して、保存形式を選択します。



### 10.5.3.2 ビジュアル検索機能を使う

1. Visual Search(ビジュアル検索)をクリックします。
2. ビジュアル検索設定(Visual Search Setting)ダイアログボックスで、カメラ番号および日付を選択します。次に、OKをクリックします。



3. 選択した日付における一連のフレームが表示されたら、任意のフレームをクリックするとさらに

別のフレームが表示され、その日の各時間、その時間の毎分、その分の毎 10 秒、その 10 秒の毎秒単位で検索することができます。前に戻るには、 をクリックします。選択したフレームを表示し、ビジュアル検索を閉じるには、 をクリックします。



### 10.5.3.3 イベント検索機能を使う

1. 検索しようとするビデオ画面をクリックします。
2. Event Search (イベント検索) をクリックします。画面左下に、赤字で Event Search (イベント検索) と表示されます。
3. イベント検索設定 (Event Search Setting) ダイアログボックスで、検索条件を選択します。POS を選択した場合は、Find Text (文字検索) ボックスに文字を入力します。OK をクリックすると検索が開始します。設定した検索条件に一致するフレームを発見すると、ビデオ検索が停止します。検索を続けるには、 をクリックします。
4. また、すべての検索結果を一覧表示するよう設定することもできます。イベントリストの出力 (Output Event List) ボックスにチェックを入れます。検索期間 (Search Duration) 欄で、開始時間 (Begin Time)、終了時間 (End Time)、検索間隔 (Searching Interval) を設定します。OK をクリックすると検索が開始します。
5. イベントリスト (Event List) が表示されたら、任意のイベントを選択して表示することができます。

Camera 1 Event List	
S=Sensor, M=Motion, VL=VideoLoss, P=POS	Time
1	VL 2005/11/25 07:56:19
2	VL 2005/11/25 07:56:49
3	VL 2005/11/25 07:57:20
4	VL 2005/11/25 07:57:50
5	VL 2005/11/25 07:58:21
6	VL 2005/11/25 07:58:52
7	VL 2005/11/25 07:59:22
8	VL 2005/11/25 07:59:53
9	VL 2005/11/25 08:00:24
10	VL 2005/11/25 08:00:55
11	VL 2005/11/25 08:01:26
12	VL 2005/11/25 08:01:56
13	VL 2005/11/25 08:02:26
14	VL 2005/11/25 08:02:57

### 10.5.3.4 インテリジェント検索機能を使う

1. 検索しようとするビデオ画面をクリックします。
2. Intelligent Search (インテリジェント検索) をクリックします。画面左下に、赤字で Intelligent Search (インテリジェント検索) テキストと表示されます。
3. 知的検索設定ダイアログと行動探知枠が表示される時、感度棒と行動探知枠のサイズと場所を調節することができます。行動探知枠のサイズと場所を設定するには、左クリックし、画面を引きます。それで、OK で検索を開始します。ビデオ検索は条件に合うフレームに止まります。検索を続けるには、 をクリックします。インテリジェント検索設定 (Intelligent Search Setting) ダイアログボックス及び動作検知フレームが表示されると、検知感度バーと動作検知フレームのサイズと位置を調整することができます。動作検知フレームのサイズと位置を設定するには、画面上を左クリックしてドラッグします。OK

をクリックすると検索が開始します。設定した検索条件に一致するフレームを発見すると、ビデオ検索が停止します。検索を続けるには、 をクリックします。また、すべての検索結果を一覧表示するよう設定することもできます。List (リスト) ボックスを確認します。検索期間 (Search Duration) 欄で、開始時間 (Begin Time)、終了時間 (End Time)、検索間隔 (Searching Interval) を設定します。OK をクリックすると検索が開始します。



#### 10.5.4 イベントビューアーを使う

CM3000 システムに発生したイベントの履歴を表示します。アラーム (Alarm)、DVR 再起動 (DVR Reboot)、接続成功 (Connection Success)、ビデオ消失 (Video Loss)、HDD エラー (HDD Fail)、DVR ログイン (Login DVR)、接続失敗 (Connection Loss)、全部イベント (All Event) のイベント条件を設定し、記録したイベントを検索できます。リフレッシュ (Refresh) をクリックしてリストを更新します。保存 (Save) をクリックするとリストを\*.txt 形式で保存します。

Event Viewer				
<input type="checkbox"/> Alarm	<input type="checkbox"/> DVR Reboot	<input type="checkbox"/> Connection Success	<input type="checkbox"/> Video Loss	2006年 9月 4日
<input type="checkbox"/> HDD fail	<input type="checkbox"/> Login DVR	<input type="checkbox"/> Connection Loss	<input checked="" type="checkbox"/> All Event	Save Refresh
Time	Type	DVR	Camera	Note
2006/09/04 13:22:30	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5292
2006/09/04 13:22:30	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5292
2006/09/04 13:22:29	Connection Success	DVR01		CONNECT SUCCESS
2006/09/04 13:19:54	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5167
2006/09/04 13:19:54	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5167
2006/09/04 13:19:43	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5157
2006/09/04 13:19:43	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5157
2006/09/04 13:19:32	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5146
2006/09/04 13:19:32	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5146
2006/09/04 13:19:22	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5136
2006/09/04 13:19:21	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5136
2006/09/04 13:19:11	Alarm	DVR01	1	ALARM index=5125
2006/09/04 13:19:11	Alarm	DVR01	2	ALARM index=5125
2006/09/04 13:19:10	Connection Success	DVR01		CONNECT SUCCESS
2006/09/04 13:09:27	Alarm	DVR01	2	ALARM index=4545
2006/09/04 13:09:27	Alarm	DVR01	1	ALARM index=4545
2006/09/04 13:09:16	Alarm	DVR01	2	ALARM index=4534
2006/09/04 13:09:16	Alarm	DVR01	1	ALARM index=4534
2006/09/04 13:09:05	Alarm	DVR01	1	ALARM index=4523
2006/09/04 13:09:05	Alarm	DVR01	2	ALARM index=4523
2006/09/04 13:08:54	Connection Success	DVR01		CONNECT SUCCESS
2006/09/04 13:08:54	Alarm	DVR01	1	ALARM index=4513
2006/09/04 13:08:54	Alarm	DVR01	2	ALARM index=4513

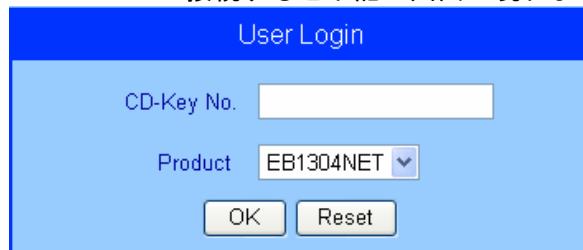
## 付録 A ドメイン名の登録

DDNS (Dynamic Domain Name Service) はネットワーク上でドメイン名を IP アドレスに変換する機能を提供します。これは遠隔ユーザーがサーバーのウェブアドレスを事前に知らなくても、ネットワーク上でダイナミックサーバーを探せるようにします。

この機能を使用するには、まず <http://ddns.avers.com.tw> であなたのドメイン名を登録してください。

### 1. User Login (ユーザーログイン)

ブラウザで [ddns.avers.com.tw](http://ddns.avers.com.tw) へ接続すると下記の画面が現れます：



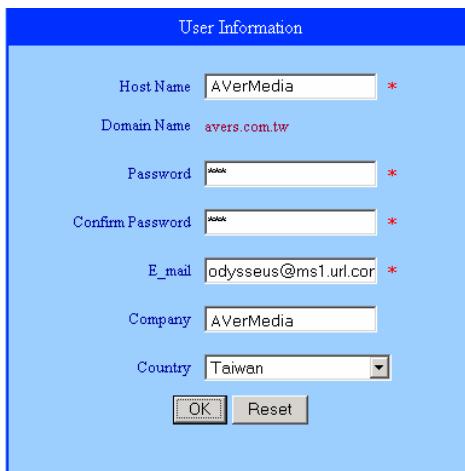
The dialog box is titled "User Login". It contains a "CD-Key No." input field, a "Product" dropdown menu set to "EB1304NET", and two buttons at the bottom: "OK" and "Reset".

まず、DVR システムの MAC アドレスを CD キー番号として入力し、製品名を選択し、次に OK ボタンを押してログインします。或いは Reset を押して入力データをクリアします。MAC アドレスの CD キーの入力形式はコロン(:) 又はハイフン(-)を除き 12 桁です。DVR システムの MAC アドレスを知るには、次の手順に従ってください。

- OSD メニューでネットワーク設定を選択します。
- いずれの IP モードを選択します。
- ネットワーク情報 (NETWORK INFORMATION) ウィンドウが現れます。
- DVR システムの MAC アドレスが表示されます。

### 2. User Information (ユーザー情報)

申請者のデータを記入します：Host Name(ドメイン名)、Password(パスワード)、E-mail(電子メールアドレス)、Company(会社名)、Country(居住国)。OK を押すと登録終了です。



The dialog box is titled "User Information". It contains fields for Host Name (AverMedia), Domain Name (avers.com.tw), Password (password), Confirm Password (password), E-mail (odysseus@ms1.url.cor), Company (AverMedia), and Country (Taiwan). There are "OK" and "Reset" buttons at the bottom.

## 付録 B デュアルモニター設定

VGA チップセットによって、ビデオの設定が異なります。次の手順に従い、デュアルモニター表示を設定します。

### ATI チップセットのグラフィックカード

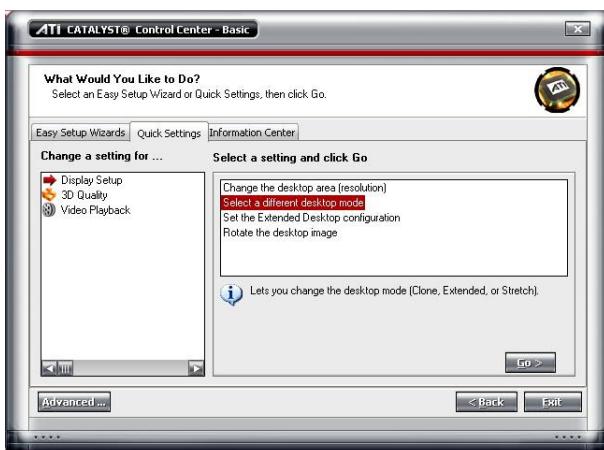
- ショートカットをクリック或いはスクリーンを右クリックすると、ATI CATALYST(R) Control Center に入ります。



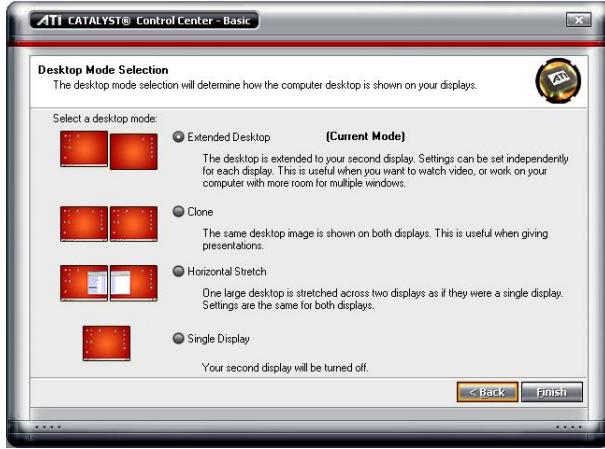
- Basic (基礎) と Advanced (アドバンスド) モードが選べられます。



- Basic (基礎) モードを選んだ場合、Quick Settings (クイック設定) をクリックします。次に Select a different desktop mode (別のデスクトップモード選択) を選び、Go (実行) をクリックします。



- Extended Desktop (拡張デスクトップ) を選択し、Finish (終了) をクリックします。



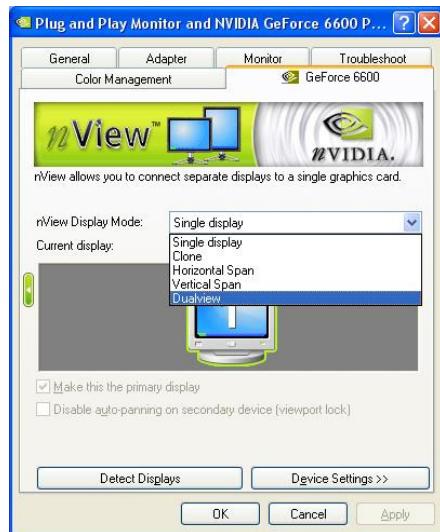
5. Advanced (アドバンスド) モードを選んだ場合、View (ビュー) ボタンをクリックします。
6. **Display Manager** (ディスプレイ管理) 中、右側から 2 番目のディスプレイを右クリックし、Extend Main onto Monitor (モニターへメイン拡張) を選択します。



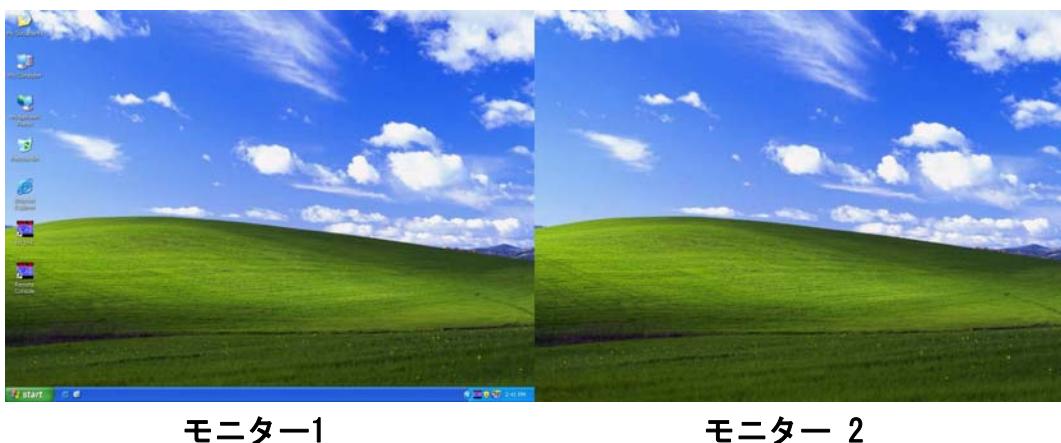
7. 各モニターの解像度を 1024x768 に調節します。

## NVIDIA チップセットのグラフィックカード

1. NVIDIA nView (NVIDIA n ビュー) をクリックし、Dualview(デュアルビュー)モードを選択します。
2. 各モニターの解像度を 1024x768 に調節します。



3. ディスプレイモードが正しい場合、タスクバーはモニター1 しか表示されません。



# 製品保証

## 保証期限

修理の保証期限は購入日から1年です。交換した製品の保証期限は1年の保証期限の残り日数或いは30日のどちらか長いほうと定めます。

## 保護の対象

この保証は最初の購入者だけに適用されます。

## 包括される範囲と包括されない範囲

下記の状況を除き、この保証書は製品の製造ミスにより起こった全ての瑕疵を包括します。但し、下記の状況は保証の中に含まれません：

1. 製品のシリアルナンバーがすでに損傷したり、修正されたり、或いは除去されている場合。
2. 下記の原因により破損したり、故障したり、或いは動かなくなったりの場合：
  - A. 事故、濫用、誤用、不注意、火災、水災、雷或いはその他自然、商業、或いは工業使用等での動作、ライセンス許諾の無い製品の修正、或いは製品に与えられた指示を遵守しなかった。
  - B. 非製造業者の営業代理店が行った不適切なサービス。
  - C. 運送過程全てにおける損害。(運輸会社に対し賠償請求してください。)
  - D. 製品の瑕疵と無関係のその他の原因によるもの。
3. 製品が使用する紙箱、外部ケース、電池、キャビネット、録画テープ或いは付属品。
4. この製品がお客様のニーズに適合することは保証しておりません。この製品がお客様の用途に適合するかどうかは、お客様自身で決定する必要があります。

## 有償と無償の費用

弊社は包括される項目の修理と材料費用を給付します。ただし、下記の項目はその中に含まれません：

1. 除去或いは取り付け費用。
2. 運送費。
3. あらゆる雑支出費用。

## 破損の排除状況

この項の保証に基づく製造業者の唯一の責任と義務は、破損製品の修復または交換にあります。どのような原因であれ、製造業者は購入者或いはあらゆる協力メーカーによる、あらゆる事故、或いは必然的損壊（サービスの中止によって起こった破損と業務損失を包括するが、これに限りません）に対していかなる責任も負いません。また、本製品、本製品の使用、或いはその所有によって生じた権利侵害行為について、責任を負いません。

## 保証に含まれる制限

口頭或いは書面によるその他の保障が無い場合、明示或いは暗示は、特定用途の商業性または適用製があるものを含みますがこの限りではありません。全ての隠喩による保証期限は、購入期日より起算して1年とします。

## 当地の法令とお客様の保証

この保証書はお客様に特定の法律権利を与えます。しかし、当地の法律もお客様にその他の権

利を与えます。各地域により与えられる権利は異なります。

**お問い合わせ先**

台湾およびインターナショナル

台湾台北県中和市建一路 135 号

TEL： 886-2-2226-3630

FAX:886-2-3234-4842

ウェブサイト：[www.avermedia.com](http://www.avermedia.com)